

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況についての点検及び評価報告書

(平成 31 年度対象)

令和 3 年 1 月  
日田市教育委員会



## ～目 次～

|                                                 |     |
|-------------------------------------------------|-----|
| 1. はじめに                                         |     |
| (1)この報告書について .....                              | 1   |
| (2)日田市教育委員会の概要 .....                            | 2   |
| (3)日田市教育のこの1年 .....                             | 4   |
| 2. 点検・評価                                        |     |
| (1)点検及び評価の方法 .....                              | 9   |
| (2)点検・評価                                        |     |
| I ≪市民と共に創る教育行政の推進≫                              |     |
| I-第1 市民と共に創る教育行政の推進 .....                       | 13  |
| II ≪学校教育の充実≫                                    |     |
| II-第1 「夢と誇りをもって、たくましく生きる力」を<br>育てる学校教育の推進 ..... | 20  |
| II-第2 安全で安心な学校づくりの推進 .....                      | 46  |
| III ≪社会教育の充実≫                                   |     |
| III-第1 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯<br>学習社会の形成 ..... | 62  |
| III-第2 誰もがスポーツに親しめる環境づくり .....                  | 87  |
| IV ≪文化芸術の振興≫                                    |     |
| IV-第1 ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての<br>活用 .....         | 96  |
| IV-第2 誰もが文化・芸術を親しみ、学べる環境づくり ...                 | 107 |
| 3. 学識経験者による評価意見 .....                           | 113 |
| 4. まとめ .....                                    | 121 |

## 1. はじめに

### (1)この報告書について

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、日田市教育委員会が取り組んでいる教育行政について、効果的に推進すること及び、市民の皆さんへの説明責任を果たすことを目的として、点検・評価を行い、その結果を取りまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

※この報告書では、対象年度(平成31年度・令和元年度)の表記を「平成 31 年度」に統一しています。

※この報告書では、平成31年度に実施した事業の写真を掲載しています。

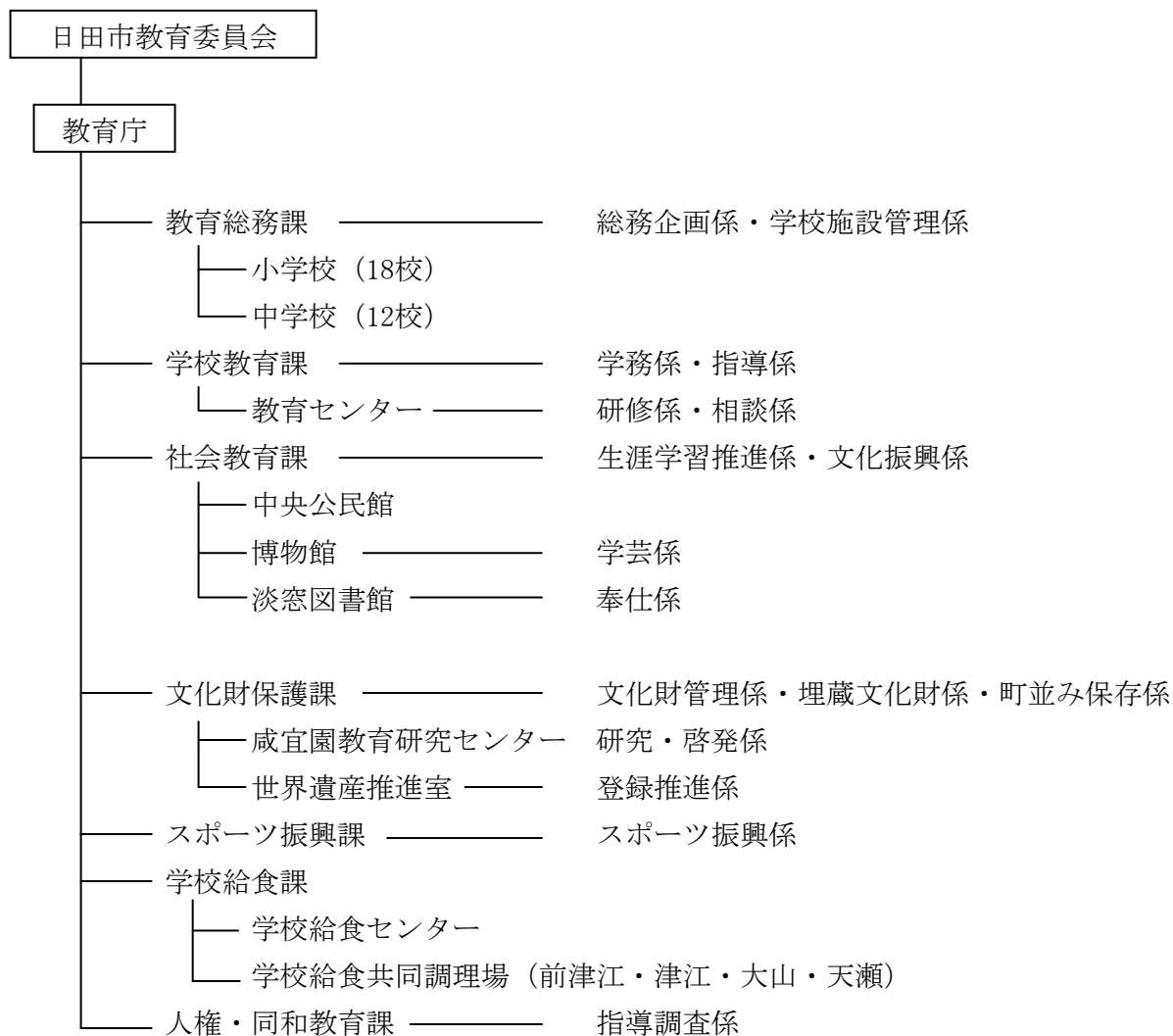
## (2) 日田市教育委員会の概要

### ①教育委員会委員（平成 31 年度）

| 職 名      | 氏名        |
|----------|-----------|
| 教育長      | 三 笈 眞 治 郎 |
| 教育長職務代理者 | 諫 本 憲 司   |
| 委 員      | 永 山 眞 江   |
| 委 員      | 岡 部 博 昭   |
| 委 員      | 木 下 靖 郎   |
| 委 員      | 奥 平 和 子   |
| 委 員      | 古 田 嘉 寿 美 |

### ②組織図

<平成 31 年 4 月 1 日現在>



※令和 2 年 4 月 1 日から、「人権・同和教育課」は「人権・部落差別解消教育課」に名称を変更しました。

### ③所管施設一覧(組織図に記載がないもののみ)

- ・小中学校 ( ) は令和元年5月1日現在の児童生徒数

|            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 咸宜小学校(547) | 桂林小学校(309) | 日隈小学校(254) | 若宮小学校(141) |
| 三芳小学校(337) | 高瀬小学校(192) | 光岡小学校(531) | 朝日小学校(120) |
| 三和小学校(291) | 有田小学校(222) | 小野小学校(29)  | 大明小学校(103) |
| 石井小学校(113) | 前津江小学校(27) | 津江小学校(49)  | 大山小学校(116) |
| 東溪小学校(83)  | いつま小学校(42) |            |            |
| 東部中学校(514) | 三隈中学校(514) | 南部中学校(159) | 北部中学校(261) |
| 戸山中学校(50)  | 東有田中学校(28) | 大明中学校(48)  | 前津江中学校(17) |
| 津江中学校(25)  | 大山中学校(60)  | 東溪中学校(36)  | 五馬中学校(25)  |

※小学校18校・3,506人、中学校12校・1,737人

- ・社会教育施設

|           |           |            |        |
|-----------|-----------|------------|--------|
| 咸宜公民館     | 桂林公民館     | 日隈公民館      | 三芳公民館  |
| 高瀬公民館     | 光岡公民館     | 朝日公民館      | 三花公民館  |
| 西有田公民館    | 東有田公民館    | 小野公民館      | 大鶴公民館  |
| 夜明公民館     | 五和公民館     | 若宮公民館      | 前津江公民館 |
| 中津江公民館    | 上津江公民館    | 大山公民館      | 天瀬公民館  |
| 天瀬公民館東溪分館 | 天瀬公民館五馬分館 | 生涯学習交流センター | 中津江ホール |
| 大山文化センター  |           |            |        |

- ・スポーツ施設

|             |              |              |              |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 大原グラウンド     | 中城グラウンド      | 光岡スポーツ広場     | 三和スポーツ広場     |
| 大鶴スポーツ広場    | 夜明トレーニングセンター | 朝日ヶ丘球場       | 平野球場         |
| 竹田テニスコート    | 大原テニスコート     | 大原公園テニスコート   | 武道場          |
| 中城体育館       | 弓道場          | 相撲場          | 市営プール        |
| 京町プール       | 北友田3丁目プール    | 総合体育館        | 陸上競技場        |
| 竹田艇庫        | アーチェリー場      | 前津江町柔剣道場     | 川辺体育館        |
| 上津江グラウンド    | 都留スポーツセンター   | 上野田多目的スポーツ広場 | 上津江体育館       |
| 大山体育館       | 大山武道場        | 天瀬総合グラウンド    | 天瀬スポーツ広場     |
| 天瀬屋根付き運動広場  | 天瀬第1テニスコート   | 天瀬第2テニスコート   | 天瀬やまびこ研修所    |
| 天瀬ふれあい風呂    | 天瀬五馬弓道場      | 鯛生スポーツセンター   | B&G中津江海洋センター |
| B&G大山海洋センター | B&G天瀬海洋センター  |              |              |

- ・文化施設

|               |               |              |         |
|---------------|---------------|--------------|---------|
| 埋蔵文化財センター     | 小鹿田焼陶芸館       | 郷土史料館        | 旧矢羽田家住宅 |
| 前津江郷土文化保存伝習施設 | 天瀬農業公園ふるさと資料館 | 行徳家住宅        | 史跡咸宜園跡  |
| 史跡ガランドヤ古墳保存施設 | 永山布政所跡東屋      | 豆田まちづくり歴史交流館 |         |

### (3) 日田市教育のこの1年(平成 31 年度)

#### 《主なニュース》

|                    |                                                                                                                                   |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成31年3月<br>～令和元年5月 | 国立科学博物館の協力により、3月15日から5月12日までアオーゼにおいて「とりになったきょうりゅうのはなしー化石が語る恐竜進化の物語ー」が開催され、会場は連日多くの子どもたちで賑わった。                                     |
| 令和元年6月             | 令和元年6月22日から24日までを主日程に豊肥ブロック(竹田市・豊後大野市)を中心に第72回大分県民体育大会が開催され、日田市からは34競技46種目 596 名の選手役員が参加し、郡市対抗別において2位別府市に2.5 点差と僅差に迫る総合3位の成績を収めた。 |
| 令和元年7月             | 国の重要無形民俗文化財に指定されている、日田祇園祭の曳山行事で巡行される中城町の山鉾が30年ぶりに復元新調された。                                                                         |
|                    | おきあげ人形と制作道具一式 555 点を市指定有形民俗文化財に指定した。作品とその下絵が数多く残されており、全国的にも珍しく貴重な資料であるという高い評価を受けた。                                                |
| 令和元年9月             | 9月28日・29日に全国ボート場所在市町村協議会に加盟する26市町村が参加し、三隈川特設会場において第28回全国市町村交流レガッタ日田大会を開催した。<br>大会には1,000名を超える選手が参加し、白熱したレースが展開された。                |
|                    | 9月9日から9月17日にかけて日田市総合体育館において、東京 2020 オリンピックのフェンシングエベ種目日本代表の事前キャンプが開催され、日本代表やウクライナ、アメリカなど8か国50名の選手・コーチが参加した。                        |
| 令和2年3月             | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から全小中学校を臨時休業としたほか、イベントの中止や施設の一時利用中止等を行った。                                                                 |

## 《各種会議開催状況》

### (教育総務関係)

| 月 日   | 件 名                   | 出席委員数  |
|-------|-----------------------|--------|
| 7月23日 | 第1回日田市教育委員会指定管理者選定委員会 | 7名中7名  |
| 10月8日 | 第2回日田市教育委員会指定管理者選定委員会 | 7名中7名  |
| 2月20日 | 日田市奨学資金運営委員会          | 10名中9名 |
| 2月21日 | 第1回日田市総合教育会議          | 8名中8名  |

### (学校教育関係)

| 月 日    | 件 名               | 出席委員数   |
|--------|-------------------|---------|
| 6月26日  | 第1回日田地区教科用図書採択協議会 | 6名中5名   |
| 7月5日   | 第1回日田市特別支援連携協議会   | 13名中11名 |
| 7月29日  | 第2回日田地区教科用図書採択協議会 | 6名中6名   |
| 8月7日   | 第1回日田市学校問題支援チーム会議 | 10名中10名 |
| 11月7日  | 第1回日田市適正就学指導委員会   | 14名中13名 |
| 11月15日 | 第2回日田市適正就学指導委員会   | 14名中13名 |
| 2月10日  | 第2回日田市特別支援連携協議会   | 13名中12名 |
| 2月13日  | 第2回日田市学校問題支援チーム会議 | 10名中10名 |

### (社会教育関係)

| 月 日   | 件 名                  | 出席委員数   |
|-------|----------------------|---------|
| 6月28日 | 第1回日田市社会教育委員会        | 10名中7名  |
| 6月28日 | 第1回日田市中央公民館運営審議会     | 9名中6名   |
| 7月1日  | 第1回日田市放課後対策事業運営委員会   | 11名中10名 |
| 8月9日  | 日田市民文化会館運営委員会        | 9名中8名   |
| 9月25日 | 日田市青少年問題協議会委員会 専門委員会 | 13名中11名 |
| 10月4日 | 日田市青少年問題協議会委員会       | 19名中14名 |
| 11月7日 | 第2回日田市社会教育委員会        | 10名中7名  |
| 1月9日  | 日田市民文化会館運営委員会        | 9名中8名   |
| 1月22日 | 第2回日田市中央公民館運営審議会     | 9名中7名   |
| 2月6日  | 日田市民文化振興基金実行委員会      | 9名中6名   |
| 3月30日 | 第2回日田市放課後対策事業運営委員会   | 11名中10名 |

### (人権・同和教育関係)

| 月 日   | 件 名            | 出席委員数   |
|-------|----------------|---------|
| 5月13日 | 第1回人権教育推進連絡協議会 | 17名中17名 |
| 2月17日 | 第2回人権教育推進連絡協議会 | 17名中17名 |

### (体育保健関係)

| 月 日   | 件 名              | 出席委員数   |
|-------|------------------|---------|
| 4月13日 | 日田市スポーツ推進委員協議会総会 | 48名中37名 |



**(学校給食関係)**

| 月 日   | 件 名                   | 出席委員数   |
|-------|-----------------------|---------|
| 7月8日  | 第1回日田市学校給食運営協議会       | 70名中57名 |
| 7月9日  | 第1回前津江学校給食運営協議会       | 8名中8名   |
| 7月10日 | 第1回天瀬学校給食運営協議会        | 14名中14名 |
| 7月11日 | 第1回大山学校給食運営協議会        | 8名中7名   |
| 7月16日 | 第1回津江学校給食運営協議会        | 8名中8名   |
| 1月28日 | 日田市学校給食運営協議会 給食費部会    | 17名中14名 |
| 2月4日  | 日田市学校給食運営協議会 給食献立検討部会 | 27名中19名 |
| 2月6日  | 日田市学校給食運営協議会 給食指導部会   | 27名中17名 |
| 2月13日 | 第2回天瀬学校給食運営協議会        | 14名中13名 |
| 2月14日 | 第2回日田市学校給食運営協議会       | 70名中47名 |
| 2月17日 | 第2回大山学校給食運営協議会        | 8名中6名   |
| 2月19日 | 第2回前津江学校給食運営協議会       | 8名中5名   |
| 3月    | 第2回津江学校給食運営協議会        | 書面開催    |

**(図書館関係)**

| 月 日   | 件 名             | 出席委員数 |
|-------|-----------------|-------|
| 7月26日 | 第1回日田市立淡窓図書館協議会 | 8名中8名 |
| 2月19日 | 第2回日田市立淡窓図書館協議会 | 8名中7名 |

**(博物館関係)**

| 月 日   | 件 名       | 出席委員数  |
|-------|-----------|--------|
| 6月1日  | 第1回博物館協議会 | 10名中7名 |
| 9月28日 | 第2回博物館協議会 | 10名中7名 |
| 2月20日 | 第3回博物館協議会 | 10名中7名 |

**(咸宜園・世界遺産関係)**

| 月 日   | 件 名                 | 出席委員数 |
|-------|---------------------|-------|
| 5月27日 | 第1回咸宜園教育研究センター運営委員会 | 8名中6名 |
| 6月9日  | 第1回咸宜園教育研究センター専門委員会 | 6名中4名 |
| 2月5日  | 第2回咸宜園教育研究センター専門委員会 | 6名中5名 |
| 2月5日  | 日田市世界遺産登録検討委員会      | 5名中5名 |
| 2月24日 | 第2回咸宜園教育研究センター運営委員会 | 8名中5名 |

**(文化財関係)**

| 月 日   | 件 名         | 出席委員数  |
|-------|-------------|--------|
| 7月12日 | 日田市文化財保護審議会 | 12名中9名 |

## 《新型コロナウイルスによる影響(平成31年度)》

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小・中学校の臨時休業や所管施設の休館、イベント中止等の措置を行いました。

### 【小学校・中学校の対応】

3月2日(月)～3月26日(木) 臨時休業 (3月27日～学年末休業)

○卒業式：出席者は卒業生、教職員、在校生のみ。

式典は校長式辞、卒業証書授与、在校生送辞、卒業生答辞のみ。

中学校：3月6日(金) 小学校：3月24日(火)

○分散登校：学校ごとに地区別または学年別で実施

児童生徒一人当たり最大1回 3月18日(水)・19日(木)

児童生徒一人当たり最大2回 3月23日(月)～27日(金)

### 【所管施設の状況】

3月2日(月)～ 小中学校施設(体育館・グラウンド等)の一般開放中止  
(令和2年4月以降も継続)

3月3日(火)～ 臨時休業(休館)(令和2年4月以降も継続)

- ・淡窓図書館 ・複合文化施設 AOSE
- ・天ヶ瀬農業公園ふるさと資料館 ・生涯学習交流センター ・埋蔵文化財センター
- ・中津江ホール ・大山文化センター ・地区公民館及び分館 22 館
- ・夜明トレーニングセンター ・武道場 ・中城体育館 ・総合体育館 ・前津江町柔剣道場
- ・上津江体育館 ・大山体育館 ・大山武道場 ・天瀬やまびこ研修所
- ・B&G 天瀬海洋センター ・B&G 中津江海洋センター ・都留スポーツセンター

### 【イベント等の中止】

| 内 容                                            | 日 程                                   |
|------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 咸宜園の日記念事業<br>世界遺産登録推進講演会<br>咸宜園教育研究センター奨励事業報告会 | 2月23日                                 |
| 咸宜園平成門下生之会バス研修                                 | 2月28日                                 |
| 博物館企画展「日田の城跡を歩く」                               | 3月3日～(令和2年5月10日)<br>(2月15日から3月2日まで開催) |
| (関連事業)・バスツアー「中津城石垣・中津歴史博物館特別展見学」               | 2月29日                                 |
| ・木材で刀をつくってみよう                                  | 3月1日・8日                               |
| ・講演会「隈城から永山城へー中世から近世 への転換ー」                    | 3月15日                                 |
| ・講演会「永山城の石垣ー調査及び保存修理でわかった石垣の機能と役割についてー」        | 3月20日                                 |

|                                            |                                 |
|--------------------------------------------|---------------------------------|
| 所蔵美術品コレクション展（常設展）                          | 3月2日～3月15日<br>（1月15日から3月1日まで開催） |
| 日本遺産「子どもガイド」                               | 3月7日・8日                         |
| 第21回天領日田ひなまつり健康マラソン大会                      | 3月8日                            |
| 第47回日田市社会教育振興大会                            | 3月14日                           |
| 咸宜園放学遊山の会講演会・事業報告会                         | 3月15日                           |
| 咸宜大学閉校式                                    | 3月18日                           |
| 芸術鑑賞バスツアー「フランス絵画の精華-ルネ・ユイグのまなざし-」（九州国立博物館） | 3月20日                           |
| 県美術展巡回展（書道）                                | 3月6日～3月8日                       |
| 幼児の好奇心をのぼす自然博物館事業                          | 3月中に2回予定                        |

## 2. 点検・評価

### (1) 点検及び評価の方法

日田市教育委員会では、日田市の上位計画である「第6次日田市総合計画」（平成29年度～平成39年度）に基づき、平成29年度を初年度とした「日田市教育行政実施方針」（平成29年度～平成33年度）を策定し、これに基づいて各種施策に取り組んでいます。点検・評価については、「日田市教育行政実施方針」の体系に沿って実施しました。

| 日田市教育大綱                   |      |                                          |
|---------------------------|------|------------------------------------------|
| 基本理念                      | 基本方針 |                                          |
| 未来を切り拓き、<br>ふるさとを愛するひとづくり |      | 1.夢と誇りを持って、たくましく生きる子どもを育てます。             |
|                           |      | 2.安全で安心な学校をつくれます。                        |
|                           |      | 3.地域とともに子育てをする優しいまちづくりをすすめます。            |
|                           |      | 4.誰でもいつでも学べる場と、<br>スポーツや芸術に親しめる環境をつくれます。 |
|                           |      | 5.咸宜園などふるさとの歴史と文化を守り、<br>未来につなぎます。       |

## 日田市教育行政実施方針

### I《市民と共に創る教育行政の推進》

#### I－第1 市民と共に創る教育行政の推進

##### 1.市民と共に創る教育行政の推進

### II《学校教育の充実》

#### II－第1 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進

- 1.子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実
- 2.小中連携・小中一貫教育の推進
- 3.学校人権教育の充実

#### II－第2 安全で安心な学校づくりの推進

- 1.安全・安心な教育環境の確保
- 2.豊かで適正な教育環境の整備
- 3.家庭・地域と協働した学校づくりの推進
- 4.安全・安心な学校給食の提供

### III《社会教育の充実》

#### III－第1 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成

- 1.社会教育の推進
- 2.市民の学習意欲を支えるための基盤の整備
- 3.家庭・地域の教育力の向上と支援体制の充実
- 4.社会教育における人権教育の充実
- 5.博物館の機能の充実
- 6.図書館機能の充実と読書活動の推進

#### III－第2 誰もがスポーツに親しめる環境づくり

- 1.スポーツ・レクリエーションの振興

### IV《文化芸術の振興》

#### IV－第1 ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用

- 1.ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用
- 2.保存と活用に向けた環境の整備
- 3.愛護意識の高揚と愛護活動への支援
- 4.咸宜園教育等の普及啓発と世界文化遺産登録

#### IV－第2 誰もが文化・芸術を親しみ、学べる環境づくり

- 1.誰もが文化に接することができる環境の整備

点検・評価にあたっては、教育行政実施方針の柱（Ⅰ～Ⅳ）の【主な取組】に沿って実施した各事業の成果について、『個別評価』として下記の基準に従って5～2までの点数を付けました。目標値については、平成31年度の施策実施状況の経過確認と問題点を把握するため、平成31年度の目標値（推測値）を設定し、達成値の確認を行いました。

目標値には達していない場合があるものの、経過等を参酌する中で、順調に進行している事業として主観的に判断できる場合は「5」と評価しています。また、事業によっては、評価基準の数値化が困難なものもあります。

#### 【個別評価】

各事業の取組成果を個別に2～5の4段階にて評価するもの

| 評価<br>ランク | 客観的評価<br>達成値/目標値 | 主観的評価           |
|-----------|------------------|-----------------|
| 5         | 80%以上            | 事業完了又は順調に進行している |
| 4         | 60%以上 80%未満      | 概ね順調に進行している     |
| 3         | 30%以上 60%未満      | やや遅れている         |
| 2         | 30%未満            | 大幅に遅れている        |

この点数の平均値をA～Dの4段階にて『総合評価』として表し、教育行政実施方針【主な取組】についての達成度を示しています。

#### 【総合評価】

個別評価の評価点の平均値に基づき、教育行政実施方針の【主な取組】がどの程度達成されているのかをA～Dの4段階にて表すもの

| 評価<br>ランク | 平均値           |
|-----------|---------------|
| A         | 4.5 点以上       |
| B         | 3.5 以上～4.5 未満 |
| C         | 2.5 以上～3.5 未満 |
| D         | 2.5 未満        |

## ●評価意見

さらに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項に規定された「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」ため、以下の方にも評価をお願いしました。評価意見については、「3. 学識経験者による評価意見」に記載しております。

| 氏名(敬称略) | 所属等(令和2年4月現在)      |
|---------|--------------------|
| 山崎 清男   | 大分大学 教職大学院特任教授     |
| 森 醇一朗   | 元久留米大学 比較文化研究所客員教授 |
| 長尾 秀吉   | 別府大学 文学部人間関係学科教授   |

## ●審議の経過

- ・令和2年8月21日（金）

8月期定例教育委員会において、教育委員が点検・評価の議論を実施しました。

- ・令和2年10月8日（木）

学識経験者の先生方と教育委員、各課長が集い、報告書についての説明会を開催しました。

- ・令和3年1月28日（木）

1月期定例教育委員会において、「教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書」を決定しました。

## ●報告・公表

点検・評価結果に関する報告書は、市議会に提出するとともに、日田市教育委員会のホームページに掲載し、公表します。

## (2)点検・評価

### I 市民と共に創る教育行政の推進

#### 1.教育委員会会議

教育委員会会議については、毎月の定例会に加え必要に応じて臨時会を開催し各案件を審議しており、平成31年度は合計19回の会議を開催しました。会議の開催にあたっては、事前に教育委員の中で討議や情報共有を行うことにより、会議の活性化に努めています。なお、人事案件等を除いては、会議は公開で開催し、会議録は日田市ホームページに掲載するとともに、本庁1階の行政資料コーナーにも備えています。

#### ①審議案件

|       | 議案番号   | 議 題                                  | 開 催  |
|-------|--------|--------------------------------------|------|
| 〈H31〉 | 議案第26号 | 日田市奨学資金運営委員会委員の委嘱について                | 4月定例 |
|       | 議案第27号 | 日田市学校運営協議会委員の任命について                  |      |
|       | 議案第28号 | 日田市立小中学校評議員の委嘱について                   |      |
|       | 議案第29号 | 平成31年度日田市特別支援連携協議会委員の委嘱について          |      |
|       | 議案第30号 | 日田市心身障害児適正就学指導委員会委員の委嘱について           |      |
|       | 議案第31号 | 日田市世界遺産登録検討委員会委員の委嘱について              |      |
| 〈R元〉  | 議案第32号 | 令和元年度日田市一般会計補正予算教育費について              | 5月定例 |
|       | 議案第33号 | 教育財産の取得について                          |      |
|       | 議案第34号 | 日田市立小中学校評議員の委嘱について                   |      |
|       | 議案第35号 | 咸宜園教育研究センター運営委員会委員の委嘱について            |      |
|       | 議案第36号 | 工事請負契約の締結について他                       | 6月臨時 |
|       | 議案第37号 | 日田市教育委員会指定管理者選定委員会委員の委嘱について          | 6月定例 |
|       | 議案第38号 | 日田市学校運営協議会委員の任命について                  |      |
|       | 議案第39号 | 日田市社会教育委員の委嘱について                     |      |
|       | 議案第40号 | 日田市中央公民館運営審議会委員の委嘱について               |      |
|       | 議案第41号 | 日田市放課後対策事業運営委員会委員の委嘱について             |      |
|       | 議案第42号 | 日田市立淡窓図書館協議会委員の任命について                |      |
|       | 議案第43号 | 行政職員の人事異動について                        | 6月臨時 |
|       | 議案第44号 | 職員による無断契約及び市長公印不正使用に関する厳重注意について      |      |
|       | 議案第45号 | 職員による無断契約及び市長公印不正使用に関する口頭注意について      |      |
|       | 議案第46号 | 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書について | 7月定例 |
|       | 議案第47号 | 日田市立大明小学校用地の変更について                   |      |
|       | 議案第48号 | 日田市学校運営協議会委員の任命について                  |      |
|       | 議案第49号 | 日田市民文化会館運営委員会委員の委嘱について               |      |
|       | 議案第50号 | 日田市指定文化財の指定について他                     |      |
|       | 議案第51号 | 日田市文化財保護審議会委員の委嘱について                 |      |
|       | 議案第52号 | 日田市スポーツ推進委員の委嘱について                   |      |



| 議案番号   | 議 題                                                      | 開 催   |
|--------|----------------------------------------------------------|-------|
| 議案第53号 | 令和2年度使用小学校用教科用図書の採択について                                  | 7月臨時  |
| 議案第54号 | 令和2年度使用中学校用教科用図書の採択について                                  |       |
| 議案第55号 | 令和元年度日田市一般会計補正予算教育費について                                  | 8月定例  |
| 議案第56号 | 行政職員の人事異動について                                            | 9月臨時  |
| 議案第57号 | 日田市奨学資金運営委員会委員の委嘱について                                    | 10月定例 |
| 議案第58号 | 日田市所蔵美術品等保存委員会委員の委嘱について                                  |       |
| 議案第59号 | 令和元年度日田市一般会計補正予算教育費について                                  | 11月定例 |
| 議案第60号 | 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書について                     |       |
| 議案第61号 | 日田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について                             |       |
| 議案第62号 | 日田市B&G海洋センターの管理に関する条例の一部改正について                           |       |
| 議案第63号 | 日田市スポーツ施設の指定管理者の指定について他                                  |       |
| 議案第64号 | 日田市B&G海洋センターの指定管理者の指定について他                               |       |
| 議案第65号 | 日田市鯛生スポーツセンターの指定管理者の指定について他                              | 1月定例  |
| 議案第1号  | 日田市民文化振興会議委員の委嘱について                                      |       |
| 議案第2号  | 令和元年度日田市一般会計補正予算教育費について                                  | 2月定例  |
| 議案第3号  | 令和2年度日田市一般会計予算教育費について                                    |       |
| 議案第4号  | 日田市立学校いじめ問題調査委員会条例の制定について                                |       |
| 議案第5号  | 日田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について                  | 3月臨時  |
| 議案第6号  | 教職員の人事異動内申について                                           |       |
| 議案第7号  | 行政職員の人事異動について                                            | 3月臨時  |
| 議案第8号  | 旧三花公民館用地の変更について                                          |       |
| 議案第9号  | 日田市教育行政実施方針の一部改定について                                     | 3月定例  |
| 議案第10号 | 日田市教育委員会事務委任規則の一部改正について                                  |       |
| 議案第11号 | 日田市教育庁組織規則の一部改正について                                      |       |
| 議案第12号 | 日田市教育委員会所管事務決裁規則の一部改正について                                |       |
| 議案第13号 | 日田市教育委員会文書取扱規程の一部改正について                                  |       |
| 議案第14号 | 日田市立学校児童生徒通学費補助規程の一部改正について                               |       |
| 議案第15号 | 日田市スクールバスの管理及び運行に関する規則の一部改正について                          |       |
| 議案第16号 | 日田市補助金等交付規則第4条の規定による補助対象、補助率及び補助金等交付申請の時期を定める告示の一部改正について |       |
| 議案第17号 | 日田市立学校職員の時間外在校等時間の上限に関する方針について                           |       |
| 議案第18号 | 日田市学校運営協議会規則の一部改正について                                    |       |
| 議案第19号 | 日田市立学校児童生徒特別支援学級就学援助規程の一部改正について                          |       |
| 議案第20号 | 豆田地区日田祇園山鉾収納庫用地の変更について                                   |       |
| 議案第21号 | 日田市社会教育指導員の委嘱について                                        | 3月臨時  |
| 議案第22号 | 職員の不適正な事務処理に関する厳重注意について                                  |       |

〈R2〉

## ②協議案件

|       | 協議番号 | 議 題                                  | 開 催    |
|-------|------|--------------------------------------|--------|
| 〈R 元〉 | 1    | 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の実施について | 6 月定例  |
|       | 2    | 日田市総合計画審議会委員の推薦について                  |        |
|       | 3    | 表彰選考審査会委員の推薦について                     | 7 月定例  |
|       | 4    | 日田市民生委員推薦会委員の推薦について                  | 11 月定例 |
| 〈R 2〉 | 5    | 日田市民文化振興基金実行委員の推薦について                | 1 月定例  |
|       | 6    | 日田市高齢者保健福祉計画策定委員会委員の推薦について           | 3 月定例  |

## ③報告案件

|       | 報告番号    | 議 題                                             | 開 催    |
|-------|---------|-------------------------------------------------|--------|
| 〈H31〉 | 報告第 7 号 | 平成31年 3 月期寄附採納について                              | 4 月定例  |
|       | 報告第 8 号 | 日田市立博物館の臨時休館日について                               |        |
| 〈R 元〉 | 報告第 9 号 | 平成31年 4 月期寄附採納について                              | 5 月定例  |
|       | 報告第10号  | 令和元年 5 月期寄附採納について                               | 6 月定例  |
|       | 報告第11号  | 令和元年 6 月期寄附採納について                               | 7 月定例  |
|       | 報告第12号  | 令和元年 7 月期寄附採納について                               | 8 月定例  |
|       | 報告第13号  | 平成31年度（令和元年度）大分県学力定着状況調査結果について                  |        |
|       | 報告第14号  | 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果について                  |        |
|       | 報告第15号  | 令和元年 8 月期寄附採納について                               | 9 月定例  |
|       | 報告第16号  | 第28回全国市町村交流レガッタ日田大会について                         |        |
|       | 報告第17号  | 令和元年 9 月期寄附採納について                               | 10 月定例 |
|       | 報告第18号  | 教育に関する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価報告書の外部評価員からの意見書について |        |
|       | 報告第19号  | 咸宜園教育研究センターの臨時休館日について                           |        |
|       | 報告第20号  | 令和元年10月期寄附採納について                                | 11 月定例 |
|       | 報告第21号  | 令和元年11月期寄附採納について                                | 12 月定例 |
|       | 報告第22号  | 令和元年度日田市児童生徒の体力・運動能力等調査結果と分析（概要）について            |        |
|       | 報告第23号  | 令和 2 年日田市成人式について                                |        |
| 〈R 2〉 | 報告第 1 号 | 令和元年12月期寄附採納について                                | 1 月定例  |
|       | 報告第 2 号 | 平成31年度咸宜園教育顕彰事業の受賞者について                         |        |
|       | 報告第 3 号 | 令和 2 年 1 月期寄附採納について                             | 2 月定例  |
|       | 報告第 4 号 | 日田市学校施設長寿命化計画について                               |        |
|       | 報告第 5 号 | 1 月日田市実施分学力調査結果について                             |        |
|       | 報告第 6 号 | 令和 2 年 2 月期寄附採納について                             | 3 月定例  |
|       | 報告第 7 号 | 行徳家住宅の休館日の変更について                                |        |
|       | 報告第 8 号 | 鯛生スポーツセンター利用料金の改定について                           |        |

## 【教育委員会会議テーマ別案件一覧】

|          |                  |     |
|----------|------------------|-----|
| 議案（62 件） | 人事に関すること         | 29件 |
|          | 教科書採択に関すること      | 2 件 |
|          | 予算に関すること         | 5 件 |
|          | 条例等の制定・改正に関すること  | 14件 |
|          | 教育事務の点検・評価に関すること | 2 件 |
|          | 財産取得・滅失に関すること    | 4 件 |
|          | その他              | 6 件 |
| 協議（6 件）  | 人事に関すること         | 5 件 |
|          | 教育事務の点検・評価に関すること | 1 件 |
| 報告（25件）  | 寄附採納に関すること       | 12件 |
|          | 教育事務の点検・評価に関すること | 1 件 |
|          | その他              | 12件 |

## 2. 研修・会議等

教育委員の資質向上や、地域の方や学校関係者・市町村教育委員との情報交換を目的に、各種会議や研修会へ参加しています。

| 月 日           | 内 容                                   | 場 所    |
|---------------|---------------------------------------|--------|
| 4 月 11 日      | 学校運営合同会議                              | 市内     |
| 4 月 19 日      | 第 1 回大分県市町村教育長協議会会議                   | 大分市    |
| 5 月 22 日～24 日 | 全国都市教育長協議会定期総会                        | 富山県富山市 |
| 5 月 28 日      | 大分県市町村教育委員会連合会総会                      | 宇佐市    |
| 8 月 1 日       | 九州地区市町村教育委員会研修大会                      | 大分市    |
| 8 月 22 日～23 日 | 大分県市町村教育長協議会総会                        | 国東市    |
| 10 月 9 日～11 日 | 九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会                 | 宮崎県宮崎市 |
| 10 月 31 日     | 第 2 回大分県市町村教育長協議会会議                   | 大分市    |
| 11 月 1 日      | 「おおいた教育の日」推進大会                        | 玖珠町    |
| 10 月 18 日     | 学校訪問（三芳小、光岡小、有田小、津江小・中、大山小・中、北部中、南部中） | 市内     |
| 11 月 13 日     | 学校訪問（桂林小、日隈小、小野小、東部中、三隈中、前津江中）        | 市内     |
| 12 月 24 日     | 臨時大分県市町村教育長会議                         | 大分市    |
| 1 月 24 日      | 第 3 回大分県市町村教育長会議                      | 大分市    |

### 3. 行事等

平成31年度は、小中学校の入学式や成人式など、日田市教育委員会主催の行事には教育委員が出席しています。

| 月 日      | 内 容              | 場 所    |
|----------|------------------|--------|
| 4 月 9 日  | 中学校入学式           | 各中学校   |
| 4 月 10 日 | 小学校入学式           | 各小学校   |
| 11月16日   | 第38回日田市青少年健全育成大会 | パトリア日田 |
| 1 月 12 日 | 日田市成人式           | パトリア日田 |

| 教育行政実施方針 | I                                                                                                                                                                                                                                                                              | 市民と共に創る教育行政の推進     | 担当課 | 教育総務課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-----|-------|
|          | 1ー第1                                                                                                                                                                                                                                                                           | 市民と共に創る教育行政の推進     |     |       |
|          | ①                                                                                                                                                                                                                                                                              | 市民と共に創る教育行政の推進     | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①                                                                                                                                                                                                                                                                              | 市民と共に創る教育委員会づくりの推進 | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>定例教育委員会及び臨時教育委員会の議事録や教育委員の活動実績をホームページに掲載することにより、広く市民に周知することができた。また、教育委員が学校訪問を行い、各学校の実情や課題を把握したことにより、学校現場の実情が反映された教育行政を推進することができた。</p> <p>教育委員が研修大会等に積極的に参加し、他市町村の教育委員と意見交換を行ったこと、また、市長と教育委員が構成員となる総合教育会議に出席し、教育課題を共有するとともに、教育施策の方向性に関する意思形成過程に参画することにより、教育委員会の活性化が図られた。</p> |                    |     |       |

# 【個別評価】

| 事業または取組名 | 積極的な情報公開・情報把握の推進                                                                                                                                                                                                   | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                             | —     | 担当課 | 教育総務課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕</p> <p>教育委員会と学校、地域が情報を共有し、学校現場の実情が反映された教育行政を推進し、教育委員会の活性化を目指すもの。</p> <p>〔内容〕</p> <p>広報紙やホームページを活用し、積極的な情報公開に努め、市民の教育委員会への理解を深める取組を進める。</p> <p>学校行事等へ参加する機会を増やし、その実態や実情を把握するとともに、学校施設訪問や育友会との意見交換を実施する。</p> | <p>事業取組・成果・評価の理由</p> <p>毎月1回開催している定例教育委員会や臨時教育委員会の会議録及び研修や他市町村教育委員との交流会等の活動を写真とともにホームページに掲載することで、広く市民に周知を行うとともに教育行政の透明化を図ることができた。</p> <p>教育委員による学校訪問を実施し、教育現場の実態と課題の把握に努めた。</p> <p>・H31訪問数 15校(小学校8校、中学校7校)</p> <p>日田市連合育友会と市長、教育長との意見交換会を実施し、保護者の生の意見を聞くことができた。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p>          |       | 評価  | 5     |
| 事業または取組名 | 事務の執行状況の点検評価及び公表制度の導入                                                                                                                                                                                              | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 109千円 | 担当課 | 教育総務課 |
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕</p> <p>効果的な教育行政の推進と、市民への説明責任を果たすこと。</p> <p>〔内容〕</p> <p>教育委員会の事務の管理・執行状況について、PDCAサイクルを基本として毎年点検及び評価し、その結果を広く市民に公表する。</p>                                                                                    | <p>事業取組・成果・評価の理由</p> <p>平成31年度作成の「教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書」から、より分かりやすい評価を行うために、評価方法について「有効性」「進捗度」の2段階評価を「評価」のみの1段階評価とするともに、数値目標のない事業項目については、評価の理由を分かりやすく記載するよう改めた。</p> <p>教育委員会の事業について外部評価員の意見をいただきながら、詳細に評価を行うとともに、完成した報告書をホームページに掲載することによって、市民への説明責任を果たすことができた。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p> |       | 評価  | 5     |

| 事業または取組名 |                                                                                                            | 教育委員会の活性化に向けた取組の推進 | 平成31年度事業費     | 8千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | 教育総務課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>市の教育行政における各施策に教育委員の意見が反映されること。<br>教育委員が研修会等に参加し、教育行政全般に理解を深め、教育委員会運営の活性化を推進すること。                   |                    | 事業取組・成果・評価の理由 | 教育委員会の開催時には必ず事前に勉強会を開き、教育委員の中で討議等を行うことにより、会議の活性化に繋がった。<br>・定例教育委員会:12回/年<br>・臨時教育委員会:7回/年                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |       |
|          | [内容]<br>市の教育行政における各施策に教育委員の意見が十分反映されるよう、施策に関する意思形成過程への委員の参画を総合教育会議を活用する等して、積極的に進める。<br>教育委員が研修会等に積極的に参加する。 |                    |               | 九州地区市町村教育委員会研修大会に参加し、講演会等を受講し地域の教育に関する内容を学ぶとともに、情報交換会に参加し他教育委員と意見交換を行うことができた。<br>〈研修大会内容〉(iichikoグランシアタ)<br>・行政説明「地域とともにある学校」<br>・講演「地域の教育力」<br>・情報交換会 49市町村 172名参加<br><br>市長と教育委員会が構成員となる総合教育会議に出席し、相互の意思の疎通を図り、教育施策の方向性を共有するとともに、政策に関する意思形成過程への委員の参画が積極的に行われた。<br>・総合教育会議:令和2年2月21日開催<br>〈議題〉<br>・第2期日田市子ども・子育て支援事業計画<br>・ESD教育について<br><br>以上のことから、評価を5とした。 |     |       |
|          |                                                                                                            |                    |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 評価  | 5     |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆教育委員の活動実績や定例・臨時教育委員会の議事録等を積極的に情報発信することで、市民に対して教育委員会の活動への理解を深めていただけること、また、各種施策の透明性を高めることができることから、今後もホームページを積極的に活用しながら内容の充実に努めていく。
- ◆引き続き、各種研修大会等に教育委員が積極的に参加し、講演会の受講や他市の教育委員と意見交換を行う中で、共通する教育課題をはじめ教育行政全般について理解を深めていく。
- ◆総合教育会議を活用し、引き続き市長と様々な教育課題について協議・調整を行い政策の方向性を共有し、教育行政に反映させていく。

| Ⅱ 学校教育の充実                         |   |                         |   |                                                      | 通し番号 | 担当課          | 総合評価 |
|-----------------------------------|---|-------------------------|---|------------------------------------------------------|------|--------------|------|
| 第1「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |   |                         |   |                                                      |      |              |      |
|                                   | 1 | 子どもの力と意欲を伸ばす<br>学校教育の充実 | ① | 咸宜園教育の理念を生かした学校経営の推進                                 | 2    | 学校教育課        | A    |
|                                   |   |                         | ② | 確かな学力の育成                                             | 3    | 学校教育課        | A    |
|                                   |   |                         | ③ | 豊かな心の育成                                              | 4    | 学校教育課        | A    |
|                                   |   |                         | ④ | 健康・体力づくりの推進                                          | 5    | 学校教育課        | A    |
|                                   |   |                         | ⑤ | いじめ・不登校対策の充実・強化                                      | 6    | 学校教育課        | A    |
|                                   |   |                         | ⑥ | 一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実                           | 7    | 学校教育課        | A    |
|                                   |   |                         | ⑦ | 教育センター機能の充実                                          | 8    | 学校教育課        | A    |
|                                   | 2 | 小中連携・小中一貫<br>教育の推進      | ① | 小中連携教育の推進                                            | 9    | 学校教育課        | A    |
|                                   |   |                         | ② | 小中一貫教育の推進                                            | 10   | 学校教育課        | A    |
|                                   |   |                         | ③ | 小中一貫校におけるコミュニティ・スクールの推進                              | 11   | 学校教育課        | A    |
|                                   | 3 | 学校人権教育の充実               | ① | 学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進                                 | 12   | 人権・部落差別解消教育課 | A    |
|                                   |   |                         | ② | 人権に関する知的理解と人権感覚を育て、差別をなくす実践行動につながる人権教育の指導内容及び指導方法の充実 | 13   | 人権・部落差別解消教育課 | A    |
|                                   |   |                         | ③ | 教職員研修の充実                                             | 14   | 人権・部落差別解消教育課 | A    |
|                                   |   |                         | ④ | 家庭、地域や関係機関・団体及び各校種間との連携                              | 15   | 人権・部落差別解消教育課 | A    |

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                            | 学校教育の充実                         | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ 一 第1                                                                                                                                                                                                                                                                       | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                                                                                                            | 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実             | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ① 咸宜園教育の理念を生かした学校経営の推進                                                                                                                                                                                                                                                       |                                 | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>「日田市学校教育の方針(学校版)」において全小中学校が、「咸宜園教育の理念を生かした学校経営」の理念を掲げ、地域とともにあゆむ学校「ふるさとへの誇りと将来への夢を育む学校づくり」に取り組むことができた。教育センター研修講座においても「咸宜園が学校教育に伝えること」の講座を開設し研修を積むことができた。また、咸宜園教育センターの「淡窓先生に学ぶ～学校の取組～」にも半数以上の小中学校が実践事例をパトリアに展示するなど連携を取ることもできた。各学校においては、学校だよりやホームページ等で地域・保護者へ情報発信を実施できた。</p> |                                 |     |       |

# 【個別評価】

| 事業または取組名 | 咸宜園教育の理念を生かした学校経営の取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>咸宜園教育の理念を生かした学校経営を推進する。</p> <p>【内容】<br/>①「日田市学校教育の方針」に咸宜園教育の理念を位置づけた取組の充実<br/>・「日田市学校教育の方針(学校版)」の柱として「咸宜園教育の理念」を生かした学校経営を位置づけ、各学校の特色を生かした学校経営を推進する。<br/>・「咸宜園教育の理念」を生かし、各学校が創意工夫して特色ある教育活動を行う。<br/>・学校ホームページや学校便り等を活用して、広報活動に取り組む。</p> <p>②関係機関との連携<br/>・教育センター研修講座において、「咸宜園教育の理念」について学ぶ講座を開講し、教職員研修を推進する。<br/>・咸宜園教育センターの事業と連携した取組を推進する。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>①市内全小中学校で、「咸宜園教育の理念を生かした学校経営」を「日田市学校教育の方針(学校版)」に位置づけ、先哲学習の年間計画に基いて、淡窓学習を計画的に実施することができた。<br/>また、各学校においても、「〇〇万善簿」、拾薪清掃等の特色ある取組を行い、校内掲示や学校だより・ホームページで情報発信ができた。</p> <p>②教育センター研修講座で、咸宜園教育センター職員を講師に招き、教職員62名参加のもと、「咸宜園が学校教育に伝えること」と題した研修会を行った。学校ごとの研修も行われており、咸宜園教育の理念が児童生徒の学習や実生活にも生かされている。<br/>咸宜園開塾の「咸宜園の日(2月23日)」に合わせた、咸宜園教育研究センターの「淡窓先生に学ぶ～学校の取組～」の展示会には、16校の小・中学校が参加し、特色ある取組をパトリア日田で展示することができた。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |

# 【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◆人事異動により教職員が他市町村から日田市に異動してくるにより、年度当初は「咸宜園」についてや「咸宜園教育の理念」についての共通理解に時間が必要なことが課題である。</p> <p>◆定例の人事異動により日田に転入してくる教職員が多数いる中で、日田市内の全小中学校において「咸宜園教育の理念」のもと共通理解・共通認識のうえで教育活動を行っていくためには、全教職員を対象にした研修を進めていく必要がある。そのため、各学校での計画的な先哲学習の取組に加え、市教育センター研修講座における「咸宜園教育」や「広瀬淡窓」に関する講座を継続的に実施することで、「咸宜園教育の理念」について、全教職員の理解を図っていく。</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



- ・日田市教育大綱
- ・日田市教育行政実施方針

夢と誇りを持って、たくましく生きる児童・生徒の育成  
～「自信・誇り・感動」をもたらす日田市教育の創造！～

日田市教育委員会

### 【めざす学校像】

- 子どもの力と意欲を伸ばし、子どもの未来を切り拓く力を培う学校
- 子どもたちが、夢を抱いて磨きあい、生き生きと学びあう、笑顔と活気のある学校
- 子どもが学校と地域のよさや特色を実感し、子どものふるさとへの誇りや愛着を育む学校

### 【学校の重点目標】



《 咸宜園教育の理念を生かした学校経営 》

生きて働く「知識・技能」の習得

【知】基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得

・  
・

【徳】人権尊重の心を育む知識・価値・技能の習得

・  
・

【体】基本的生活習慣の確立

・  
・

未知の状況にも対応できる  
「思考力・判断力・表現力等」の育成

【知】身に付けた知識・技能を活用して問題を解決する力の育成

・  
・

【徳】多様な価値観を認め、場に応じた道徳的实践ができる力の育成

・  
・

【体】自分の命や健康を自ら守るために、主体的に判断・行動できる力の育成

・  
・

学びを社会や人生に生かそうとする  
「学びに向かう力・人間性等」の涵養

【知】学習意欲や挑戦意欲の向上

・  
・

【徳】自他を肯定し、多様な人々と協働する意識の涵養

・  
・

【体】健康で安心・安全な生活を営む意識の向上

・  
・

地域とともにあゆむ学校 『ふるさとへの誇りと将来への夢を育む学校づくり』

学習支援

安全管理

キャリア教育

咸宜園教育

防災教育

ふるさと学習

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                          | 学校教育の充実                         | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ ー 第1                                                                                                                                                                                                     | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                                          | 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実             | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ② 確かな学力の育成                                                                                                                                                                                                 |                                 | 4.6 | A     |
| 評価理由     | 英語検定(中学校)の受検率が向上し、全国学力・学習状況調査で、平成30年度に引き続き2年連続で小学校、中学校ともに全ての教科区分で全国平均を上回った。また、中学生学びアップ事業においても、学校教育課・中学校・指導者が、課題を共有して取組を進めた結果、参加生徒のアンケート調査結果では取組を肯定的に評価する回答が多かったことから、児童生徒の挑戦意欲の向上、基礎学力の定着・向上等確かな学力の育成が図られた。 |                                 |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 確かな学力育成支援事業 |     | 平成31年度事業費     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 9,440千円 |  | 担当課 |  | 学校教育課 |  |  |      |  |  |      |  |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |     |     |     |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--|-----|--|-------|--|--|------|--|--|------|--|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>児童生徒の学力の定着・学習意欲の向上を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |             |     | 事業取組・成果・評価の理由 | ①【漢検・英検 受検率】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |  |     |  |       |  |  |      |  |  |      |  |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |     |     |     |
|          | [内容]<br>①チャレンジ漢字(漢字検定)・チャレンジ英語(英語検定)<br>児童生徒のチャレンジ精神の高揚と、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図ることを目的に、6月に漢字検定と1月に英語検定を実施する。<br>＜漢字検定＞<br>小学校4年生(原則全員受検・全額補助)<br>5・6年生(希望受検・半額補助)<br>＜英語検定＞<br>中学校1年生(原則全員受検・全額補助)<br>2年生(原則全員受検・全額補助)<br>②日田市実施分学力調査(1月)<br>児童・生徒の基礎的・基本的内容の定着状況について客観的に把握し、その学年の学習内容を年度内に確実に定着させるための指導方法の改善・充実を図ることを目的に、1月に実施する。<br>小学校1・2・3年生 国語・算数<br>小学校4・5・6年生 国語・算数・社会・理科<br>中学校1・2年生 国語・数学・社会・理科・英語 |             |     |               | <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">漢字検定</th><th colspan="2">英語検定</th></tr><tr><th>小4</th><th>小5</th><th>小6</th><th>中1</th><th>中2</th></tr><tr><td>H30</td><td>98%</td><td>41%</td><td>41%</td><td>99%</td><td>97%</td></tr><tr><td>H31</td><td>96%</td><td>40%</td><td>35%</td><td>99%</td><td>99%</td></tr><tr><td>増減</td><td>▲2%</td><td>▲1%</td><td>▲6%</td><td>0%</td><td>2%</td></tr></table> <p>＜漢字検定＞受検率はやや減少しているが、受検者のアンケートでは「漢検にチャレンジして以前より漢字の学習をがんばろうという気持ちになった」児童の割合は、5、6年生は昨年度より増加している。<br/>＜英語検定＞平成30年度から中学2年生も原則全員受検・全額補助としたため、受検率は中1、中2とも99%となり、ほぼすべての生徒にチャレンジの機会が保障できた。また、事後アンケートでは「英検を受検して、以前より英語の勉強を頑張ろうという気持ちになった。」と回答した生徒の割合が中1、中2とも昨年度以上となり、英語への学習意欲の向上が見られた。</p> <p>②小学校は、2年生国語、4年生社会・理科、5年生社会と理科以外で偏差値50を上回った。中学校は、2年生の数学・理科以外で偏差値50を上回った。偏差値を上回った教科数は昨年度に比べ減少した。<br/>調査結果をもとに各学校の課題を明確にし、当該学年の各教科のつけたい力が年度末までに確実に定着するよう、授業改善・家庭学習・補充学習の具体的対策を作成し、取組の徹底を図った。</p> <p>以上のとおり、アンケート等から児童生徒のチャレンジ精神の高揚と学習意欲の向上が見られたが、漢字検定の受検率は全学年で昨年度をやや下回っていることから、評価を4とした。</p> |         |  |     |  |       |  |  | 漢字検定 |  |  | 英語検定 |  | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | H30 | 98% | 41% | 41% | 99% | 97% | H31 | 96% | 40% | 35% | 99% | 99% | 増減 | ▲2% | ▲1% | ▲6% |
|          | 漢字検定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |             |     | 英語検定          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |         |  |     |  |       |  |  |      |  |  |      |  |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |     |     |     |
|          | 小4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 小5          | 小6  | 中1            | 中2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |         |  |     |  |       |  |  |      |  |  |      |  |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |     |     |     |
| H30      | 98%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 41%         | 41% | 99%           | 97%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |         |  |     |  |       |  |  |      |  |  |      |  |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |     |     |     |
| H31      | 96%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 40%         | 35% | 99%           | 99%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |         |  |     |  |       |  |  |      |  |  |      |  |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |     |     |     |
| 増減       | ▲2%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ▲1%         | ▲6% | 0%            | 2%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |         |  |     |  |       |  |  |      |  |  |      |  |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |     |     |     |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |             |     |               | 評価 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |         |  |     |  |       |  |  |      |  |  |      |  |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |     |     |     |

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                            | 日田市学力向上アクションプランの取組 | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>大分県の方針を踏まえた日田市学力向上アクションプランを作成し、日田市の児童生徒の学力向上を図る。                                                                                                                                                                                                                   |                    | 事業取組・成果・評価の理由 | ①各学校が学力の重点目標の達成に向け、作成した学力向上プランに基づき、学校組織全体で検証・改善しながら取り組んだ。全学校、学期に1回のサイクルでPDCAを行い、課題を解消するための取組の推進ができた。                                                                                                                                                                                                                      |     |       |
|          | [内容]<br>①全小・中学校で学力向上プランを作成し、校内研究を中心に、つきたい力を明確にした「新大分スタンダード」に基づく「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む。<br><br>②全国学力・学習状況調査(文部科学省)<br>全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的として、4月に実施する。 |                    |               | ②平成31年度の全国学力・学習状況調査では、小学校・中学校とも全ての教科区分で全国を上回った。課題があった領域等については、各学校で分析を行い、平成31年度の授業改善につなげていくことができた。<br><br>①②ともに、さらなる改善の必要はあるものの十分な成果が認められるため、評価を5とした。                                                                                                                                                                      |     |       |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                            | 中学生学びアップ事業         | 平成31年度事業費     | 3,407千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>教員OB等の地域人材を活用し、中学生の学ぶ意欲を高めるとともに、学力の定着と向上を図る。                                                                                                                                                                                                                       |                    | 事業取組・成果・評価の理由 | 【参加者数】<br>・「休道 水曜塾」 1年生 109名(566名中)<br>2年生 89名(579名中)<br>・「立志 土曜塾」 前期 22名、後期 19名                                                                                                                                                                                                                                          |     |       |
|          | [内容]<br>＜休道 水曜塾＞<br>・全中学校 中学1・2年生 希望者<br>・毎週水曜日 数学<br>・指導者数 41名<br>＜立志 土曜塾＞<br>・日田市複合文化施設 中学2年生 希望者<br>・第2・4土曜日 数学・英語・自主学習<br>・指導者数 4名                                                                                                                                     |                    |               | 教員OB等の地域人材を活用して「休道 水曜塾」及び「立志 土曜塾」において中学1・2年生の学びの場を保障し、「努力を要する状況」の生徒への学力支援に重点的に取り組んだ。また、本事業の指導者連絡会議を開催し、学校教育課・中学校・指導者の連携を図った。<br><br>参加した生徒へのアンケートからは「数学の(基礎・基本の)問題ができるようになった」(水曜塾90.1%、土曜塾96.0%)、「数学への学習の意欲が高まった」(水曜塾65.4%、土曜塾76.0%)「英語の学習への意欲が高まった」(72.0%)等肯定的回答が多く、また感想として「学習が楽しい」「勉強がわかるようになった」等の肯定的回答が多かったため、評価を5とした。 |     |       |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                                  |   | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                                                                                   |
|--------------------------------------|---|-----------------|--------------------|-----------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                      |   |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                                                                                                |
| 児童生徒の学力(知識・技能、全国平均以上の児童生徒の割合)        | 小 | 63.8%           | 65.2%              | 67.0%           | 59.8%    | 全国学力・学習状況調査: 全国平均正答数を上回った児童・生徒数の割合<br>※平成31年度より「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」が一体化した問題となっているため、同じ数値となっている。 |
|                                      | 中 | 52.3%           | 56.8%              | 60.0%           | 57.3%    |                                                                                                   |
| 児童生徒の学力(思考力・判断力・表現力等、全国平均以上の児童生徒の割合) | 小 | 54.3%           | 59.7%              | 63.0%           | 59.8%    |                                                                                                   |
|                                      | 中 | 51.8%           | 53.8%              | 55.0%           | 57.3%    |                                                                                                   |
| 将来の夢や目標を持っている(肯定的回答の児童生徒の割合)         | 小 | 86.9%           | 87.6%              | 88.0%           | 80.8%    | 全国学力・学習状況調査(質問紙調査): 肯定的回答の児童・生徒の割合                                                                |
|                                      | 中 | 73.5%           | 74.4%              | 75.0%           | 71.2%    |                                                                                                   |
| 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している(肯定的回答の児童生徒の割合) | 小 | 78.2%           | 79.3%              | 80.0%           | 81.7%    |                                                                                                   |
|                                      | 中 | 71.5%           | 72.4%              | 73.0%           | 70.1%    |                                                                                                   |
| 学校に行くのは楽しい(肯定的回答の児童生徒の割合)            | 小 | 81.0%           | 84.6%              | 87.0%           | 84.3%    |                                                                                                   |
|                                      | 中 | 82.8%           | 84.2%              | 85.0%           | 81.6%    |                                                                                                   |

【課題と今後の方向性】

- ◆漢字検定(小学校)については、5年間の取組でチャレンジ意欲の向上が達成できた。しかし小5、小6の希望受検者数は4割前後であり、補助の在り方等について、今後検討していく。
- ◆確かな学力向上に向けた授業改善については、これまでと同様、学力調査結果の分析と組織的な授業や校内研究の推進を行うとともに、県の研究指定(北部中:中学校学力向上3つの提言推進拠点校)及び市研究指定校(三芳小:ICT機器活用研究推進校、南部中:主体的・対話的で深い学び研究推進校)の取組を市内学校へ広げることで、域内の授業改善を推進する。
- ◆中学生学びアップ事業においては、指導者の人材確保が依然として課題となっている。今後も引き続き退職校長会との連携を図り、教員のOB・OGの協力を仰ぐとともに、広報による公募等、指導者の確保に向けて幅広い取組を推進していく。また、「努力を要する状況」の生徒への支援を目的としているため、引き続き積極的な参加を働きかけていく。

通し番号 4

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                              | 学校教育の充実                          | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ－第1                                                                                                                                                                                                                                                                           | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進」 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                                                                                                              | 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実              | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ③豊かな心の育成                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                  | 4.5 | A     |
| 評価理由     | <p>地域の魅力を実感する肯定的回答の児童生徒の割合は、小中ともに目標値を大きく上回った。各学校において、地域の特色を生かした多様な体験活動が実施できるよう支援を行った。</p> <p>学校では、推進教師を中心とした組織的取組によって、令和2年度より始まる新指導要領完全実施(中学校)に向けて、全ての学校で、道徳教育全体計画及び年間指導計画に基づき計画的・系統的に道徳教育が推進され、道徳教育の授業実践がなされた。また、全ての学校で保護者や地域に道徳の授業公開を行うことを通して家庭と連携して児童生徒に豊かな心を育む取組がなされた。</p> |                                  |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 豊かな心の育成を図るための教育活動の充実                                                                                                                                 | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>教育活動の充実により、豊かな心の育成を図る。</p> <p>【内容】<br/>①学校全体で組織的に取り組む道徳教育の充実<br/>②「廣瀬淡窓・咸宜園」を学ぶ学習の推進<br/>③学校図書館を活用した読書活動の充実<br/>④家庭や地域との連携による豊かな心の育成</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>①「特別の教科 道徳」による教育課程の実施等に向けて、道徳教育推進教師が、県主催の「道徳教育推進教師協議会」や管内の「地域授業改善協議会-道徳-」へ参加するとともに、「道徳教育実践力向上協議会」に、小中学校の教職経験者4～6年目の教諭が参加し、それらの内容をもとに校内で研修を行った。また、各学校で、道徳教育全体計画及び年間指導計画が適切に編成されており、さらに学習指導要領に定める標準授業時数以上の道徳の授業が実施されている。</p> <p>②全ての学校において、咸宜園教育研究センターとの連携のもと、廣瀬淡窓等の地域の先哲についての学習を行い、取組の充実を図ることができた。</p> <p>③児童生徒の読書活動の推進を図ることを目的として、全ての学校に学校図書館員を配置した。また、学校図書館を教科の学習と関連させ、情報を収集・選択・活用する場としての環境整備を推進することで本に親しむ機会の充実を図った。しかしながら、中学校においては、1か月に1冊も本を読まない生徒の割合が増加するなど、取組が成果につながっていないといった課題が確認できた。</p> <p>④学校教育への理解を深めてもらうこと、家庭と共同して道徳教育を行うよう指導を行った。全ての学校で保護者や地域に道徳の授業公開を行うことができています。</p> <p>以上のように、全ての学校で取組を行えたが、取組が成果につながらなかった側面も認められることから、評価を4とした。</p> | 評価  | 4     |
|          |                                                                                                                                                      |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |       |



| 事業または取組名 | 小中学校総合的な学習の時間推進事業                                                                                                                                                     | 平成31年度事業費     | 3,295千円                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>[目的]<br/>学習指導要領に定める「総合的な学習の時間」に要する経費の助成を行う。</p> <p>[内容]<br/>自然体験、社会体験活動等、多様な学習を推進する。<br/>・小学校<br/>学校割 65,000円、児童割 300円／1人<br/>・中学校<br/>学校割 65,000円、児童割 300円／1人</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>咸宜園や広瀬淡窓を中心とする先哲(長三洲、井上準之助等)や、地域の歴史(古墳・疏水)や産業等、保護者や地域と連携し、各学年の発達段階に応じた学習を通して、自己の生き方について考えを深めることができた。</p> <p>また、教育課程の中で、学校や地域の特色を生かした自然体験活動(米や野菜づくり、梨の栽培、他)、水や環境についての学習、社会体験活動(福祉施設の活用等)、外部講師等を招聘した体験活動を行った。</p> <p>以上のように、全ての学校において取組を行えたことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                          |   | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                       |
|------------------------------|---|-----------------|--------------------|-----------------|----------|-----------------------|
|                              |   |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                    |
| 1ヶ月に1冊も本を読まない児童生徒の割合         | 小 | 10.3%           | 7.1%               | 5.0%            | 4.4%     | 平成31年度大分県学力定着状況調査回答より |
|                              | 中 | 29.8%           | 18.5%              | 11.0%           | 30.4%    |                       |
| 自分の住んでいる地域が好き(肯定的回答の児童生徒の割合) | 小 | —               | 78%                | 80%             | 87.1%    | 平成31年度学校アンケートより       |
|                              | 中 | —               | 78%                | 80%             | 91.2%    |                       |

#### 【課題と今後の方向性】

◆中学校では、令和3年度より学習指導要領完全実施がされることから、教員の指導力向上が課題となるため、研修会への参加を促し、「考え、議論する」道徳科に向けた指導法の工夫改善や道徳的な判断力、心情、実践意欲及び態度を育てるための評価のあり方について指導していく。

◆中学校の読書活動の推進については、令和2年度に策定予定の「第2次日田市子ども読書活動推進計画」に基づき、各学校の実態に合わせて、淡窓図書館の団体貸出等を積極的に利用する。



授業の様子

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 学校教育の充実                         | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ ー 第1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実             | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ④ 健康・体力づくりの推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                 | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>各学校において、作成した体力向上プランに基づいて「一校一実践」の取組が推進されたことにより、総合評価C以上の割合について、目標値(推測値)は超えなかったものの、小学校男子が6学年中3学年、小学校女子においては、6学年中5学年といずれも過半数の学年で全国の割合を上回ったことに加えて、各事業の具体的な取組を着実に推進できた。</p> <p>※「総合評価」とは、体力テストの項目別(8項目)に記録を点数化した合計点により5段階(A～E)で設定している基準をもとにした評価をいう。</p> <p>小学校男女と中学校女子において目標を達成することができたこと、部活動指導員や外部指導者などの地域人材の活用が図られたことに加え、安全・安心な部活動の実施に向けた送迎事業の実施により多くの学校、生徒が県レベルの大会を体験できた。</p> <p>また、フッ化物洗口を市内全小学校に導入して児童のむし歯予防を推進するとともに、歯・口の健康づくりに対する児童一人ひとりの意識を高める取組ができた。</p> |                                 |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 健康・体力づくりに対する取組                                                                                                                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>[目的]</p> <p>児童生徒のバランスのとれた体力・運動能力の育成と健やかな成長を促すため、活力を高める学校体育や運動部活動の充実を図るもの。</p> <p>[内容]</p> <p>①研究指定校(体育専科教員活用推進校、体力向上推進校)を中心とした体力向上の推進</p> <p>②体力向上プラン(一校一実践)の推進</p> <p>③学校運動部活動における地域人材の積極的な活用</p> <p>④心身ともに健康な生活につながる学校保健の充実</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>①年度当初の体育主任会で体育専科教員の授業実践や各校の事例について研修した。また、市内2名の体育専科教員が、所属校と授業連携校において授業改善及び授業力向上を図るとともに、具体的な実践事例や指導法について日田市シンククライアントシステムを利用して市内小中学校に発信し、教員の指導力向上を図ることができた。</p> <p>②各小中学校が前年度の実績や課題をもとに体力向上プランを作成し「一校一実践」に計画的・継続的に取り組むことができた。</p> <p>③中学校部活動において、地域人材を外部指導者や部活動指導員として活用し、専門的な指導を行うことで、生徒の意欲や運動能力、技術力を高めることができた。</p> <p>・平成31年度 部活動指導員数 5校、10名<br/>外部指導者登録数 8校、24名</p> <p>※部活動指導員</p> <p>・部活動の資的向上及び教職員の負担軽減を図るため、平成30年度から配置が始まった指導員で、教職員に代わって単独で指導したり、引率したりすることができる。</p> <p>外部指導者</p> <p>・技術指導を主な目的として各学校が派遣を申請する指導員。あくまで、顧問の補佐的立場でのコーチであり、単独では指導できない。主管はスポーツ振興課となる。</p> <p>④計画的な食に関する指導(食育)を栄養教諭を派遣して行うことにより、児童生徒の望ましい食生活・生活習慣の推進を図ることができた。また、全中学校において「薬物乱用防止教室」を実施した。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                                                                                      |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |       |

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 中学校部活動送迎支援事業  |                                                                                                                                                                                                                                                                           | 平成31年度事業費 | 5,797千円   | 担当課     | 学校教育課 |   |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|---------|-------|---|
| 事業目的・内容  | <p>[目的]</p> <p>中体連主催の公式試合への参加に係る生徒輸送について、スクールバスや民間バスを利用することにより、より安全な輸送を確保すること。</p> <p>特に、県新人戦大会は遠方での開催となり個人負担も大きくなることから、生徒の輸送にかかる経費の一部を公費負担し、保護者の負担を軽減することで参加しやすい状況をつくる。</p> <p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日田市中学校総合体育大会<br/>(主催:日田市中学校体育連盟)</li><li>・日田市中学校新人大会<br/>(主催:日田市中学校体育連盟)</li><li>・大分県中学校新人大会<br/>(主催:大分県中学校体育連盟)</li><li>・日田市中学校駅伝競走大会<br/>(主催:日田市中学校体育連盟)</li><li>・大分県中学校駅伝競走大会<br/>(主催:大分県中学校体育連盟)</li></ul> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・大分県中学校新人大会参加数(日田市)<br/>9校44チーム</p> <p>日田市中体連主催の公式試合及び県新人戦大会において、スクールバスや民間バスを利用して、プロドライバーの運転による生徒の移動参加体制を構築することができ、生徒が安全かつ安心に大会参加できた。</p> <p>県新人戦大会においては、バスに同乗する保護者の負担金を一律(乗車人数1人当たり1日1,000円)にして、保護者負担軽減を図るとともに、空いた座席に保護者が同乗し、バスを効率的に活用できた。</p> <p>以上のことから評価を5とした。</p> |           |           |         | 評価    | 5 |
|          | 事業または取組名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |               | フッ化物洗口推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                |           | 平成31年度事業費 | 1,874千円 |       |   |
| 事業目的・内容  | <p>[目的]</p> <p>これまで学校が行ってきた歯磨き指導や食に関する指導と併せ、フッ化物洗口を実施することにより、すべての児童のむし歯予防を推進するとともに、保護者の協力を得ながら歯・口の健康づくりに対する児童一人一人の意識を高めるもの。</p> <p>[内容]</p> <p>全小学校で安全かつ安心なフッ化物洗口を行う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>全小学校実施の2年目を迎え、保護者や教職員の理解を深められたことで、実施率は平成30年度の87.6%から0.3%増の87.9%となった。</p> <p>年間を通して80%を超える実施率で、予定通りの回数を安全に実施できたことから、評価を5とした。</p>                                                                                                                                        |           |           |         | 評価    | 5 |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                        |    | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                       |
|----------------------------|----|-----------------|--------------------|-----------------|----------|-----------------------|
|                            |    |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                    |
| 児童生徒の体力テストの総合評価C以上の児童生徒の割合 | 小男 | 80.0%           | 82.0%              | 81.0%           | 79.4%    | 平成31年度体力・運動能力調査結果     |
|                            | 小女 | 83.0%           | 87.0%              | 84.0%           | 83.7%    |                       |
|                            | 中男 | 77.0%           | 78.0%              | 78.0%           | 74.6%    |                       |
|                            | 中女 | 91.0%           | 95.0%              | 92.0%           | 89.6%    |                       |
| 12歳児一人あたりの平均の虫歯本数          |    | 1.55本(H27)      | 1.2本               | 1.0本            | 1.10本    | 平成31年度児童・生徒定期健康診断調査結果 |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆平成30年度に引き続き、中学校男子において2年連続して「体力テストの総合評価C以上の生徒の割合」が目標値に達していないため、体力向上推進校における実践事例等を市内中学校に広く周知し、総合的な運動能力を高めるとともに、運動への愛好度を高めること等により運動習慣の向上を図っていく。
- ◆フッ化物洗口については、令和2年度の市内全中学校への導入も踏まえ、円滑な実施に当たり保護者や教職員に趣旨や安全性について十分理解していただく必要があるため、今後においても、歯科医師会や県教委体育保健課等と連携して、専門的知見に基づき丁寧に説明会を実施していく。

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 学校教育の充実                         | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ ー 第1                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実             | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ⑤ いじめ・不登校対策の充実・強化                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                 | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>いじめ防止に係る取組の推進については、各学校において、「学校いじめ防止基本方針」に基づいた組織的な生徒指導体制の構築が図られている。</p> <p>また、不登校対策においては、不登校の未然防止や初期対応の徹底、個に応じた的確な解決支援の実現等に向けた組織的な取組を推進することができた。</p> <p>さらには、教育センターに配置するスクールソーシャルワーカーの勤務時間を延長したことにより、「不登校」「発達障害」「心身・健康」「家庭環境」等、多様化・複雑化する悩みを抱える児童生徒・保護者・教職員に対し、専門的知見に基づく指導・支援の充実を図ることができた。</p> |                                 |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名                                                                                                                                                     |                                                                                           | いじめ対策の充実・強化 |        | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     | —   |     | 担当課 |  | 学校教育課 |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|--|-------|--|-----|--------|------|--------|--|----|--|----|--------|----|--------|----|--------|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|------|------|------|----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 事業目的・内容                                                                                                                                                      | [目的]<br>すべての子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、いじめの未然防止対策や早期発見・早期対応の徹底を図る。また、関係機関と連携した支援の充実と強化を図る。 |             |        | <div>《いじめの認知件数及び解消率》<br/>※H31年度2学期末調査</div> <table><thead><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">小学校</th><th colspan="2">中学校</th><th colspan="2">合計</th></tr><tr><th>件数</th><th>解消率(%)</th><th>件数</th><th>解消率(%)</th><th>件数</th><th>解消率(%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>621</td><td>46.9</td><td>149</td><td>57.0</td><td>770</td><td>48.8</td></tr><tr><td>H31</td><td>975</td><td>48.1</td><td>105</td><td>57.1</td><td>1080</td><td>48.9</td></tr><tr><td>増減</td><td>354</td><td>1.2</td><td>▲ 44</td><td>0.1</td><td>310</td><td>0.1</td></tr></tbody></table> |     |     |     |     |  |       |  |     | 小学校    |      | 中学校    |  | 合計 |  | 件数 | 解消率(%) | 件数 | 解消率(%) | 件数 | 解消率(%) | H30 | 621 | 46.9 | 149 | 57.0 | 770 | 48.8 | H31 | 975 | 48.1 | 105 | 57.1 | 1080 | 48.9 | 増減 | 354 | 1.2 | ▲ 44 | 0.1 | 310 | 0.1 |
|                                                                                                                                                              |                                                                                           | 小学校         |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     | 中学校    |      | 合計     |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
|                                                                                                                                                              |                                                                                           | 件数          | 解消率(%) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  | 件数  | 解消率(%) | 件数   | 解消率(%) |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
|                                                                                                                                                              | H30                                                                                       | 621         | 46.9   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  | 149 | 57.0   | 770  | 48.8   |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
|                                                                                                                                                              | H31                                                                                       | 975         | 48.1   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  | 105 | 57.1   | 1080 | 48.9   |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
|                                                                                                                                                              | 増減                                                                                        | 354         | 1.2    | ▲ 44                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 0.1 | 310 | 0.1 |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
|                                                                                                                                                              | [内容]<br>①未然防止対策の充実                                                                        |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
|                                                                                                                                                              | ②早期発見・早期対応の徹底                                                                             |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
|                                                                                                                                                              | 事業取組・成果・評価の理由                                                                             |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
|                                                                                                                                                              | 評価                                                                                        |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
| 5                                                                                                                                                            |                                                                                           |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
| ※いじめの認知件数は、H30年度(小中合計:770件)と比較すると約1.4倍となっているが、H31年度については、いじめが依然として社会問題化していることを踏まえ、各学校において教育相談や児童生徒の観察を行い、軽微な事案を含めて積極的にいじめと認知したためと捉えられる。                      |                                                                                           |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
| ※「解消」とは当該行為が止んでおり、心身の苦痛を感じていないことや、その目安が少なくとも3か月であることが規定されており、経過観察中のものが多数含まれていることから解消率の数値は低い値となっている。                                                          |                                                                                           |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
| ①児童生徒が主体となるいじめ防止の取組の実施、全教員による「生徒指導の3機能」を生かした授業づくり等、いじめの未然防止に向けて、「学校いじめ防止基本方針」に基づいた組織的な取組を推進できた。また、認知したいじめに対しては個人面談や状況把握のための再アンケート等を実施し、早期の解消に向けて継続して取り組んでいる。 |                                                                                           |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
| また、ネットトラブルの未然防止策として、中学校新入生説明会において、専門的知見を持った講師を招聘した親子合同「ネット安心教室」を実施したことにより、生徒の自律心を育むとともに、保護者の役割や責任について意識を高めることができた。                                           |                                                                                           |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
| ②各学校において、校内いじめ防止等対策委員会を中心として定期的なアンケート調査や教育相談等を実施するなど、いじめ早期発見・早期対応に、組織的かつ計画的に取り組んだ。                                                                           |                                                                                           |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
| また今日的課題であるネットトラブルの問題については、年間5回開催する日田市生徒指導協議会において研修会を実施したり、きめ細かな情報交換を行うことにより、小学校・中学校・高等学校・関係機関と連携してインターネットによるトラブル等の未然防止の対策を図ることができた。                          |                                                                                           |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |
| 以上のことから、評価を5とした。                                                                                                                                             |                                                                                           |             |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |     |     |     |  |       |  |     |        |      |        |  |    |  |    |        |    |        |    |        |     |     |      |     |      |     |      |     |     |      |     |      |      |      |    |     |     |      |     |     |     |



| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 関係機関と連携した取組  | 平成31年度事業費     | 20千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>関係機関と連携した児童生徒の問題行動への対応について、支援体制の充実を図る。<br><br>[内容]<br>①日田市教育委員会の附属機関として、日田市学校問題支援チームの設置<br>・日田市学校問題支援チーム会議定例会<br>【出席者】<br>弁護士、精神科医、大分県警スクールサポーター、臨床心理士、市教委関係者<br><br>②生徒指導協議会と連携して家庭・地域と一体となった健全育成活動の推進。<br>・生徒指導協議会定例会<br>【出席者】<br>小中高の担当者、日田署生活安全課、こども未来課など関係機関の代表<br>・生徒指導協議会支部総会<br>【出席者】<br>小中高の担当者、育友会関係者、日田署生活安全課、自治会長、民生児童委員等 |              | 事業取組・成果・評価の理由 | ①年間2回の日田市学校問題支援チーム会議の開催により、関係機関との連携を図るとともに専門的知見からの支援を得ることができた。会議では、具体的事例を挙げ、学校及び市教委の対応や指導等に対する専門家の意見をj得ることで、未然防止対策のより一層の充実が図られた。<br><br>②日田市生徒指導協議会を年間5回実施し、各機関からの助言や学校間の情報共有等、生徒指導に関する連携が図られた。また、市統一の指導内容の確認や全学校との情報交換をすることで、児童生徒の健全育成につながった。<br>中学校区ごとの各支部組織においては、児童生徒のあいさつや登下校時の状況について学校と地域が情報共有し、家庭・地域と学校が一体となった健全育成が図られた。<br><br>以上のことから、評価を5とした。                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |       |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |     |       |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 不登校対策等の充実・強化 | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>すべての子どもたちにとって魅力ある学校づくりを推進し、不登校の未然防止や早期発見・対応・支援の充実を図る。<br><br>[内容]<br>①教育相談コーディネーターを中心とする校内対策委員会の定例化により、不登校の未然防止、初期対応の徹底、個に応じた的確な解決支援の実現等を組織的に推進する。<br><br>②不登校に係る教職員研修の充実を図る。                                                                                                                                                         |              | 事業取組・成果・評価の理由 | ①校内対策委員会の定例化を図るため、各校の教育相談コーディネーターを中心とした組織づくりを行い、不登校未然防止の取組として、児童生徒の絆づくりや居場所づくりを意識した集団づくり・人間関係づくり等の活動や日常の観察、不登校早期発見・初期対応のための「欠席状況把握シート」の活用徹底を行った。<br>また、地域児童生徒支援コーディネーター(県)による巡回訪問指導を行うことで、個に応じた解決支援の推進につながった。<br>さらに、学年・学校間を越えた支援状況の共有や切れ目のない支援の継続を目的に、「児童生徒支援引継シート」を活用したことで、組織的な支援を行うことにつながった。<br><br>②教育相談担当者会を学期ごとに開催し、校内教育相談体制の在り方、不登校児童生徒への支援の在り方、インターネット依存症対策等の研修を行い、教育相談コーディネーターの資質向上につながった。<br>また、教育センター研修講座では、「人間関係づくりプログラム実践講座」を開催することができた。<br><br>2学期末時点での不登校児童生徒(欠席日数30日以上)の出現率は、小学校が0.63%、中学校が2.36%となっており、この時点で、目標値(平成31年度推測値)に達していないが、各校において未然防止、初期対応、解決支援の取組に、組織的・体系的に取り組むことができている。<br><br>以上のことから、評価を5とした。 |     |       |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |     |       |

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 問題を抱える子ども等の自立支援事業 | 平成31年度事業費     | 19,780千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>臨床心理士や心の相談員、スクールソーシャルワーカーの活動により、いじめや不登校、家庭環境に起因する問題等の複雑な悩みを抱える児童生徒・保護者への支援を実施する。                                                                                                                                                                                         |                   | 事業取組・成果・評価の理由 | ①【臨床心理士(2名)によるカウンセリング件数】<br>H31年度 延べ837件<br>・「発達障がい」に関するもの 365件<br>・「心身の健康や自分の性格」に関するもの 254件<br>・「不登校」に関するもの 185件<br><br>近年、「発達障がい」や「心身の健康・性格」の問題を中心に相談件数が増加傾向にあるが、支援を要する児童生徒や保護者に対して臨床心理士等が専門的知見に基づき見立てや助言を行うことができた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |       |
|          | [内容]<br>①臨床心理士による悩みを抱える子どもや保護者、教職員へのカウンセリングを実施<br>・臨床心理士(2名 週のべ4日在所)による心理療法を用いた支援<br><br>②心の相談員による不登校児童生徒への訪問支援・別室登校生への支援等、学級・学校復帰に向けた支援の実施<br>・6名を不登校児童生徒の多い小中学校に派遣<br><br>③スクールソーシャルワーカーによる児童生徒の家庭環境等の改善を図る支援の実施<br>・教育センターに3名配置<br>・社会福祉士による関係機関とのネットワークを生かした児童生徒や保護者、家庭支援の実施 |                   |               | ②【支援の内容】<br>・別室登校をしている児童生徒への活動支援<br>・不登校児童生徒宅への家庭訪問<br>・やまびこ学級の通級生が学級・学校復帰するための支援<br><br>不登校児童生徒に対する支援を必要とする学校からの要請に応じ、市内小・中学校に6名の心の相談員を派遣した。平成31年度は中学校5校(東部・三隈・南部・北部・大山)と教育センターを拠点とし、支援を行った。<br><br>③【取扱件数】<br>・H31年度:1,721件(H30年度:573件)<br>【訪問回数】<br>・H31年度: 811回(H30年度:516回)<br>【主な支援内容】<br>・「不登校」に関するもの 51件<br>・「心身の健康」に関するもの 49件<br>・「家庭環境の問題」に関するもの 47件<br><br>家庭への支援を必要とする児童生徒とその保護者を対象に、スクールソーシャルワーカーが数か月から複数年にわたり継続的に寄り添い、支援を行うことで、医療機関や市の関係機関につなぎ、改善に導く活動を行った。<br><br>保護者や学校からの専門スタッフによる支援要請は年々増加しているが、臨床心理士・心の相談員・スクールソーシャルワーカーがそれぞれに専門性を生かしながら継続した活動を行うことで、少しずつではあるが確実に個々のケースを解決・改善へと導いている。<br><br>以上のことから、評価を5とした。 |     |       |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                   |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 評価  | 5     |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名         |   | 現状値        | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績     |                                                                 |
|-------------|---|------------|-------------|----------|--------------|-----------------------------------------------------------------|
|             |   | (平成28年度)   | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値          | 内容                                                              |
| いじめの解消率     | 小 | 76%(H27)   | 82%         | 88%      | 48.1%(82.3%) | 平成31年度2学期末調査結果(年度末結果は翌11月頃公表)<br>※( )内参考値は、平成31年度3学期末までの市独自集計結果 |
|             | 中 | 79%(H27)   | 85%         | 88%      | 57.1%(65.8%) |                                                                 |
| 不登校児童生徒の出現率 | 小 | 0.41%(H27) | 0.31%       | 0.27%    | 0.63%        | 平成31年度2学期末調査結果(年度末結果は翌11月頃公表)                                   |
|             | 中 | 2.22%(H27) | 2.15%       | 2.11%    | 2.36%        |                                                                 |

※現状値及び目標値は各年度末時点

## 【課題と今後の方向性】

◆いじめの防止対策に向けては、ネットいじめをはじめとして、いじめの態様が多岐にわたるとともに潜在化するものもあり、容易に認知することができにくい現状にあるといった課題があるため、定期的なアンケート調査の回数や教育相談の回数を増やす等により、きめ細やかな観察や指導を行うことでいじめの未然防止、早期発見・早期解決を推進していく。

◆児童生徒の不登校支援においては、小学校低学年から不登校の状況になる低年齢化が近年顕著であるとともに、複数年にわたって不登校の状況が継続する等の長期化が課題となっている。これを踏まえ、市内2名配置の地域児童生徒支援コーディネーターを活用した「人間関係づくりプログラム」の取組等、未然防止の推進を図るとともに、教育相談コーディネーターを各学校の校務分掌に位置づけ、不登校児童生徒を支援する組織的な相談・支援体制づくりを一層推進する。併せて、県が各学校に配置しているスクールカウンセラーや市が教育センターに配置している臨床心理士・教育相談員等の専門スタッフの活用を進めたり、医療や関係機関、教育センターや「やまびこ学級」と連携し、ひきこもりがちな長期欠席児童生徒を、学校復帰を含む社会的自立支援に向けて支援していく。

通し番号 7

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 学校教育の充実                          | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ 第1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進」 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実              | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ⑥一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                  | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>特別支援コーディネーター部会での研修会のほか、特別支援教育サポート補助職員対象の研修会、全教職員対象の研修会が充実してきたこと、特別支援教育に関する定期的な校内研修が行われていることで、「個別の指導計画」作成の必要性及び活用の有効性が認識され、特別支援学校を始めとする専門機関との連携を含む、組織的・計画的な支援体制の整備が図られた。</p> <p>また、担任、特別支援教育サポート補助職員を中心に、個別の支援を必要とする児童・生徒の安全確保、精神的安定、生活面での自立、学習の理解と定着を目指し、支援体制・支援方法の工夫や適切な支援等を組織的に行うことで、支援を必要とする児童生徒がより充実した学校生活を送れる仕組みづくりが推進された。</p> |                                  |     |       |

## 【個別評価】

| 事業または取組名 | 校内支援体制の充実及び教職員の専門性の向上                                                                                                                                                                            | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>障がいの状況を的確に把握し、一人ひとりのニーズに応じた一貫した支援を進めること。</p> <p>【内容】<br/>①校内における就学指導及び相談体制の充実<br/>②障がいのある児童生徒に対する教育支援体制整備と支援の充実に向けた協議を行う特別支援連携協議会の充実<br/>③教職員の専門性の向上<br/>④センター的機能を持つ特別支援学校との連携推進</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>①保護者からの教育相談や就学相談には、特別支援教育コーディネーターが中心となり、必要に応じて専門機関による受診や発達検査の実施につなぎ、その結果を個に応じたきめ細かな支援及び指導に活かしたり、就学先の見直しを行ったりする等適切な対応ができています。</p> <p>特別支援教育コーディネーターは部会において、「個別の指導計画」「個別的教育支援計画」の作成、関係機関との連携の在り方、就学指導に関する手続きやタイムスケジュール等の研修を行い、各校での具体的な支援に活かすことができました。</p> <p>②年2回、特別支援連携協議会の開催を通して、関係機関の事業及び課題を交流することにより、障がいのある乳幼児・児童生徒への支援に活かすことができました。</p> <p>③教育センターの研修講座「児童生徒の理解に役立つカウンセラーの見方・考え方」を86名の教職員が受講した。</p> <p>④特別支援学校と連携した「専門家チーム会議及び相談会」を年2回開催し、学校からの合理的配慮に係る相談に応じるとともに、特別支援コーディネーターや特別支援教育活動サポート事業補助職員の研修会に特別支援学校から講師を招聘し研鑽を深めた。</p> <p>以上のとおり、指導や相談における連携体制が確立しており、理解を深めるための研修も実施できたことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |

| 事業または取組名 | 特別支援教育活動サポート事業                                                                                                                                                                                                   | 平成31年度事業費     | 47,967千円                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>特別な支援が必要な児童生徒が在籍する通常学級に補助職員を配置し、日常生活上の支援や学習活動上のサポート等により児童生徒への個別の対応・学習理解の促進を図る。<br/>また、危険行動、学校外への飛び出しなど、緊急時に対応できる危機管理体制を構築する。</p> <p>【内容】<br/>・小学校15校 31名、中学校6校 13名 計21校 44名配置<br/>・補助職員研修会 年3回開催</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>保護者からの要望や児童生徒の実態をもとにした学校からの派遣要請を受け、市教委が必要と判断した学校へ補助職員を計画的に配置することで、支援を要する児童生徒の見守りや適切な声かけ、安全確保の対応等ができる等、対象児童生徒の教育的ニーズへの対応の充実に図られた。</p> <p>また、補助職員の力量の向上を目的に年3回の研修会を実施し、発達障がい等児童生徒の抱える困難さや、適切な支援の在り方等についての理解を深めることで、特別な支援が必要な児童生徒への支援に活かされている。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                     |   | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                               |
|-------------------------|---|-----------------|--------------------|-----------------|----------|-------------------------------|
|                         |   |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                            |
| 「個別の指導計画」の作成率<br>(通常学級) | 小 | —               | 92%                | 95%             | 98.0%    | 通常学級において「個別の指導計画」を作成している学校の割合 |
|                         | 中 | —               | 92%                | 95%             | 97.0%    |                               |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆医療関係者・保健関係者・福祉関係者・教育関係者で構成される特別支援連携協議会において協議を重ね、発達障がいや特性を有する児童生徒一人ひとりに対する合理的配慮に基づく計画的・組織的な支援体制の充実を図っていく。
- ◆通常学級における「個別の指導計画」の作成率は目標値に達したが、作成数については学校間でばらつきがあるため、通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒を的確に把握する。さらに特別支援教育コーディネーターを中心として作成した「個別の指導計画」を効果的に活用し、計画的・継続的指導に当たるよう指導・助言していく。

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 学校教育の充実                         | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ－第1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実             | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ⑦教育センター機能の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                 | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>教職員の研修講座については、研修の内容を教職員のニーズや教科指導をはじめとする教育課題に基づいたものとしたため、前年度よりも教職員の参加率が向上した。</p> <p>また、保護者や教職員・児童生徒の相談対応については、教育相談員3名が、相談者を臨床心理士やスクールソーシャルワーカーの支援へとつなぐ役割をしっかりと果たせたことにより、多種多様な悩みに的確に対応することができた。</p> <p>また、学校に登校できない児童生徒の心の居場所であるとともに、学習支援や自立支援等を行うことを目的として設置している「やまびこ学級」においては、通級生の78.3%が在籍校への学校復帰や高校進学あるいは就職による社会復帰を果たした。</p> |                                 |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 教育センター運営事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 平成31年度事業費     | 5,851千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日田市全体の教育課題への対応や教職員のニーズに応じた内容についての研修講座を開催し、教職員の指導力や資質の向上を図る。</li> <li>・児童生徒や保護者、教職員の多種多様な問題に対応できる相談体制を組織する。</li> <li>・不登校児童生徒の居場所を保障しながら、学習支援や体験活動並びに相談活動をととして、自立心や社会性をはぐむ支援を行う。</li> </ul> <p>【内容】</p> <p>①研究研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員対象の研修講座の開催</li> <li>・長期派遣研修生の報告会開催</li> <li>・図書室運営、資料提供</li> </ul> <p>②相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談員3名の配置</li> </ul> <p>③「やまびこ学級」開設、運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談員3名が中心となり運営</li> </ul> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>①研究研修事業</p> <p>日田市学校教育の重点方針に係る威宜園教育の理念を学ぶ講座をはじめ、厳選した8講座の研修講座(参加者数444人)を開設した。</p> <p>児童生徒理解に加えて、市内全学校での設置を翌年に控えたコミュニティ・スクールについての講座、また学習指導要領全面実施を控えた外国語教育やタブレット端末の導入が進んでいるICT活用の実践講座等、教育課題への対応や学校現場のニーズに応じた講座を開設することができた。</p> <p>また、講座によってはペアやグループでの体験活動を取り入れる等の工夫も行った。参加率も前年度より0.8%増の91.7%となり、教職員の資質向上や指導力を高める研修機会を保障できた。</p> <p>②相談事業</p> <p>不登校や発達の悩み等多種多様な問題を抱える保護者や教職員・児童生徒の相談窓口として、3名の教育相談員が、電話や面接等により307件の相談に対応した。内容によっては臨床心理士やスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフの支援へとつないだり、学校と相談者をつないだりするなど、教育センター相談事業における重要な役割を担った。</p> <p>③「やまびこ学級」開設、運営事業</p> <p>「やまびこ学級」は、ひきこもりがちな長期欠席児童生徒や何らかの原因で登校したくてもできない児童生徒の貴重な居場所として、体験活動やグループ活動、学習活動を行いながら、児童生徒の自立支援を行った。</p> <p>平成31年度は、延べ23人が通級し、3月末には18人が学校復帰・高校進学・就職を果たし、自らめざす先へ進んでいる。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |

【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名     | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |           |
|---------|----------|-------------|----------|----------|-----------|
|         | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容        |
| 研修講座参加率 | 78.90%   | 91%         | 95%      | 91.70%   | 444人／484人 |



### 【課題と今後の方向性】

◆年々多様化・複雑化・長期化する児童生徒や保護者・教職員が抱える悩みについては、学校が抱え込んでしまっただけで対応に苦慮する場面も多くみられることから、教育相談員や臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフが学校と連携を取りながら対応していく。これに加えて、関係機関や医療機関にもつなぐことにより、相談機能と支援体制のさらなる充実を図っていく。

◆不登校児童生徒に対しては、国の法整備に伴い、学校復帰のみを目指すのではなく、より一層多様な学びの場を保障していくことが必要となるため、不登校児童生徒の貴重な居場所となる「やまびこ学級」において、体験活動・グループ活動・学習活動のより一層の充実を図ることにより、学校復帰や社会的自立をめざしていく。



やまびこ学級の様子

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 学校教育の充実                          | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ－第1                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進」 |     |       |
|          | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 小中連携・小中一貫教育の推進                   | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①小中連携教育の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                  | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>中学校区ごとに、1学期に小学校教員が中学校を訪問し、入学間もない1年生の授業参観や教員間での情報交流を行ったり、3学期には中学校教員が小学校を訪問し、出前授業や入学予定児童の中で教育的支援が必要な児童についての情報共有を行うことで、小6児童の中学進学時における不安解消や特別な支援を要する児童の継続的な支援につなげることができた。また、小中の授業交流が推進されたことにより、授業改善や指導方法に関する共通理解が深まり、さらに義務教育9年間を見通した児童生徒の育成についての意識向上が図られており、小中の円滑な接続に向けて小中連携教育の推進が図られた。</p> |                                  |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 小中交流研修の取組                                                                                                                                                                                                                                      | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>小学校と中学校の教員が互いに交流し、学習指導方法の違いの検証や生徒指導上の情報を共有することにより、小中のスムーズな接続を図る。</p> <p>【内容】<br/>・小中交流研修<br/>A…中→小(3学期):出前授業や情報交換<br/>B…小→中(1学期):授業参観や情報交換<br/>C…小⇄中(随時):<br/>学力向上支援教員公開授業<br/>教育課程等研究協議会提案授業<br/>校種(小・中)が異なる授業の授業参観や研究大会等への参加</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・小中交流A<br/>小学校卒業間近の3月に6年生への出前授業を計画していた学校が多く、臨時休業のため出前授業は実施できなかったが、すべての小学校で中学校の教員との情報交換会は実施できた。<br/>(15校/15校)37名</p> <p>・小中交流B<br/>中学校入学後の1学期に、小学校の教員が中学校を訪問し、1年生の授業参観や生徒への配慮事項等の情報交換を行い、きめ細かな指導につなげた。<br/>(9校/9校)21名</p> <p>・小中交流C<br/>各教科領域部会授業研究会での交流<br/>(小⇒中 55名 中⇒小 37名 )<br/>その他随時交流(2名)</p> <p>平成30年度同様、すべての小中学校において中学校区ごとに小中交流研修A、Bの実施ができた。中学校入学後の卒業生の様子を参観したり、情報交換を行う中で、生徒指導上の課題や特別の支援を要する児童生徒の情報を小中で共有することにより、連携の意識が深まった。<br/>また、授業参観を通して、小中学校相互の授業の進め方の相違や児童生徒の実態を知ること、教員の指導方法の改善に役立っている。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |       |

【課題と今後の方向性】

◆他校種の授業を参観することを積極的に勧奨し、授業改善について小・中の教員の共通認識をさらに深めることや、特別な支援を要する児童生徒についての情報共有を図るなどして、小中の円滑な接続を促進していく必要があるため、引き続き、全体での小中交流研修や公開授業を実施していく。

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                  |     |       |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|-----|-------|
| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 学校教育の充実                          | 担当課 | 学校教育課 |
|          | Ⅱ－第1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進」 |     |       |
|          | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 小中連携・小中一貫教育の推進                   | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ②小中一貫教育の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                  | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>3つの小中一貫校(大明小・中、津江小・中、大山小・中)においては、学校教育目標を統一することに加え、9カ年を基礎期(1～4年生)、充実期(5～6年生)、発展期(7～9年生)の3つの区分でとらえ、それぞれの発達段階において目指す児童・生徒の姿を教育課程に明確に位置づけ、計画的・系統的な教育活動を実施できた。</p> <p>さらに、充実期(5～6年生)を中心に中学校教員による乗り入れ授業を行うことで、より専門性の高い授業を実施したり、総合的な学習における地域教材を扱った学習活動及び学校行事等の特別活動を9カ年を見通して計画的・系統的に実施したりすることにより、各区分(基礎期、充実期、発展期)における具体的な取組が教員に共有化され、義務教育9カ年を見通した児童生徒の育成に向けた小中一貫教育の推進が図られた。</p> |                                  |     |       |

#### 【個別評価】

| 事業または取組名 | 小中一貫教育の特色を生かす取組                                                                                                | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | — | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>小中一貫教育の特色を生かした取組を効果的に進めていく。</p> <p>【内容】<br/>①小中一貫教育の特色を生かすための教員配置<br/>②小中一貫教育の特色を生かすための教育課程の編成</p> | <p>事業取組・成果・評価の理由</p> <p>①小中一貫校への教員配置及び乗り入れ授業(小中学校教員の校種をまたいだ相互授業)の状況<br/>＜大明小・中学校＞<br/>【小教員→中授業】なし<br/>【中教員→小授業】「体育」</p> <p>＜津江小・中学校＞<br/>【小教員→中授業】なし<br/>【中教員→小授業】「音楽」「体育」「算数」</p> <p>＜大山小・中学校＞<br/>【小教員→中授業】「技術」<br/>【中教員→小授業】「音楽」「外国語活動」</p> <p>乗り入れ授業により、音楽や体育、外国語活動において、それぞれの学校で教員の専門性を生かした学習を行うことができた。</p> <p>②学校教育目標を統一し、9カ年を基礎期、充実期、発展期の3つの区分でとらえ、それぞれの段階で目指す児童・生徒の姿を教育課程に位置付け、計画的・系統的に教育活動を実施した。総合的な学習を中心に地域教材を扱った学習やそれぞれの地域の特性を生かした小中合同の行事の実施、地域行事への参加を小中一体となって行った。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p> |   |     | 5     |
|          |                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |   |     |       |

#### 【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◆引き続き中学校教員の専門性を生かした小学校への乗り入れ授業を推進するとともに、技能教科を中心に中学校の教員免許をもつ小学校教員を3つの小中一貫校に配置することを推進し、小学校教員による中学校への乗り入れ授業の実施に取り組み、相互乗り入れ授業を促進していく。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|          |                                                                                                                                           |                                 |     |       |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|-------|
| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                         | 学校教育の充実                         | 担当課 | 学校教育課 |
|          | Ⅱ－第1                                                                                                                                      | 「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |       |
|          | 2                                                                                                                                         | 小中連携・小中一貫教育の推進                  | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ③小中一貫校におけるコミュニティ・スクールの推進                                                                                                                  |                                 | 5   | A     |
| 評価理由     | 平成30年度からコミュニティ・スクールを導入した津江小・中学校、大山小・中学校においては、1年目の課題をふまえた具体的取組が進んだ。また、平成31年度からコミュニティ・スクールを導入した大明小・中学校においても、2年間の準備期間を生かし、計画的に学校運営協議会が実施できた。 |                                 |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 小中合同学校運営協議会設置の推進                                                                                                                                                                                                      | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>[目的]<br/>地域とともに子供を育む学校運営を充実させる。</p> <p>[内容]<br/>小中一貫校における学校運営協議会の在り方について、研究を進める。</p> <p>○小中一貫校における学校運営協議会設置計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度 津江小・中学校、大山小・中学校</li> <li>・H31年度 大明小・中学校</li> </ul> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>平成30年度からコミュニティ・スクールを導入した、津江小・中学校、大山小・中学校においては、保護者と共に全児童生徒が参加した防災の取組を実施したり、学校運営協議会と育友会が連携して諸行事に取り組んだり具体的な活動が行われた。</p> <p>平成31年度からコミュニティ・スクールを導入した大明小・中学校においても、学習支援に向けた地域人材の発掘等の協議が深まったことから、小中一貫校におけるコミュニティ・スクールの推進が十分図られた。</p> <p>小中一貫校におけるコミュニティ・スクールの推進は計画どおり進んでいることから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |

【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◆平成30年度、コミュニティ・スクールが導入された津江小・中学校、大山小・中学校では、防災教育や安全管理について具体的な取組が行われた。平成31年度コミュニティ・スクールとなった大明小・中学校では、協議は深まったことから、令和2年度は次の段階として、具体的な取組を推進していくよう実践例を示しながら働きかけを行っていく。 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 学校教育の充実                         | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|--------------|
|          | Ⅱ ー 第1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 「夢と誇りをもって、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |              |
|          | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 学校人権教育の充実                       | 平均値 | 総合評価         |
| 【主な取組】   | ①学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                 | 4.8 | A            |
| 評価理由     | <p>「2019年度 日田市人権教育指導のてびき(以下『てびき』)」を刊行し、全教職員および社会教育関係者等の共通理解と研修に活用することができた。</p> <p>各学校で、人権教育全体計画や年間指導計画の策定と取組の検証が行われ、人権教育主任を要としてPDCAサイクルに則った組織的・計画的・継続的な人権教育実践が推進された。</p> <p>指定研究校の大山中学校では、「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」(以下[第三次とりまとめ])等の理念を踏まえた人権尊重の視点に立った学校づくりを目指し、具体的な取組についての研究が行われた。公開発表会では、人権尊重の3視点(自己存在感を持たせる、共感的人間関係を育成する、自己選択・決定の場を設定する)を活用した授業を通して、自他を大切に生徒の育成の成果を他の小・中学校に還流することができた。</p> |                                 |     |              |

# 【個別評価】

| 事業または取組名 | 学校人権教育事業(「指導のてびき」印刷・製本)                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 平成31年度事業費     | 143千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】</p> <p>日田市の学校教育における人権教育の実施方針、内容等を周知徹底し円滑な推進を図るとともに、社会教育関係者等との情報共有を行う。</p> <p>【内容】</p> <p>「平成30年度学校および社会人権教育の取組」「平成31・令和元年度学校人権教育推進計画・社会人権教育推進計画」や各種研修資料を掲載した『てびき』を作成し、小中学校の教職員全員をはじめ公民館長等の社会教育関係者等にも配布し、取組の共通理解と研修の充実を図る。</p>                                                                                     | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>「2019年度日田市人権教育指導のてびき」内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度の人権教育推進計画</li> <li>・日田市人権学習共通教材(以下「共通教材」)の活用方法等</li> <li>・[第三次とりまとめ]の理念と実践方法</li> <li>・「部落差別解消推進法」をはじめとする人権法整備の流れ</li> </ul> <p>※印刷冊数 700冊</p> <p>全教職員に「てびき」を配布し、人権・部落差別解消教育課から各学校の人権教育主任へ周知し平成31年度の学校人権教育推進計画の共通理解を図るとともに、「てびき」の内容を教育実践に生かすための教職員研修を各学校で1回以上実施した。また、公民館職員など社会教育関係者や日田玖珠地域の高等学校にも配布し、共通理解を図ることができたことから、評価を5とした。</p>                | 評価  | 5            |
| 事業または取組名 | 学校人権教育事業(学校としての組織的な取組)                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】</p> <p>[第三次とりまとめ]等の理念を踏まえ、学校の教育活動全体を有機的に連携させ、人権教育主任を要として組織的・計画的・継続的な人権教育の推進を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育全体計画と各教育活動を連携させた年間指導計画をすべての小中学校で作成する。</li> <li>・すべての小中学校で、定期的に人権教育推進のための会議を開催し、取組の総括と改善を行う。</li> <li>・すべての小中学校で、相談窓口の周知を図ると共に、関係機関・団体と連携できる組織的な相談体制づくりを行う。</li> </ul> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>①年間指導計画、教職員研修計画の作成と実践</p> <p>学校の実態に応じた人権教育全体計画と「共通教材」等と連携させることができた。</p> <p>②人権教育推進のための会議</p> <p>年3回以上開催。PDCAサイクルによる組織的な取り組みが行われた。</p> <p>③スクールセクハラや性に関する相談窓口の設置</p> <p>児童生徒や保護者へも周知を行った。</p> <p>以上①～③はすべての学校で実施</p> <p>④市教委主催の人権教育主任会議・研修</p> <p>2回実施(3回予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため1回減)。助言やリーダー育成を行った。</p> <p>以上、学校全体で人権教育推進体制を整えることはできたが、小6・中3を対象とした「人権学習ふりかえりアンケート」での自己肯定感にかかわる項目については、平均値が3.2となり、目標値に達していなかったため評価を4とした。</p> | 評価  | 4            |

| 事業または取組名 | 学校人権教育事業(研究指定校交付金)                                                                                                                                                                                                                                                                     | 平成31年度事業費     | 260千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------|
| 事業目的・内容  | <p>[目的]<br/>[第三次とりまとめ]等の理念を踏まえ、学校の特性を生かし、人権尊重の視点に立った学校づくりを目指した具体的な取組についての研究を行いその成果を他校に還流する。</p> <p>[内容]<br/>人権教育研究校として、2校を2年間にわたり指定し、2年目に公開研究発表会を開催してその成果を発表するもの。</p> <p>平成31年度 研究指定校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大山中学校 (2年間の2年目)</li> <li>・大山小学校 (2年間の1年目)</li> </ul> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>大山中学校(指定校2年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開研究発表会では、[第三次とりまとめ]等の理念を踏まえた人権尊重の視点に立った学校づくりをめざした具体的な取組についての研究が行われた。</li> <li>・公開発表会では、人権尊重の3視点を活用した授業を通して、自他を大切にする生徒の育成の成果を他の小・中学校に還流することができた。(参加者66名)</li> <li>・公開研究会には高等学校の教諭も含まれており小・中・高の連携を進めることができた。</li> </ul> <p>大山小学校(指定校1年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重の3視点を活用した、年間3回の指導主事招聘による校内授業研究会を通して、主体的に課題解決に向かう力を育成する授業づくりに学校全体で取り組んだ。</li> </ul> <p>以上のことから、人権尊重の視点に立った学校づくりの方法が広められ、校種間の連携も深めることができたため評価を5とした。</p> | 評価  | 5            |
| 事業または取組名 | 日田市人権学習共通教材「部落問題学習」改訂事業                                                                                                                                                                                                                                                                | 平成31年度事業費     | 171千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>[目的]<br/>日田市内の児童生徒が、学校における人権学習において部落差別問題を正しく理解し、学ぶことで、自他の人権が守られる共生社会の形成者として必要な資質能力を培う。</p> <p>[内容]<br/>平成31年度から令和2年度の2年間で、以下の「共通教材」について、部落問題学習教材の資料の改訂を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度: 中学1年資料「生きるということ」</li> <li>・令和2年度: 小学6年資料「みんなが輝けるために」</li> </ul>      | 事業取組・成果・評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年生の「共通教材」資料において、内容の分類、精選、補完を行うと共に部落史研究の最新の情報を収集し、改訂資料案を作成した。</li> <li>・改訂資料案を用いた授業検証を協力校で実施し、改訂資料案について専門家の指導・監修を受け、さらに改良を重ねた。</li> <li>・資料中に採用する写真やイラストについて関係機関と調整中である。</li> </ul> <p>以上のことから、改訂作業が予定通り進行しているため評価を5とした。</p>                                                                                                                                                                                                                                     | 評価  | 5            |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                                           | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                                                                   |
|-----------------------------------------------|----------|-------------|----------|----------|-------------------------------------------------------------------|
|                                               | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容                                                                |
| 小6・中3で実施するアンケートにおける、※「自己肯定感」にかかわる項目の平均値(最高値4) | —        | 3.3         | 3.4      | 3.2      | ①部分的受容感3.1 ②無条件受容感3.3<br>③自己認識3.6 ④自己決定3.2<br>⑤自己有用感3.0 ⑥自己認容感2.8 |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆アンケート結果より、自己肯定感の育成に関して「部分的受容感」「自己決定」「自己有用感」「自己認容感」が目標値に達していなかった。「自己有用感」「自己認容感」の数値が低い状況にあったことから、学校や学級における児童生徒が互いを認め合う人間関係づくりを授業をはじめ学校行事や集会活動等のすべての学校教育活動において進める。また、人権に関する情報や児童生徒の思いや考えを掲示するコーナーの充実を図るなど、児童生徒の人権が尊重される環境づくりの工夫を一層進める。
- ◆様々な社会的背景等を持つ児童生徒・保護者の人権侵害等に関する相談・支援について、学校に相談窓口の設置をするとともに、児童生徒・保護者への周知を行い、関係機関等とも連携した体制をつくる。
- ◆人権教育の推進について、今後も、校長のリーダーシップの下、人権教育主任を要とした体制及び人権尊重の3視点(自己決定・選択、自己存在感、共感的人間関係)を全ての学校教育活動に位置づけた学校体制を確立し継続する。

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                             | 学校教育の充実                         | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|--------------|
|          | Ⅱ-第1                                                                                                                                                                                                                          | 「夢と誇りをもって、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |              |
|          | 3                                                                                                                                                                                                                             | 学校人権教育の充実                       | 平均値 | 総合評価         |
| 【主な取組】   | ②人権に関する知的理解と人権感覚を育て、差別をなくす実践行動につながる人権教育の指導内容及び指導方法の充実                                                                                                                                                                         |                                 | 4.5 | A            |
| 評価理由     | <p>「共通教材」による校内授業研究会の開催により、自己肯定感育成のための人権尊重の3視点の授業への効果的な位置づけ、体験的参加型学習の効果的な実施など、「差別をなくす判断力と行動力」の育成につながる人権教育の指導内容・方法の研究実践が図られた。</p> <p>ゲストティチャー（以下GT）の派遣による「出会いの学習」の内容に新たな広がりが見られ、児童生徒が、より多様な人権課題に関する認識と自らの考え方・生き方を深めることができた。</p> |                                 |     |              |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 学校人権教育事業（人権教育の指導内容・方法の充実）                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】</p> <p>「人権に関する知識」と「自己肯定感」等「人権感覚」を基盤として、「差別をなくす判断力と行動力」を育成する人権教育の指導内容・方法の充実を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>①「共通教材」を全ての小中学校で実施する。</p> <p>②「共通教材」による校内授業研究会を開催する。</p> <p>③人権教育における「人権尊重の3視点」を活用した授業を推進する。</p> <p>④学習サイクルに則った体験的参加型人権学習を推進する。</p> <p>⑤人権をめぐる情勢に応じた情報を教材として適時活用する。</p> <p>⑥平和や核について学び考える教育活動を全ての小中学校で実施する。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>①「日田市人権学習共通教材」を用いた人権学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての小中学校で実施</li> </ul> <p>②③人権に関する校内授業研究会（1校を除き実施：未実施の1校は臨時休業となったため、職員研修を実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権尊重の3視点」の授業での位置づけ</li> <li>・「特別の教科 道徳」での人権学習の在り方</li> <li>・部落差別問題について（中学校）</li> </ul> <p>④日常の行動化につながる学習サイクルに則った体験的参加型学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的参加型学習を受けた児童生徒の割合：94.1%（目標値：90%）</li> <li>・夏期の教職員人権研修実践交流講座において、実践報告や講演を実施した。</li> </ul> <p>⑤中学校社会科部会と連携して、中3公民の授業の中で、日田市作成の「差別解消3法」（「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」）についてのリーフレットを副教材として活用した。</p> <p>⑥全ての小中学校で、平和や核について学び考える時間を設け、命の大切さと自他を大切にする学習活動を行った。</p> <p>以上のことから、系統的で共通した人権に関する知的理解と人権感覚の育成を目指す取組を行うことができたため、評価を5とした。</p> | 評価  | 5            |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |              |
| 事業または取組名 | 学校人権教育事業（人権学習講師派遣の取組）                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 平成31年度事業費     | 289千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】</p> <p>児童生徒が、GTとの出会いを通して、自己肯定感を高めたり、人権課題に関する認識や自らの考え方・生き方を更に深めることができる計画的な人権学習の実践を支援する。</p> <p>【内容】</p> <p>人権の視点から自己の体験や経験を語っていただける方やワークショップのファシリテーターなどを人権学習のGTとして、各小中学校に派遣し「出会いの学習」を実施する。</p>                                                                                                                     | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>視覚障がい者理解、聴覚障がい者理解、身体障がい者理解、コミュニケーションスキルに関するGTを派遣し、「出会いの学習」を行った。</p> <p>【「出会いの学習」へのGTの派遣回数】</p> <p>小学校7校（8回）のべ13人：児童388人</p> <p>中学校4校（7回）のべ13人：生徒862人</p> <p>適応指導教室「やまびこ学級」（1回）1人：児童生徒14人</p> <p>「出会いの学習」後の児童生徒への聞き取りや感想から、人権課題への現実感や被差別当事者への共感の醸成、自己肯定感や表現力の育成等が見られた。</p> <p>しかし、GTによる人権学習をより円滑に実施するため、各小中学校の担当者とGTとの事前打合せの時間が十分に取れなかったり、実施校数や実施回数については増加がほとんど見られなかったことから、評価を4とした。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 評価  | 4            |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |              |

【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                             | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                                     |
|---------------------------------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|-----------------------------------------------------|
|                                 |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                                                  |
| 「学習サイクル」に則った体験的参加型学習を受けた児童生徒の割合 | 70.0%           | 90.0%              | 100%            | 94.1%    | 体験する、話し合う、反省する、適用するという学習サイクルに則った体験的参加型学習を受けた児童生徒の割合 |

【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◆「特別の教科 道徳」における人権・部落差別問題の指導方法にかかわる、人権学習の内容と道徳科における道徳的価値の関連や児童生徒の価値観や考え方を引き出し、比較・共有できる授業の構築について、引き続き研究を進めていく。また、人権教育主任会で指導例等を提供し、各校における人権授業研究会において指導・支援を行っていく。</p> <p>◆部落差別の解消につながる知的理解と人権感覚の内容を明確にした部落差別問題の学習を推進するため、人権教育主任会等の研修の実施、及び各校での授業実践について助言等を行う。</p> <p>◆部落差別問題学習について、社会科学学習と関連付け補完的に授業を実施するため、部落問題と社会科の相互関連の内容や提示について授業支援を行う。</p> <p>◆体験的参加型学習は94.1%の児童生徒に実施できているが、学習サイクルの「適用」段階に課題があると考え学校が半数あることから、学習サイクル活用の実践事例等について研究を進め、授業研究会等での実践について支援を行う。</p> <p>◆GTによる計画的な「出会いの学習」をさらに進めるため、人権教育主任会等で実践例等の情報提供を行っていく。</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

通し番号 14

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                      | 学校教育の充実                         | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|--------------|
|          | Ⅱ-第1                                                                                                                   | 「夢と誇りをもって、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |              |
|          | 3                                                                                                                      | 学校人権教育の充実                       | 平均値 | 総合評価         |
| 【主な取組】   | ③教職員研修の充実                                                                                                              |                                 | 5   | A            |
| 評価理由     | 全教職員人権教育講演会、教職員人権研修講座、職種別対象研修等市教委主催の研修を実施すると共に、校内人権研修会や研究指定校発表会の開催、各種人権教育研究大会等への参加などを通して、教職員の人権知識の習得や人権意識の向上を図ることができた。 |                                 |     |              |



# 【個別評価】

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                             | 学校人権教育事業(教職員対象の人権研修会の開催) | 平成31年度事業費     | 289千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>教職員に対して人権教育に関わる研修会を開催し、教職員の人権意識の向上と学校人権教育の指導者としての力を高められるようにするもの。                                                                                    |                          | 事業取組・成果・評価の理由 | ①各講演会、研修講座への参加<br>(全教職員対象)<br>人権教育講演会 (参加者数454名)<br>人権研修講座2019(5講座選択参加)<br>(参加者数391名)<br>《アンケート結果》<br>「非常に満足した・満足した」90.3%<br>「非常に参考になる・参考になる」83.8%<br>(職種等別対象研修)<br>管理職(校長・所長33名、教頭30名)<br>学校事務職員(26名)<br>小6・中1担当(30名)<br>初任者・転入者(55名)<br>養護教諭(31名)<br><br>②校内人権研修を実施(すべての学校で実施)<br>年間平均5.8回<br>当事者との対話形式による部落差別問題の研修(対話会)を実施した学校(市教委と共催):5校<br><br>③「人権教育研究指定校」における研究の推進<br>(通し番号12再掲)<br>大山中(2年次):研究発表会の開催<br>大山小(1年次):計画的な実践研究の推進<br><br>④人権社会確立第39回全九州研究集会(別府市)への参加 延べ60人<br><br>以上、市教委主催の講演会や研修講座は当初の予定通り実施することができ、各種講演会、研修会の開催や研究大会への参加支援を実現できたことから、評価を5とした。 |     |              |
|          | [内容]<br>①全教職員人権教育講演会の開催<br>教職員人権研修講座の開催<br>職種等別人権研修会の実施<br><br>②校内人権問題研修会、人権教育研修会を実施する。<br><br>③人権教育研究指定校を指定し、実践的研究を推進する。<br><br>④各種人権確立・人権教育研修会等への参加支援を行う。 |                          |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |              |

## 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                                    | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                                   |
|----------------------------------------|----------|-------------|----------|----------|-----------------------------------|
|                                        | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容                                |
| 教育委員会主催の教職員研修におけるアンケートにおいて、肯定的な回答の平均割合 | 84.9%    | 92%         | 95%      | 90.5%    | 研修に「非常に満足」「満足」と回答した人数を参加延べ人数で割った値 |

## 【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◆「共通教材」を活用した人権学習の授業を教職員研修の場とするため、すべての小中学校で「共通教材」による校内授業研究会(中学校においては部落問題学習共通教材での校内授業研究会)を実施し、教職員の人権意識の向上と指導力の向上を図る。</p> <p>◆[第三次とりまとめ]による人権教育を通じて育てたい資質能力について各校で教職員研修を実施し、人権教育を通じて培う資質・能力について理解を深め、人権尊重の視点に立った学校づくりを継続する。</p> <p>◆若年教職員が増加している状況から、部落差別問題についての研修(差別の現実、法律、歴史認識、部落問題学習実施上の留意点)を実施し、教職員の部落差別問題についての認識の深化を図る。</p> <p>◆教職員自らが「感じ・考え・行動できる」研修として体験的参加型の手法(ワークショップ、フィールドワークなど)や被差別当事者との対話形式の学習などを設定することで、教職員の人権意識と指導力の向上を図る。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                    | 学校教育の充実                         | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----|--------------|
|          | Ⅱ ー 第1                                                                                                                                                                                               | 「夢と誇りをもって、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進 |     |              |
|          | 3                                                                                                                                                                                                    | 学校人権教育の充実                       | 平均値 | 総合評価         |
| 【主な取組】   | ④家庭、地域や関係機関・団体及び各校種間との連携                                                                                                                                                                             |                                 | 4.5 | A            |
| 評価理由     | <p>小中学校で、児童生徒・保護者・地域を対象とした人権講演会や人権学習の保護者・地域への授業公開が実施され、人権問題や人権教育について保護者と考える機会となった。</p> <p>小中学校と公民館とが連携した人権講演会等の開催、行政と市民活動団体や就学前保育・教育施設が連携した教職員研修等の実施、部落差別問題の学習について高等学校への情報提供など、関係機関・団体との連携が広がった。</p> |                                 |     |              |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 学校人権教育事業(保護者等対象人権講演会等)                                                                                                                                                                                                                  | 平成31年度事業費     | 573千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>児童生徒・保護者・校区住民が、人権・部落差別問題について正しい理解と認識を得られるようにするため、各小中学校で人権講演会等を開催するもの。</p> <p>【内容】<br/>・すべての小中学校で、地域啓発も含めた人権講演会等を実施するため、各校のニーズに応じて、講師を派遣する。<br/>・小中学校で実施される人権学習を保護者に公開する。<br/>・平成28年度に施行された「差別解消3法」の内容と意義の周知を学校を通して実施する。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・人権講演会等の開催<br/>市内すべての小中学校(30校)で開催<br/>保護者と地域からの参加人数:1,225人<br/>※市内小中学校PTA会員数(4,028人)に対する割合:30%<br/>【人権講演会等のアンケートの結果(肯定的意見)】<br/>理解度 93.1% 有用性 92.5%<br/>・市教委からの人権講演会等での講師派遣<br/>小学校 22回(24人)<br/>中学校 10回(10人) 計 32回(34人)<br/>・人権教育の授業公開<br/>全ての学校で実施<br/>27%(8校)の学校で学年・学級懇談会を実施<br/>・「差別解消3法」(平成28年施行)の内容と意義の説明を小学校1年生保護者対象に実施</p> <p>以上、人権講演会の実施校、人権学習授業公開校ともに100%であったことから、評価を5とした。</p>                           | 評価  | 5            |
| 事業または取組名 | 学校人権教育事業(関係機関・団体・各校種間連携の推進)                                                                                                                                                                                                             | 平成31年度事業費     | 166千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 担当課 | 人権・部落差別解消教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>個別の人権課題、自己肯定感の育成、差別をなくす行動化など人権教育・啓発や研修を推進するため、地域・公民館、関係機関・団体および校種間の連携を推進する。</p> <p>【内容】<br/>・各小中学校を地域啓発の拠点と位置づけ、公民館と連携した人権講演会等を開催する。<br/>・関係機関・団体と連携した教職員研修等を開催する。<br/>・小・中・高の学校種間での児童生徒の情報交換の実施と人権学習を通じた連携を進める。</p>        | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・地区公民館との連携:23校(76.7%)で実施<br/>小中学校での人権講演会や人権学習参観授業の実施に際して、情報発信や共催<br/>・市連合育友会会長会・母親部会との連携<br/>部落問題にかかわる研修の実施<br/>・NPO法人ひた人権研究センターや地区集会所との連携<br/>人権推進講演会の開催・対話会や地区フィールドワーク研修の実施<br/>・こども未来課との連携<br/>就学前人権教育・保育施設の教職員研修の実施、人権教育講演会や教職員研修講座への参加<br/>・公民館との連携<br/>学校で行う人権教育講演会等の公民館から地域への告知</p> <p>以上、関係機関・団体との連携や、就学前児童から小中高まで校種が広がり、情報交換が実施できる体制づくりを進めることができたが、進捗状況の確認と継続的な周知の不足により公民館との連携が7校で実施できなかったため、評価を4とした。</p> | 評価  | 4            |

【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                      | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |         |
|--------------------------|----------|-------------|----------|----------|---------|
|                          | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容      |
| 人権講演会等に公民館が協力して実施した学校の割合 | 56.6%    | 80%         | 100%     | 76.7%    | 23校/30校 |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆保護者・地域への人権啓発の機会として、各学校の人権学習(部落差別問題をはじめとする人権課題等)の公開を継続していく。
- ◆各校の人権講演会、人権学習公開授業の開催における公民館との連携(情報提供、共催等)について、学校等関係機関への周知徹底が不十分であったことから、年度当初だけではなく、年度途中においても関係機関等への継続的な働きかけや情報提供を行う。
- ◆小・中・高の連携組織を活用し、人権・部落差別問題学習の系統的な指導や人権の視点に立った児童生徒の支援の連携を継続していく。



| Ⅱ 学校教育の充実         |   |                    |   |                    |    | 通し番号        | 担当課 | 総合評価 |
|-------------------|---|--------------------|---|--------------------|----|-------------|-----|------|
| 第2 安全で安心な学校づくりの推進 |   |                    |   |                    |    |             |     |      |
|                   | 1 | 安全・安心な教育環境の確保      | ① | 安全・安心で快適な学校施設整備の推進 | 16 | 教育総務課       | A   |      |
|                   |   |                    | ② | 児童生徒の安全確保          | 17 | 学校教育課       | A   |      |
|                   | 2 | 豊かで適正な教育環境の整備      | ① | 教育環境整備事業の推進        | 18 | 学校教育課・教育総務課 | A   |      |
|                   |   |                    | ② | 安心して学べる支援事業の推進     | 19 | 学校教育課・教育総務課 | A   |      |
|                   | 3 | 家庭・地域と協働した学校づくりの推進 | ① | 家庭・地域と協働した学校づくりの推進 | 20 | 学校教育課       | A   |      |
|                   | 4 | 安全・安心な学校給食の提供      | ① | 安全かつバランスの取れた食事の提供  | 21 | 学校給食課       | B   |      |
|                   |   |                    | ② | 施設の適正な維持管理         | 22 | 学校給食課       | A   |      |
|                   |   |                    | ③ | 施設の在り方と効率的な運用      | 23 | 学校給食課       | B   |      |
|                   |   |                    | ④ | 学校給食費の未納問題解消       | 24 | 学校給食課       | A   |      |

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                 | 学校教育の充実          | 担当課 | 教育総務課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ-第2                                                                                                                                                                                                              | 安全で安心な学校づくりの推進   |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                                                 | 安全・安心で快適な教育環境の確保 | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①安全・安心で快適な学校施設整備の推進                                                                                                                                                                                               |                  | 5   | A     |
| 評価理由     | 築40年が経過した桂林小学校校舎の大規模改修工事(平成31年度・令和2年度の継続費設定)及び築40年以上が経過した南部中学校プールの改築工事(平成31年度・令和2年度の継続費設定)に着手したことにより、計画的な老朽化対策が実施できた。<br>また、特別教室の図書室、音楽室、理科室と会議室への空調機器設置や、遊具及び体育施設の定期点検・改修による施設管理の徹底により、安全・安心で快適な学校整備を推進することができた。 |                  |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 小中学校施設整備推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 平成31年度事業費     | 194,649千円                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当課 | 教育総務課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>児童生徒の良好な教育環境及び安全性の確保を図るため、本市が設置する学校設備の整備を目的として策定した「日田市学校施設整備推進計画」に基づき、施設整備を行うもの。</p> <p>【内容】<br/>(小学校)<br/>・桂林小学校校舎大規模改修工事:144,540,000円<br/>(平成31年度・令和2年度の継続費設定)<br/>・桂林小学校校舎備品購入:1,346,730円<br/>(中学校)<br/>・南部中学校プール改築工事:48,761,800円<br/>(平成31年度・令和2年度の継続費設定)</p>                                                       | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>【工事内容】<br/>・桂林小学校<br/>普通教室棟、管理教室棟、渡り廊下の大規模改修工事(屋根、外壁、内装、建具、トイレ等改修)<br/>また、大規模改修工事に合わせ、校内のバリアフリー化推進を目的とした玄関へのスロープ設置やエレベーター設置、校舎内の段差解消及び、トイレの洋便器化。<br/>平成31年度は普通教室棟において工事を実施。<br/>・南部中学校<br/>既存プール等の解体、プール本体及び付属室の新築、擁壁新築</p> <p>2か年の継続費を設定している工事について、計画どおりの工事進捗が達成できたことから評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
| 事業または取組名 | 学校施設長寿命化計画の策定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課 | 教育総務課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>中長期的な維持管理にかかるトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保するため、学校施設の長寿命化計画を策定するもの。</p> <p>【内容】<br/>平成30年度に業務委託や関係部署との協議により作成した計画書案をもとに、計画の策定を行うもの。</p>                                                                                                                                                                     | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>平成30年度に作成した計画書案について、市内部での意思決定を行い、「日田市学校施設長寿命化計画」を策定し、教育委員会や市議会へ報告した。</p> <p>当初の予定どおり計画が策定できたことから評価を5とした。</p>                                                                                                                                                                         | 評価  | 5     |
| 事業または取組名 | 小中学校特別教室等空調機器設置事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 平成31年度事業費     | 82,307千円                                                                                                                                                                                                                                                                                | 担当課 | 教育総務課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>夏に高温多湿となる本市の気候条件を緩和し児童生徒にとって快適な学習環境を提供するため、特別教室のうち図書室、音楽室、理科室と会議室に空調機器の設置を行うもの。</p> <p>【内容】<br/>・小野小学校特別教室空調機設置工事:<br/>3,938,000円<br/>(以下H30年度繰越分)<br/>・東部中学校外特別教室空調機設置工事:<br/>15,056,000円<br/>・南部中学校外特別教室空調機設置工事:<br/>14,541,120円<br/>・前津江中学校外特別教室空調機設置工事:<br/>17,452,000円<br/>・五馬中学校外特別教室空調機設置工事:<br/>31,320,000円</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>国による平成30年度限りの交付金を活用し、特別教室のうち、使用頻度が多く室温が比較的高い図書室、音楽室、理科室、会議室について、空調機器を設置・更新した。<br/>小学校:11校33室、中学校:7校29室</p> <p>また、平成31年度予算では、小野小学校の図書室・音楽室・理科家庭科室へ空調機器を設置した。</p> <p>図書室、音楽室、理科室と会議室を優先とした当初の設置計画を前倒したことにより、快適な教育環境の確保が図られたことから評価を5とした。</p>                                            | 評価  | 5     |

| 事業または取組名 |                                                                                         | 環境に配慮した快適な施設整備の推進 | 平成31年度事業費     | -                                                                                                                                                              | 担当課 | 教育総務課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>小中学校の電気料金の削減を図るため、新電力の導入を行うもの。<br>また、教室灯の照度改善を計画的に行うもの。                         |                   | 事業取組・成果・評価の理由 | 平成29年10月から、再生可能エネルギーである、木質バイオマスチップを燃料とするバイオマス発電により作られた電力を導入し、維持管理を行った。<br>導入により、経費の節減及びエネルギーの地産地消による循環型社会の実現に寄与できた。<br>・削減額:4,469,201円(小・中学校合計)<br>・削減率:-6.92% |     |       |
|          | [内容]<br>・現在の電力に替わる新電力の導入<br>・教室灯の照度改善                                                   |                   |               | また、有田小学校及び戸山中学校の教室灯の修繕を行い、照度の改善を図った。<br>なお、目標の平成31年度までに整備が完了しなかった3校のうち、2校は令和2年度及び3年度の校舎改修に合わせ照度改善を図ることとしており、概ね順調に整備が進んだため、評価を5とした。                             |     |       |
| 事業または取組名 |                                                                                         | 学校内の遊具等の施設管理の徹底   | 平成31年度事業費     | 5,163千円                                                                                                                                                        | 担当課 | 教育総務課 |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>学校施設内の遊具及び体育施設による事故を未然に防止し、安全で安心な施設を児童生徒に提供するため、定期的な点検・改修を行い、引き続き安全な維持管理に努めるもの。 |                   | 事業取組・成果・評価の理由 | ・定期点検対象校 24校(閉校6校を含む)<br>・点検結果で使用禁止とした箇所 1校1箇所<br>・点検結果で使用禁止を含む15校44基について、全て改修済                                                                                |     |       |
|          | [内容]<br>・遊具、屋外体育施設点検<br>・点検結果による遊具、屋外体育施設の修繕・改修                                         |                   |               | 学校施設内の遊具及び体育施設の定期点検を実施し、点検結果に基づき、緊急な対応が必要である遊具等について、改修までの間、使用禁止などの措置を行い、改修を実施することにより、事故を未然に防ぎ、安全な維持管理が行えたため、評価を5とした。                                           |     |       |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                      | 現状値      | 目標値         | 目標値        | 平成31年度実績  |                                        |
|--------------------------|----------|-------------|------------|-----------|----------------------------------------|
|                          | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度)   | 達成値       | 内容                                     |
| 図書室・特別教室・会議室への空調機器の設置(%) | 34.60%   | 47.40%      | 100%       | 65.31%    | 小野小学校他18校の図書室、音楽室、理科室、会議室に対し空調機器を設置した。 |
| 長寿命化計画の策定                | —        | 100.00%     | 平成31年度策定完了 | 100.00%   | 日田市学校施設長寿命化計画を策定した。                    |
| 学校施設の照度の改善               | 未整備校8校   | 整備校3校       | 平成31年度整備完了 | 整備校(累計)5校 | 有田小、戸山中の教室灯の修繕を行った。                    |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆空調機器の設置については、校舎の大規模改修時に合わせて実施するとともに、国の交付金を活用することで図書室、音楽室、理科室、会議室への設置を進めることができた。今後は、普通教室の空調機器の更新、未整備の特別教室への空調機器設置を検討していく。
- ◆今後は日田市学校施設長寿命化計画に基づいた改修、維持管理を行い学校施設の長寿命化、校内のバリアフリー化を図っていく。
- ◆照度の改善については、照度調査を行い、大規模改修や修繕等により改善に努める。

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                   | 学校教育の充実        | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|-------|
|          | Ⅱ－第2                                                                                                                                                                                                                                                | 安全で安心な学校づくりの推進 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                                                                                   | 安全・安心な教育環境の確保  | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ② 児童生徒の安全確保                                                                                                                                                                                                                                         |                | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>「学校情報携帯メール配信システム」の登録件数は順調に伸びており、災害情報や不審者情報に加え、新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業中の緊急連絡等も、迅速かつ的確に情報伝達できた。</p> <p>市内の全小・中学校において、非常災害時を想定した保護者引き渡し訓練が実施されたこと、また「日田市通学路交通安全プログラム」により、スクールガードをはじめ多くの関係機関との情報共有役割分担の明確化が図られたことを踏まえ、児童生徒の安全確保の取組をより一層推進することができた。</p> |                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 学校情報携帯メール配信事業 |  | 平成31年度事業費        | 2,224千円                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>小中学校児童生徒の保護者や地域住民等に緊急情報や学校情報を携帯電話等にメールにより提供するもの。                                                                                                                                                                                                                                                              |               |  | 事業取組・成果・評価の理由    | 保護者や地域住民から児童生徒の安全・安心にかかわる情報提供の必要性が高まり、平成31年度3月末には登録件数が7,000件を上回った。<br>市教委発の緊急情報では、豪雨や台風対策、不審者情報等に関わる緊急対応等を保護者や地域住民等にメール送信することができ、児童生徒の安全対策に有効であった。<br>各学校からの情報発信の件数は1,349件あり、自然災害対策や不審者情報等に係る緊急対応に有効であった。<br>また、平成31年度末においては、新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業措置や、分散登校に関する情報をメール配信することで、保護者や地域住民に迅速かつ確実に情報提供ができた。 | 評価  | 5     |
|          | [内容]<br>日田市学校情報携帯メール配信システム<br>・登録件数<br>H27.5.11 5,191件<br>H28.4.30 6,003件<br>H29.4.30 6,508件<br>H30.3.31 6,228件<br>H31.3.31 6,477件<br>R 2.3.31 7,008件<br>・配信実績<br>緊急情報(市教委発) 学校情報(各学校発)<br>H26 21件 H26 604件<br>H27 12件 H27 684件<br>H28 25件 H28 963件<br>H29 19件 H29 1,141件<br>H30 22件 H30 1,048件<br>H31 37件 H31 1,349件 |               |  |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |       |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 防災教育・防災対策の推進  |  | 平成31年度事業費        | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>地域の実情に応じた防災教育・防災対策の充実強化を図ること。                                                                                                                                                                                                                                                                                 |               |  | 事業取組・成果・評価の理由    | ①学校長を中心とした危機管理体制の確立のため、計画的、継続的に各校とも各学期に1回以上の教職員研修を実施し、学校における防災力のさらなる向上を図った。<br>②保護者引き渡し訓練や緊急連絡網訓練、火災・河川氾濫・地震を想定した計画的な防災避難訓練、また、各訓練において様々な非常事態を設定した訓練を行うなど、より実践的な取組を通して保護者、児童生徒の判断力や行動力を高め、防災に対しての意識向上を図ることができた。                                                                                       | 評価  | 5     |
|          | [内容]<br>①防災教育・防災対策の推進<br>②児童生徒の判断力や行動力を高める防災教育の充実と実践的な防災訓練の実施                                                                                                                                                                                                                                                         |               |  |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |       |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |               |  | 以上のことから、評価を5とした。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |       |

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                          | 学校内外における児童生徒の安全対策 | 平成31年度事業費     | 186千円                                                                                                                                                                 | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>児童生徒の登下校中の生活安全、交通安全の確保を図ること。                                                                                                                                                     |                   | 事業取組・成果・評価の理由 | ①スクールガード委嘱者 平成31年度696名<br>スクールガードによる見守り活動は、児童生徒の登下校時を中心に日常的に行われた。また、毎月第2火曜日の生徒指導協議会によるふれあい登校指導や、コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会での通学路の安全確保のための情報共有を通して、学校と家庭・地域及び関係機関との連携が図られた。 |     |       |
|          | [内容]<br>①地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業<br>・学校安全ボランティア（スクールガード）が行う学校内外や通学路等での見守り活動による児童生徒の安全確保<br>・学校、家庭、地域及び関係機関と連携した児童生徒への声かけや見守り活動による登下校の安全確保<br>②通学路の安全環境整備の充実のため、通学路の安全点検を行い、危険箇所の改善を関係機関に要望する。 |                   |               |                                                                                                                                                                       |     |       |
|          |                                                                                                                                                                                          |                   |               | ②学校が実施する安全点検結果及び自治会長・PTA（育友会）役員・スクールガード等からの情報をもとに、通学路の安全整備に取り組んだ。<br>「日田市通学路交通安全プログラム」に従い、関係機関（市土木課、県土木課、日田署交通課等）の協力により、平成31年度は9ヶ所改善が図られた。                            |     |       |
|          |                                                                                                                                                                                          |                   |               | 以上のことから評価を5とした。                                                                                                                                                       |     |       |
|          |                                                                                                                                                                                          |                   |               | 評価                                                                                                                                                                    | 5   |       |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                  | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                          |
|----------------------|----------|-------------|----------|----------|--------------------------|
|                      | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容                       |
| 学校の立地環境等に応じた防災教育の実施率 | 80%      | 100%        | 100%     | 100%     | 実践的な防災訓練の具体例に沿った防災訓練の実施率 |

#### 【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◆多くの方に迅速かつ正確な情報共有を図ることのできる学校情報携帯メール配信事業により、児童生徒の安全を確保するための取組がより充実していると考え、今後も継続して登録者を増やしていく必要があるため、引き続き育友会やPTA活動、コミュニティ・スクールを通しての登録を推進していく。</p> <p>◆児童生徒の安全確保については、日常の防災教育や避難訓練等を通して児童生徒の防災意識を高めることに加え、いかに保護者の防災意識を高めていくかが課題となる。全小中学校で実施している保護者引き渡し訓練に合わせ、緊急連絡網訓練や、コミュニティ・スクールを活用した地域と共同実施の災害対応訓練をさらに推進していく。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 学校教育の充実        | 担当課 | 教育総務課<br>学校教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|----------------|
|          | Ⅱ-第2                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 安全で安心な学校づくりの推進 |     |                |
|          | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 豊かで適正な教育環境の整備  | 平均値 | 総合評価           |
| 【主な取組】   | ①教育環境整備事業の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                | 5   | A              |
| 評価理由     | <p>複式学級が設置される基準にある小学校に市費雇用の教員を配置し、複式学級を解消することにより、市内の全ての児童生徒に対して教育の機会均等を保障するとともに、教育効果の向上を図ることができた。</p> <p>学校図書館については、全学校に学校図書館員を配置し、各学校での取組の共有や司書業務の研鑽を年間を通して行いながら、児童生徒が読書に親しむ環境をつくることができた。</p> <p>ICTによる教育環境整備については、予定通りの環境整備を行うことができ、教員向けのICT活用研修として小学校教員を対象にタブレット端末の操作研修を行い、ICT機器の効果的な活用を学ぶ機会を設けることができた。</p> |                |     |                |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 複式学級解消教員の市費配置事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 平成31年度事業費     | 18,319千円                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>大分県の複式学級基準に該当する学校へ、市費雇用教員を配置し複式学級を解消する事により、教育効果の維持・向上を図るもの。</p> <p>【大分県学級編成基準】<br/>・隣り合う学年の児童数合計が14人以下は、複式学級とする。<br/>・へき地にあり2複式学級編制になっており、かつ少なくとも1学級が児童数10名以上いる小学校に対して補助教員を配置し、学級編制を変えず、複数学年の同時授業を解消する。</p> <p>【内容】<br/>【平成31年度複式学級該当校】<br/>・小野小学校<br/>2学年2人+3学年8人=10人<br/>4学年3人+5学年7人=10人<br/>・前津江小学校<br/>2学年3人+3学年3人= 6人<br/>4学年3人+5学年6人= 9人<br/>・津江小学校<br/>4学年7人+5学年7人=14人<br/>・いつま小学校<br/>2学年3人+3学年6人= 9人</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・小野小学校<br/>市費雇用教員を1名配置し、複式学級を解消。<br/>また、昨年度に引き続き、県費によるへき地・複式補助教員1名が配置されたことにより、すべての学級が単学級で授業を実施できたため、発達段階に応じたきめ細やかな指導ができ、効果が上がった。</p> <p>・前津江小学校<br/>市費雇用教員を2名配置し、複式学級を解消。</p> <p>・津江小学校<br/>市費雇用教員を1名配置し、複式学級を解消。</p> <p>・いつま小学校<br/>市費雇用教員を1名配置し、複式学級を解消。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |



| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                  | 学校図書館の充実        | 平成31年度事業費     | 38,266千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | 教育総務課 |   |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|---|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>学校図書館は児童生徒の想像力を培い、学習に対する興味・関心等と呼び起こし、豊かな心を育む、自由な読書活動や読書指導の場であり、自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与すること。                                                                                  |                 | 事業取組・成果・評価の理由 | ・平成31年度学校図書館員配置<br>小学校18校中 単独配置 8校 兼務10校<br>中学校12校中 単独配置 4校 兼務8校<br>※兼務については2校兼務<br><br>・学校図書館司書部会の開催(年8回)<br>学校図書館運営の充実を図るため、全学校図書館員が集まり、各校の取組の情報共有<br><br>・淡窓図書館での研修(年1回)<br>著作権や個人情報の取り扱い、図書館の掲示物や蔵書・選書について<br><br>・第2次日田市子ども読書活動推進計画の策定への参画<br>小・中学生の読書活動の現状を踏まえ、学校図書館員2名が計画の策定委員として策定作業に参画<br><br>全学校に図書館員を配置し、上記の取組を行いながら、学校ごとに読書活動の支援を行うことができたことから、評価を5とした。 |     | 評価    | 5 |
|          | [内容]<br>学校図書館を充実するため、全小中学校に学校図書司書を配置するもの。                                                                                                                                                                        |                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |       |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                  | ICTによる教育環境整備の推進 | 平成31年度事業費     | 105,091千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 担当課 | 教育総務課 |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>平成28年度に策定した「日田市教育情報化推進基本計画」に則り、学校のICT教育環境を整備するもの。                                                                                                                                                        |                 | 事業取組・成果・評価の理由 | 平成31年度は、当初計画していた無線LAN環境整備、小学校教員へのタブレット端末の整備及び大型提示装置(プロジェクター及びスクリーン)の整備を予定どおり行うことができたこと、また、整備した機器を積極的に活用し、分かりやすい授業の実践につなげることができたことから、評価を5とした。<br><br>(活用事例)<br>・教科書やノートを大型提示装置に映し出すことで、先生と児童が同じ画面を共有することができる。<br>・授業に動画や写真を取り入れることで、教科書だけでは分かりにくい動きや解説を交えた学習ができる。                                                                                                   |     | 評価    | 5 |
|          | [内容]<br>・小中学校無線LAN環境整備<br>市内小中学校の各教室、特別教室及び体育館に無線LAN環境を整備するもの。<br><br>・小学校教員用ICT教育用情報端末機器整備<br>小学校のクラス担任に1人1台ずつICT教育用の情報端末(タブレット端末)を整備するもの。<br><br>・小学校普通教室用大型提示装置整備<br>小学校の各普通教室に大型提示装置(プロジェクター及びスクリーン)を整備するもの。 |                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |       |   |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名            | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                                      |
|----------------|----------|-------------|----------|----------|--------------------------------------|
|                | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容                                   |
| 普通教室への無線LANの整備 | 0%       | 95%         | 100%     | 95%      | 大規模改修中の桂林小学校を除き、普通教室の無線LAN環境は100%整備済 |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆新たに策定された国の「GIGAスクール構想」を受け、中学校の教員用タブレット端末及びプロジェクター等の整備並びに児童・生徒1人に1台のタブレット端末の整備を行うとともに、日田市教育情報化推進基本計画の見直しを行う。  
※GIGAスクール構想:児童生徒1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想のこと。
- ◆ICT機器活用研究推進校の指定やICT支援員等による支援体制の整備を図るとともに、ICT機器の積極的な利活用に向けた研究や研修機会を設けていく。

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                        | 学校教育の充実        | 担当課 | 教育総務課<br>学校教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|----------------|
|          | Ⅱ-第2                                                                                     | 安全で安心な学校づくりの推進 |     |                |
|          | 2                                                                                        | 豊かで適正な教育環境の整備  | 平均値 | 総合評価           |
| 【主な取組】   | ②安心して学べる支援事業の推進                                                                          |                | 5   | A              |
| 評価理由     | 経済的な理由により就学や進学が困難な児童・生徒の保護者に対し、奨学資金の貸与や就学援助、通学補助等の必要な支援を行うことにより、安心して学べる環境づくりを推進することができた。 |                |     |                |

【個別評価】

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                        | 奨学資金貸付事業    |  | 平成31年度事業費     | 77,389千円                                                                                                                                                            | 担当課 | 教育総務課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>向学心に富み、学業その他の優れた資質を有する者が経済的理由により高等学校等に修学困難な場合、その学資を貸与することにより教育の機会均等に寄与し、もって有用な人材を育成すること。                                                                                       |             |  | 事業取組・成果・評価の理由 | 奨学金30,972,000円(101名)、入学準備金2,900,000円(16名)の貸与を行い、教育の機会均等及び就学者等の経済的な負担軽減に寄与することができた。<br>償還金の未納については、平成30年度と比較して未納額は増加したものの、未納率は減少させることができた。<br>以上のことから、評価を5とした。       |     |       |
|          | [内容]<br>①入学準備金<br>・高校・高等専門学校 100,000円／回<br>・専修学校・大学 200,000円／回<br>②奨学金<br>・高校(自宅) 8,000円／月<br>・高校(自宅外) 15,000円／月<br>・高等専門学校 17,000円／月<br>・専修学校・大学 30,000円／月<br>※入学準備金は保護者、奨学金は生徒・学生に貸与 |             |  |               | 【償還金未納状況】<br>・未納額:平成31年度末17,950千円(前年比 289千円増)<br>・未納率(現年度・過年度の合計):<br>平成31年度 32.00%<br>(現年度 5.43%、過年度 90.04%)<br>平成30年度 33.94%<br>平成29年度 28.39%<br>平成28年度 30.36%    |     |       |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                        | 確かな学力育成支援事業 |  | 平成31年度事業費     | 39,613千円                                                                                                                                                            | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>従来、保護者が負担してきた教育活動にかかる経費のうち、副教材(副読本、学習帳、テスト・ドリル類)費を公費で負担し、保護者の経済的負担軽減を図る。                                                                                                       |             |  | 事業取組・成果・評価の理由 | 【平成31年度実績】<br>・小学校 21,659,507円<br>・中学校 17,952,735円<br>【公費で負担する1人あたりの副教材費】<br>・小学校 6,191円<br>・中学校 10,321円                                                            |     |       |
|          | [内容]<br>学力定着補助教材購入<br>【1人あたりの基準額】<br>・小学校<br>1年 4,800円 2年 5,500円 3年 6,500円<br>4年 6,500円 5年 7,000円 6年 7,000円<br>・中学校<br>1年 7,000円 2年 7,000円 3年 17,000円                                  |             |  |               | 児童生徒が使用する副教材費を公費で負担する事業は、他市にない取組であり、保護者の経済的な負担の軽減が図られ、子育て支援策としても効果的な取組である。<br>基準額を学年毎に設定しており、特に中学3年生は高校入試対策用教材費が高額なため基準額を左記の通り設定し、より効果的な運用ができた。<br>以上のことから、評価を5とした。 |     |       |



| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 要保護・準要保護就学援助事業 | 平成31年度事業費     | 50,150千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課 | 学校教育課 |   |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|---|
| 事業目的・内容  | 【目的】<br>経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費等の必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                | 事業取組・成果・評価の理由 | 【平成31年度入学準備金支給状況】<br>・小学校 100名(5,106,000円) H30:157名<br>・中学校 141名(8,460,000円) H30:173名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     | 評価    | 5 |
|          | 【内容】<br>【就学援助の対象】<br>○要保護(※国庫補助金対象)<br>・生活保護を受けている世帯<br>○準要保護<br>・市民税が非課税か減免を受けている世帯<br>・ひとり親家庭で児童扶養手当の支給を受けている世帯<br>・収入が生活保護受給者に準じる額以下(1.2倍以下)である世帯                                                                                                                                                                                                             |                |               | 【平成31年度就学援助実績(入学準備金を除く)】<br>・小学校 50,149,977円(うち要保護 83,152円)<br>要保護 : 4人(1人あたり 20,788円)<br>準要保護: 701人(1人あたり 71,422円)<br>・中学校 51,304,709円(うち要保護 124,750円)<br>要保護 : 3人(1人あたり 32,507円)<br>準要保護: 395人(1人あたり 41,583円)<br><br>【準要保護児童・生徒認定者数の推移】<br>・小学校 (全児童数) (認定者数) (割合)<br>H30 3,571人 721人 20.1%<br>H31 3,506人 701人 20.0%<br>・中学校 (全生徒数) (認定者数) (割合)<br>H30 1,751人 387人 22.1%<br>H31 1,737人 395人 22.7%<br><br>経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、昨年度に引き続き、学用品費や修学旅行費など就学に係る費用負担の軽減を図ることで、児童生徒が安心して学べる環境整備に努めた。<br>なお、入学準備金については、平成28年度入学予定者から、新入学児童生徒学用品費を入学準備金として入学前に支給することとし、現在に至っている。<br><br>支援を必要とする世帯に対し、速やかに支給が行えたことから、評価を5とした。 |     |       |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 特別支援学級就学奨励事業   | 平成31年度事業費     | 1,448千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 担当課 | 学校教育課 |   |
| 事業目的・内容  | 【目的】<br>経済的理由により、就学困難と認められる特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費等の必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。<br>(※国庫補助対象)                                                                                                                                                                                                                                                           |                | 事業取組・成果・評価の理由 | 【平成31年度実績】<br>・小学校 1,023, 155円<br>認定者: 46人(1人あたり 22,243円)<br>・中学校 424,576円<br>認定者: 11人(1人あたり 38,598円)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     | 評価    | 5 |
|          | 【内容】<br>【就学援助の対象】<br>・収入が生活保護受給者に準じる額以下(2.5倍以下)である世帯                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                |               | 特別支援学級へ就学、または、普通学級に就学しながら通級指導教室へ通級する児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、昨年度に引き続き、修学旅行費や学校給食費等を支援することで、義務教育の円滑な実施を図ることができたことから、評価を5とした。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |       |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 小・中学校通学補助事業    | 平成31年度事業費     | 1,515千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 担当課 | 教育総務課 |   |
| 事業目的・内容  | 【目的】<br>義務教育における遠距離通学者への通学手段を確保すること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                | 事業取組・成果・評価の理由 | 【平成31年度実績】<br>○定期券給付<br>小学校 1人 41,380円<br>中学校 8人 1,170,700円 ※特別乗車1名<br>(1人当たり107,960円～193,120円/年)<br><br>○現金給付<br>小学校 2人 14,000円<br>中学校 12人 86,400円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |     | 評価    | 5 |
|          | 【内容】<br>学校統廃合により遠距離となり、交通機関を利用して通学することになった児童生徒、及び小学校においては片道4km以上、中学校においては片道6km以上の遠距離から通学する児童の保護者の負担を軽減するために、定期券や補助金を交付するもの。<br>○現物給付: 予算で定める額<br>(公共交通機関利用)<br>・小学校 4km以上 定期券等<br>・中学校 6km以上 定期券等<br><br>○現金給付: 予算で定める額<br>(保護者の送迎、自転車等での通学)<br>・小学校 4km以上 6km未満 6,000円/年<br>・小中学校 6km以上 8km未満 8,000円/年<br>・小中学校 8km以上10km未満 10,000円/年<br>・小中学校 10km以上 12,000円/年 |                |               | 遠距離通学に係る定期券等を補助することで、保護者の経済的負担の軽減及び義務教育における児童生徒の通学手段を確保することができた。<br>また、平成29年に発生した災害により、道路の未復旧や大型工事車両の通行など通学路の安全が完全に確保されていない区間を通学する生徒に対し、引き続き路線バス定期券の補助を特別許可で行い、安全な通学手段を確保できた。<br><br>以上のことから評価を5とした。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |       |   |

| 事業または取組名 |                                                                                                               | 高校生就学援助補助事業 | 平成31年度事業費     | 1,623千円                                                                                                                                                                                                                 | 担当課 | 教育総務課 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | 【目的】<br>遠距離のため通学が困難な高校生の保護者に対して、下宿等の費用を助成することにより経済的な負担の軽減を図ること。                                               |             | 事業取組・成果・評価の理由 | 【平成31年度実績】<br>日田高校 1年生2名 3年生1名<br>日田三隈高校 2年生3名<br>日田林工高校 1年生1名 3年生1名<br>藤蔭高校 3年生1名<br>昭和学園高校 2年生2名 3年生1名<br>合計12名<br><br>上津江町及び中津江村から市内高等学校に通学することが困難なことに<br>より下宿等を利用する生徒の保護者の経済的負担の軽減により、安心して学べる環境の提供に寄与できたため、評価を5とした。 |     |       |
|          | 【内容】<br>市内高校に進学する生徒の保護者で、上津江町及び中津江村に住所を有する者に対して、下宿等に係る経費の一部を補助するもの。<br>補助上限額:月額13,000円(下宿・学校寮)<br>8,000円(親戚宅) |             |               | 評価                                                                                                                                                                                                                      | 5   |       |

#### 【課題と今後の方向性】

◆奨学資金貸付事業については、安定的な就学支援を継続するため、今後も未納金の回収強化に努める。また、災害等による家計急変についても緊急採用や返還猶予の対応を随時行っていく。

◆確かな学力育成支援事業として実施している学力定着補助教材購入の公費負担基準額については、平成27年度から変動がない。令和2年度から小学校5、6年において外国語の事業が開始されるため補助教科の対象拡大を行う。また、昨年から検討を行っている消費税増税による副教材の単価増額などに伴う、基準額の見直しを今後も検討する。

◆高校生就学援助補助事業については、年々対象者が減少していることや平成21年度の補助開始以降制度の見直しを行っていないことから、補助額や前払い等の交付時期の見直しを行っていく。

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 学校教育の充実            | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-----|-------|
|          | Ⅱ－第2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 安全で安心な学校づくりの推進     |     |       |
|          | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 家庭・地域と協働した学校づくりの推進 | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 家庭・地域と協働した学校づくりの推進 | 5   | A     |
| 評価理由     | <p>各学校において、学校改善を目的として、法令に則り実施する学校評価において、教員による自己評価、及び保護者や地域の方々など学校の関係者による学校関係者評価を適切に活用できた学校の割合が目標値を大きく上回った。</p> <p>また、当初の計画通りに平成31年度に桂林小学校、日隈小学校、光岡小学校、大明小・中学校の5校に学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールを導入したこと、春、秋2回のオープンスクール情報をホームページや広報ひたを通して広く市民への普及・啓発を行い、参観者数が延べ1万4千名を超え、保護者・市民の学校教育に対するより一層の関心と理解を深めることができ、家庭・地域と協働した学校づくりのより一層の推進が図られた。</p> |                    |     |       |

# 【個別評価】

| 事業または取組名 | 学校評価を活用した地域・家庭との協働                                                                                                                                                                                                                                                      | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当課 | 学校教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>家庭・地域と協働して子どもを育ていく学校づくりを推進する。</p> <p>【内容】<br/>各学校ごとに学校評価に基づく改善策について、地域や家庭との協議を行うことにより、目標協働達成に向けた取組を推進する。</p>                                                                                                                                                | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>「日田市学校評価実施要項」をもとに「学校評価の4点セット」(県教委様式)を活用し、各学校の喫緊の課題について、重点目標を設定し、目標達成に向け、地域・家庭の代表と協議しながら取り組んでいく目標協働達成の取組を推進した。</p> <p>市教委独自に行う「日田市学校教育の基本方針に係る取組状況アンケート」において、「学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率」は小学校83%、中学校83%と目標値(小学校63%、中学校52%)を上回ったことから、評価を5とした。</p>                                                                                                                            | 評価  | 5     |
| 事業または取組名 | コミュニティ・スクールの推進                                                                                                                                                                                                                                                          | 平成31年度事業費     | 3,921千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>学校運営に地域の声を積極的に生かし、学校と地域が一体となって連携・協働しながら特色ある学校づくりを推進する。</p> <p>【内容】<br/>地域や保護者の方々が学校運営に参画する「学校運営協議会」の在り方や運営体制について研究を進めるとともに、コミュニティ・スクールについての普及・啓発を図る。</p> <p>○学校運営協議会設置計画<br/>・H30年度 5校(三芳小、津江小・中、大山小・中)<br/>・H31年度 5校(桂林小、日隈小、光岡小、大明小・中)<br/>・R02年度 20校</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>平成30年度から学校運営協議会が設置されコミュニティ・スクールとなった5校に加え、平成31年度から新たに5校(桂林小、日隈小、光岡小、大明小・中)がコミュニティ・スクールとなった。年間5～6回の会議が開催され、地域と連携した引き渡し訓練や登下校時のあいさつ運動と見守り活動等、防災教育や安全管理の面で成果が見られた。</p> <p>今後の運営協議会設置予定校でも、地域や保護者の代表と推進委員会を組織し、講師による研修や先進地への研修視察などを通して、コミュニティ・スクールについての普及・啓発を図ることができた。また、広報ひたを通じて、広く市民に対し、コミュニティ・スクールの周知を行った。</p> <p>学校運営協議会の設置については計画どおりに進んでおり、広報を通じた普及・啓発も図られたことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
| 事業または取組名 | オープンスクールの実施                                                                                                                                                                                                                                                             | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当課 | 学校教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>家庭や地域の学校教育への関心と理解を深める。</p> <p>【内容】<br/>市内全小・中学校において、保護者や地域の方々を対象に「教育を考える週間(春)(秋)&lt;2回&gt;」と「学校独自2回」を実施し、学校教育についての関心と理解を深める。</p>                                                                                                                            | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>【延べ参観者数】<br/>保護者 11,362名<br/>一般(校区内) 2,416名<br/>一般(校区外) 584名 合計 14,362名<br/>※年4回(春1回、秋1回、学校独自2回)分</p> <p>各学校のオープンスクールの情報について、広報、市ホームページ、学校便り、学校ホームページ等で周知を行った。</p> <p>保護者や市民の多数の参観により、学校教育に対する関心と理解を深めることができた。また、コミュニティ・スクールを新たに5校に導入したことにより、学校と家庭・地域が協働して子どもを育ていく地域に開かれた学校づくりがさらに推進できていることから、評価を5とした。</p>                                                                   | 評価  | 5     |

【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                          |   | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                |
|------------------------------|---|-----------------|--------------------|-----------------|----------|--------------------------------|
|                              |   |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                             |
| 学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率 | 小 | 28%(H27)        | 63%                | 50%             | 83%      | 「日田市学校教育の基本方針に係る取組状況アンケート」結果より |
|                              | 中 | 0%(H27)         | 52%                | 40%             | 83%      |                                |
| コミュニティ・スクールに指定された学校の割合       |   | 0%              | 33.3%              | 90%             | 33.3%    | 全小中学校数に対する平成31年度学校運営協議会設置校数    |

【課題と今後の方向性】

◆コミュニティ・スクールの導入推進については、令和2年度より、市内全小中学校がコミュニティ・スクール導入となることから、先行実施した学校の実践例の共有、先進地研修等の機会を設けることで、地域の特色を生かしたコミュニティ・スクールの取組を推進していく。

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 学校教育の充実        | 担当課 | 学校給食課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|-------|
|          | Ⅱ-第2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 安全・安心な学校づくりの推進 |     |       |
|          | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 安全・安心な学校給食の提供  | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①安全かつバランスの取れた食事の提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                | 4   | B     |
| 評価理由     | <p>学校給食センターや学校給食共同調理場4施設では、「地場産給食の日」や「地元食材の日」として、購入した地元日田産食材を使用した郷土料理や栄養バランスの取れた特色ある学校給食の提供を行った。学校給食共同調理場4施設では食材31品目、総重量7,566kgを取り入れ、地産地消率は3つの調理場で増、合計1.44ポイントの増となった。給食センターでは食材16品目、総重量56,113kgの日田産食材を取り入れたが、平成30年度よりも地産地消率は1.07ポイントの減となったため、給食センターと学校給食調理場を合わせた全体の地産地消率は48.22%と、前年度と比べ0.64ポイント下がる結果となった。</p> <p>また、アレルギー対応について、学校給食センターでは「小中学校のアレルギー疾患を有する児童生徒に係る事務取扱規程」に基づき、学校と保護者との連携を十分に図り、食物アレルギー事故防止の徹底に努め問題なく推移している。</p> <p>しかし、現在の施設ではこれ以上のアレルギー対応ができないこと、学校現場も含めた全体的なマニュアル作成には学校や関係部署との綿密な協議が必要であることから、アレルギーマニュアルの作成までには至らなかった。</p> |                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 安全かつバランスの取れた食事の提供 |  | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  | - |               | 担当課 |   | 学校給食課 |  |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---|---------------|-----|---|-------|--|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>成長期にある児童生徒の健康維持増進と体位向上のため、日田産の地産地消食材を使った、安心・安全で栄養バランスのとれた学校給食を提供するもの。                                                                                                                                                                                                                                                           |                   |  | ・地産地消率<br>日田 48.98% 前年度比1.07ポイント減<br>天瀬 36.87% 前年度比1.36ポイント増<br>大山 46.28% 前年度比2.38ポイント増<br>前津江 56.13% 前年度比0.47ポイント減<br>津江 43.48% 前年度比1.55ポイント増<br><br>食材の納入にあたっては、日田産や県内産を優先し、主食の米は100%日田産を使用した。<br>センターの副食では、カブ、白菜・小松菜・チンゲン菜・アスパラ・もやし・エノキ・梨が日田産100%を使用し、玉ねぎ・じゃがいもなど7品目も日田産を使用した。平成30年度と比較して地産地消率は若干下がる結果となった。<br>天瀬・大山・津江については地産地消率は前年度から若干上回った。前津江は、30年度より下がったものの地域の生産者に協力いただき全ての調理場で一番高い地産地消率となっている。<br>地産地消の取組は、食文化の継承や郷土愛をはぐくむ教育効果が期待されることから、「学校給食1日まるごと大分県の日」や「学校給食地産地消夏野菜カレーの日」等を設け、購入した日田産・大分県産食材を児童生徒の学校給食における生きた教材として活用した。<br><br>また、安全な食材を選定・購入し、さらには調理段階においても購入食材の検収を確実にし、安全・安心な食事を提供した。<br><br>食物アレルギーへの対応については、市が定めた対応方針に基づき、学校との連携を十分に図り、食物アレルギー事故防止の徹底を図ったが、マニュアルの整備までは至らなかったため評価を4とした。 |  |   | 事業取組・成果・評価の理由 | 評価  | 4 |       |  |
|          | [内容]<br>・安全な食材の選定・購入に努め、さらには調理段階においても購入食材の検収を確実にすることにより、安全・安心な食事を提供する。<br><br>・地場産給食の日を月一回以上実施することにより、日田産食材の利用促進を図り、地産地消に取り組む。<br><br>・各共同調理場においては、学校給食数が少ないことから日田産食材を取り扱う生産者などの納入業者の選定確保に努め、地場産食材の使用度を高めていくことにより地産地消を推進していく。<br><br>地産地消率目標 55%<br><br>・食物アレルギーへの対応については、学校との連携を十分に図り、より安全な給食の提供に努め、さらに各共同調理場において対応方針を定め、マニュアルを整備していく。 |                   |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |   |               |     |   |       |  |



【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                   | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |         |
|-----------------------|----------|-------------|----------|----------|---------|
|                       | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容      |
| 地産地消の割合(日田産農作物・重量ベース) | 53.48%   | 55.00%      | 55.00%   | 48.22%   | 使用重量ベース |

【課題と今後の方向性】

◆学校給食課独自では、生産者と各調理場ニーズのマッチングが困難であることから、関係部署と連携して、日田産食材を取り扱う個人などの生産者(納入業者)の選定確保に努め、地場産食材の使用度を高めていくことにより地産地消を推進していく。

◆食物アレルギーへの対応については、引き続き学校との連携を十分に図り、より安全な給食の提供に努め、安心・安全な給食をアレルギーをもつ児童・生徒へも広く提供できるよう、各共同調理場の状況に応じた対応方針を定め、食物アレルギー対応マニュアルを整備していく。

通し番号 22

| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                                                                                  | 学校教育の充実        | 担当課 | 学校給食課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|-------|
|          | Ⅱ-第2                                                                                                                                                               | 安全・安心な学校づくりの推進 |     |       |
|          | 4                                                                                                                                                                  | 安全・安心な学校給食の提供  | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ②施設の適正な維持管理                                                                                                                                                        |                | 5   | A     |
| 評価理由     | 各施設の安全対策として、施設、設備、調理機器、調理器具などについて、調理員による毎日の目視点検と業者による定期的な保守点検や安全点検を実施した。<br>また、経年劣化している機器類については、保守・安全点検業者の意見を参考に適切な時期に更新することを基本に毎年見直している更新計画に基づき、適正な維持管理を行うことができた。 |                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 施設の適切な維持管理                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 平成31年度事業費     | 47,077千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 担当課 | 学校給食課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>学校給食センターにおける食中毒発生や異物混入などを防止するため、施設・設備の維持管理や調理機器・調理器具などの日常点検や定期点検、計画的に機器の更新に努め、学校給食業務に影響を及ぼすことのないよう、センター管内の児童生徒に安全・安心な学校給食の提供を行う。</p> <p>【内容】<br/>・厨房機器及び設備について、日々の点検を行うとともに専門業者による年2回の定期点検を実施する。</p> <p>・更新計画に基づき厨房機器及び設備の計画的な更新を行っている。</p> <p>・学校給食施設の環境衛生面における維持管理に努め、食中毒等の事故を防止する。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>機器類の調理員による日常点検、業者による定期点検結果に基づき、調理機器類などの修理を行った。</p> <p>主な修理・更新内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食器・食缶洗浄機</li> <li>・調理室及び洗浄室ダンパモーター取替修繕</li> <li>・食缶洗浄機駆動部修理</li> <li>・炊飯釜・蓋洗浄機コンベアチェーン・電磁弁修理</li> <li>・蒸気ボイラー更新工事</li> <li>・炊飯ラインシーケンサ修繕業務</li> </ul> <p>更新計画に基づく設備の更新や施設、調理機器類の適正な維持管理に努めたことにより、施設や調理機器、調理器具に起因する金属類などの異物混入の発生や、調理機器類の故障に伴う給食の中止などはなく、児童生徒に安全・安心な学校給食の提供を行うことができたことから評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |     |       |

【課題と今後の方向性】

◆今後も給食施設や厨房機器・調理器具などを、計画的且つ適切に点検・更新し、安全・安心な学校給食の提供を行う。

|          |                                                                        |                |     |       |
|----------|------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|-------|
| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                      | 学校教育の充実        | 担当課 | 学校給食課 |
|          | Ⅱ-第2                                                                   | 安全・安心な学校づくりの推進 |     |       |
|          | 4                                                                      | 安全・安心な学校給食の提供  | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ③施設の在り方と効率的な運用                                                         |                | 4   | B     |
| 評価理由     | 学校給食施設の老朽度や児童・生徒数の推移を勘案しながら、施設の在り方について内部検討を行ったが、具体的な計画を作成するまでには至らなかった。 |                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 学校給食調理場設備整備事業                                                                                                                                                                                                                          | 平成31年度事業費     | －                                                                                                                                                           | 担当課 | 学校給食課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕</p> <p>市全体の学校給食施設の在り方を検討し、効率的な運用を図るもの。</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食施設は、地域の状況や学校数及び調理食数等を考慮し、施設の在り方と効率的な運用の検討に取り組む。</li> <li>・施設の在り方を検討することについては、日田市公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら効率的な運用を行う。</li> </ul> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>共同調理場について、施設の老朽度や児童・生徒の推移を勘案しながら、施設の在り方について内部検討を行った。</p> <p>適切に維持管理を行いながら、建て替え又は統合・縮小など施設の在り方と効率的な運用について内部協議を行ったが、具体的な計画を策定するまでには至らなかったことから、評価を4とした。</p> | 評価  | 4     |

【課題と今後の方向性】

- ◆施設の統廃合については、児童生徒の推移を考慮していく。
- ◆今後は、日田市公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、計画を作成し効率的な運営を行う。



| 教育行政実施方針 | Ⅱ                                                                                                             | 学校教育の充実        | 担当課 | 学校給食課 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|-------|
|          | Ⅱ-第2                                                                                                          | 安全・安心な学校づくりの推進 |     |       |
|          | 4                                                                                                             | 安全・安心な学校給食の提供  | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ④学校給食費の未納問題解消                                                                                                 |                | 5   | A     |
| 評価理由     | 学校給食費の徴収率については、学校との連携や強化月間による催告などの取組によって、平成31年度の徴収率が学校給食センター99.89%、4つの学校給食共同調理場で100%となり、合計で、99.90%と高い納付率となった。 |                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 学校給食の未納問題解消                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 平成31年度事業費     | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 担当課 | 学校給食課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕<br/>学校給食費の未納を解消し、学校給食の健全な運営を行うこと。</p> <p>〔内容〕<br/>・当該学校の教職員と連携して未納問題の解消に努める。</p> <p>日田市学校給食センター<br/>①現年度(平成31年度)分の学校給食費の納入を推進する。<br/>・平成31年度給食費収入予定額 255,444,326円<br/>・平成30年度現年度納付率(参考) 99.93%</p> <p>②過年度(平成27～30年度)分の学校給食費滞納分の徴収に努める。<br/>・過年度(平成27～30年度)滞納額 205,700円<br/>・平成30年度過年度徴収率(参考) 31.79%</p> <p>天瀬・大山・前津江・津江学校給食共同調理場<br/>①現年度分(平成31年度)の学校給食費の納入を推進する。<br/>平成31年度給食費収入予定額 30,610,784円(4施設合計)<br/>平成30年度現年度納付率 99.94%</p> <p>②過年度(平成27～30年度) 19,197円</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>日田学校給食センター<br/>①現年度(平成31年度) 納付率 99.89%<br/>・納付額 255,156,252円<br/>・未納額 288,074円</p> <p>②過年度(平成27～30年度)徴収率 47.25%<br/>・納付額 97,200円<br/>・未納額 108,500円</p> <p>天瀬・大山・前津江・津江学校給食共同調理場<br/>①現年度(平成31年度)納付率 100%<br/>・納付額 30,610,784円<br/>・未納額 0円</p> <p>②過年度(平成27～30年度)徴収率 0%<br/>・納付額 0円<br/>・未納額 19,197円</p> <p>学校と連携し、学校給食費未納問題の解消に向けて取り組んできた結果、平成31年度納付率は99.90%となった。<br/>また、過年度徴収率については、43.22%であった。</p> <p>平成31年度分は100%には届かなかったものの高い納付率を達成できたことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |       |

【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◆学校給食費の未納分については、平成25年度までは学校中心の催告であったが、平成26年度以降は学校給食センター職員と学校職員による自宅訪問や文書催告等の強化に努めた結果、納付率が上昇してきている。令和3年度から学校給食費の公会計化を予定しており、滞納管理全てを行政が行うこととなり、徴収率の低下が懸念されるため、公会計化に向け、未納額を可能な限り0に近い数字になるよう努める。</p> <p>◆過年度分の給食費については、学校給食課が年間を通して対応を行っており、徴収率は平成30年度と比較して向上した。今後も年間を通して催告を行い未納対策に努める。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| Ⅲ 社会教育の充実                         |   |                              |   |                                    | 通し番号 | 担当課   | 総合<br>評価 |
|-----------------------------------|---|------------------------------|---|------------------------------------|------|-------|----------|
| 第1 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |   |                              |   |                                    |      |       |          |
|                                   | 1 | 社会教育の推進                      | ① | 充実した社会教育の実施                        | 25   | 社会教育課 | B        |
|                                   |   |                              | ② | 社会教育における専門性を持った人材の育成               | 26   | 社会教育課 | A        |
|                                   | 2 | 市民の学習意欲を支えるための<br>基盤の整備      | ① | 生涯学習施策の総合的推進のための連携の促進と強化           | 27   | 社会教育課 | A        |
|                                   |   |                              | ② | 地域の独自性を尊重した生涯学習推進のための学習環境の整備       | 28   | 社会教育課 | A        |
|                                   | 3 | 家庭・地域の教育力の<br>向上と支援体制<br>の充実 | ① | 子育てを地域全体で行う「協育ネットワーク(地域・公民館・学校)の充実 | 29   | 社会教育課 | B        |
|                                   |   |                              | ② | 「大人が変われば、子どもも変わる」理念の啓発             | 30   | 社会教育課 | B        |
|                                   | 4 | 社会教育における<br>人権教育の充実          | ① | 社会教育における人権問題への取組の充実・支援             | 31   | 社会教育課 | A        |
|                                   | 5 | 博物館の機能の充実                    | ① | 博物館施設の機能の充実                        | 32   | 博物館   | A        |
|                                   |   |                              | ② | 所蔵資料の整備・充実                         | 33   | 博物館   | A        |
|                                   |   |                              | ③ | 体験学習の場の提供及び調査研究の実施                 | 34   | 博物館   | A        |
|                                   | 6 | 図書館機能の<br>充実と読書<br>活動の推進     | ① | 蔵書の新陳代謝の推進と蔵書管理の効率化及び利用者サービスの充実    | 35   | 淡窓図書館 | A        |
|                                   |   |                              | ② | 施設利用活用の促進と各種グループ等の活動支援             | 36   | 淡窓図書館 | B        |
|                                   |   |                              | ③ | 公民館との連携による遠隔地サービスの充実               | 37   | 淡窓図書館 | B        |
|                                   |   |                              | ④ | 学校及び福祉保健関係課との連携                    | 38   | 淡窓図書館 | A        |
|                                   |   |                              | ⑤ | 魅力ある施設環境の提供と利便性の向上による利用の促進         | 39   | 淡窓図書館 | A        |

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                                           | 社会教育の充実                        | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                                        | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                           | 社会教育の推進                        | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①充実した社会教育の実施                                                                                                                                                                                |                                | 4.2 | B     |
| 評価理由     | <p>市民を対象とした世代に応じた各種講座を開催したことで学習機会を提供することができた。また、地区公民館では、地域の実情に応じ、日常生活に即した各種事業が展開できた。</p> <p>人口減少や少子高齢化が進むなか、学校と連携した講演会の開催、定年後世代への公民館活動参加の呼びかけ、公民館だよりや広報を活用した事業の周知などにより、全体的に参加者数が増加している。</p> |                                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 咸宜大学講座                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | 459千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕</p> <p>市内60歳以上を対象に、廣瀬淡窓が開塾した咸宜園にちなみ、日々高邁な識見を学び教養を身につけ、心身の健康管理に留意し「日々是好日」の精神で日常生活を清く正すことを目的に、学生が興味を抱く特色のある講座を運営委員会と企画し、高齢者の生涯学習、生きがいをづくりの場を創出していく。</p> <p>〔内容〕</p> <p>講座年10回の開催(5月～2月)</p> <p>※3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>1日バス研修<br/>クラブ8教室の開催<br/>俳句、俳画、短歌、健康、合唱、歌謡、パソコン、吟詠</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・講座10回(5月～2月) 会員数168名<br/>延参加者数791名(平均79名)<br/>テーマ:咸宜園、日田弁、健康、人権、音楽</p> <p>・1日バス研修(10月3日) 参加者 37名<br/>熊本「大河ドラマ『いだてん』ロケ地めぐり」</p> <p>・クラブ活動(8クラブ)<br/>俳句、俳画、短歌、健康、合唱、歌謡、パソコン、吟詠<br/>昭和学園看護学科受入れ(9月26日～11月16日)<br/>合唱クラブ施設訪問(バス1台)<br/>(ケアハウスひだか(2回)・ケアハウス大原の郷(2回))</p> <p>各クラブ活動において、昭和学園看護学科生と「認知症」や「インフルエンザ予防」、「日田弁ラジオ体操」等の健康・交流事業を行い、世代間交流を図ることができた。<br/>また、合唱クラブでは、老人福祉施設2か所を訪問し、積極的に社会貢献等を行うことができた。</p> <p>会員数の減少や定期講座への参加者が半分程度であることなどから、参加者主体で取り組めるよう運営委員会等と協議を行いながら魅力ある講座を企画していく必要があることから評価を4とした。</p> | 評価  | 4     |
| 事業または取組名 | 青少年リーダー研修(子どもステップアップ研修)                                                                                                                                                                                                                                                                      | 平成31年度事業費     | 74千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | 社会教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕</p> <p>地区公民館の青少年事業に参加している小学校5年生、6年生を対象に、体験活動やワークショップ等を通して、リーダーとしての自覚や行動を身に付け、友達と協力することの大切さなどを学び、公民館活動でリーダーとして活躍できる子どもを育む。</p> <p>〔内容〕</p> <p>青少年リーダー研修<br/>小学5年生及び前年度参加者から募集し育成する</p> <p>・活動指標<br/>青少年リーダー研修参加者数 目標値 20人</p>                                                         | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・公民館主事を対象とした青少年事業実施における注意点等のワークショップ(10月27日) 6名<br/>・小学5年生を対象としたリーダー研修(12月8日、12月15日) 延べ16名</p> <p>公民館の青少年事業等において、参加型の活動から児童が主体的に活動できるよう、様々なワークショップを通し、子どもたち同士が協力すること、自分から行動することを体験することができた。</p> <p>参加した子どもが「声かけの重要性」「聞くことの重要性」を体験を通して感じることができた活動となっているが、参加者が少なく、目標値20人に対し、9人であったことから、評価を3とした。</p>                                                                                                                                                                                                            | 評価  | 3     |

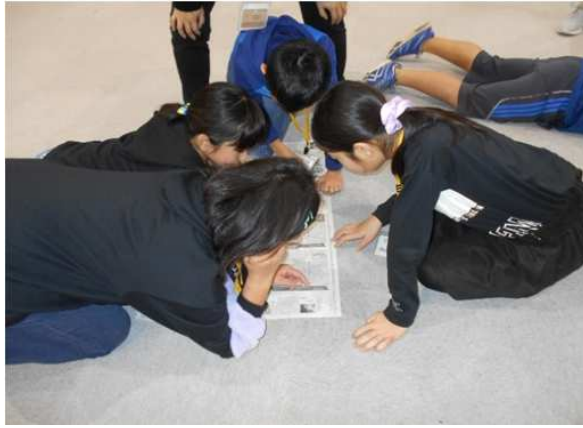
| 事業または取組名     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ふれあい宅配講座         | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |    | 担当課 | 社会教育課 |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------|-----|----------|-----|-------|------------|-----|-------|------------|-----|-------|-------------|-----|-------|------------|-----|-------|------------|-----|-----|--------------|-----|--------|----------|------|-------|----------|----|-------|------------|---|-------|------------|----|-------|-----------|----|-------|---|-----|---------|----|---|
| 事業目的・内容      | [目的]<br>市民からの要望により、自治会の防災組織や女性セミナー、高齢者学級などに市職員が出向き、自主防災や健康づくり教室などを開催し、学習機会の充実や市民相互の生涯学習、まちづくりやふるさとを愛するひとづくりの推進に努める。<br><br>[内容]<br>「豊かな暮らし」「健康づくりと福祉」「生活・防災の心得」「環境問題」「経済・観光の発展」「住みよい街づくり」「教育・文化・スポーツ」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                  | 事業取組・成果・評価の理由 | ・全7メニュー64講座のうち                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    | 評価  | 5     |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
|              | <table><thead><tr><th>メニュー</th><th>実績</th><th>参加者</th></tr></thead><tbody><tr><td>「豊かな暮らし」</td><td>1講座</td><td>20 名</td></tr><tr><td>「健康づくりと福祉」</td><td>8講座</td><td>195 名</td></tr><tr><td>「生活・防災の心得」</td><td>9講座</td><td>534 名</td></tr><tr><td>「環境問題」</td><td>1講座</td><td>20 名</td></tr><tr><td>「経済・観光の発展」</td><td>2講座</td><td>55 名</td></tr><tr><td>「住みよい街づくり」</td><td>0講座</td><td>0 名</td></tr><tr><td>「教育・文化・スポーツ」</td><td>2講座</td><td>70 名</td></tr><tr><td></td><td>23講座</td><td>894 名</td></tr></tbody></table><br>「住みよい街づくり」には申込みがなかったが、九州北部豪雨災害の影響や自主防災組織の意識の高まりから、「自主防災について」の要請が多かった。<br>参加者数は、平成30年度の417名から477名増の894名となったが、年度当初に市内全自治会へ周知したことで、自治会主催の避難訓練などに職員が出向く機会が増えたことが要因と考えられる。<br><br>周知等の取組により、前年度から大幅に参加者を増やすことができたことから、評価を5とした。 |                  |               | メニュー                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 実績 |     |       | 参加者 | 「豊かな暮らし」 | 1講座 | 20 名  | 「健康づくりと福祉」 | 8講座 | 195 名 | 「生活・防災の心得」 | 9講座 | 534 名 | 「環境問題」      | 1講座 | 20 名  | 「経済・観光の発展」 | 2講座 | 55 名  | 「住みよい街づくり」 | 0講座 | 0 名 | 「教育・文化・スポーツ」 | 2講座 | 70 名   |          | 23講座 | 894 名 |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| メニュー         | 実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 参加者              |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 「豊かな暮らし」     | 1講座                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 20 名             |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 「健康づくりと福祉」   | 8講座                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 195 名            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 「生活・防災の心得」   | 9講座                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 534 名            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 「環境問題」       | 1講座                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 20 名             |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 「経済・観光の発展」   | 2講座                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 55 名             |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 「住みよい街づくり」   | 0講座                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 0 名              |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 「教育・文化・スポーツ」 | 2講座                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 70 名             |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
|              | 23講座                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 894 名            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 事業または取組名     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 地区公民館における各種事業の取組 | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |    | 担当課 | 社会教育課 |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 事業目的・内容      | [目的]<br>地区公民館において地域の実情に応じ、かつ、実際の生活に即した各種事業の展開を図る。<br><br>[内容]<br>「地域に密着し、地区住民の利用しやすい公民館」を目指し、公民館運営委員会や地域の各種団体と連携を図り、「地域の生活に根差した事業」「住民の教養を高める事業」「まちづくり支援事業」を核とした各種事業を展開する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                  | 事業取組・成果・評価の理由 | <table><thead><tr><th>項目</th><th>事業数</th><th>延人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>1 青少年学習</td><td>50</td><td>9,053</td></tr><tr><td>2 成人学習</td><td>72</td><td>5,656</td></tr><tr><td>3 高齢者学習</td><td>38</td><td>6,355</td></tr><tr><td>4 社会人権・同和学習</td><td>29</td><td>3,039</td></tr><tr><td>5 家庭教育学習</td><td>28</td><td>2,931</td></tr><tr><td>6 環境学習</td><td>8</td><td>481</td></tr><tr><td>7 自主学習教室</td><td>333</td><td>74,257</td></tr><tr><td>8 公民館まつり</td><td>7</td><td>1,710</td></tr><tr><td>9 その他の学習</td><td>13</td><td>2,285</td></tr><tr><td>10 ふるさとまつり</td><td>7</td><td>6,748</td></tr><tr><td>11 まちづくり事業</td><td>34</td><td>5,271</td></tr><tr><td>12 その他の事業</td><td>15</td><td>1,441</td></tr><tr><td>計</td><td>634</td><td>119,227</td></tr></tbody></table><br>各地区公民館運営委員会で事業実施に向けた協議が行われ、地域の実情に応じた事業の展開を行うことができた。<br>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月3日より休館したこと等により、前年度より21事業、15,119人減少しているものの、月平均の参加者数は約3%の減少にとどまっていることから、評価を5とした。<br><br>平成30年度月平均参加者数 11,195人<br>平成31年度月平均参加者数 10,838人 |    | 項目  | 事業数   | 延人数 | 1 青少年学習  | 50  | 9,053 | 2 成人学習     | 72  | 5,656 | 3 高齢者学習    | 38  | 6,355 | 4 社会人権・同和学習 | 29  | 3,039 | 5 家庭教育学習   | 28  | 2,931 | 6 環境学習     | 8   | 481 | 7 自主学習教室     | 333 | 74,257 | 8 公民館まつり | 7    | 1,710 | 9 その他の学習 | 13 | 2,285 | 10 ふるさとまつり | 7 | 6,748 | 11 まちづくり事業 | 34 | 5,271 | 12 その他の事業 | 15 | 1,441 | 計 | 634 | 119,227 | 評価 | 5 |
|              | 項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 事業数              |               | 延人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 1 青少年学習      | 50                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 9,053            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 2 成人学習       | 72                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 5,656            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 3 高齢者学習      | 38                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 6,355            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 4 社会人権・同和学習  | 29                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 3,039            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 5 家庭教育学習     | 28                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2,931            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 6 環境学習       | 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 481              |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 7 自主学習教室     | 333                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 74,257           |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 8 公民館まつり     | 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1,710            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 9 その他の学習     | 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2,285            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 10 ふるさとまつり   | 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 6,748            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 11 まちづくり事業   | 34                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 5,271            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 12 その他の事業    | 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 1,441            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |
| 計            | 634                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 119,227          |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |     |       |     |          |     |       |            |     |       |            |     |       |             |     |       |            |     |       |            |     |     |              |     |        |          |      |       |          |    |       |            |   |       |            |    |       |           |    |       |   |     |         |    |   |

【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名           | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                          |
|---------------|----------|-------------|----------|----------|--------------------------|
|               | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容                       |
| 青少年リーダー研修参加者数 | 11人      | 20人         | 20人      | 9人       | 小学5年生及び前回参加者を対象としたリーダー研修 |

### 【課題と今後の方向性】

- ◆咸宜大学の受講生については、定員人数(250名)に達していないこと、また、会員のうち参加者数が半分程度であることから、参加者が主体性を持って取り組めるよう、受講生による運営委員会と協議を行いながら魅力ある講座を企画していく。合わせて、周知の方法についても文字を見やすくすることや、クラブ活動時の声かけなど工夫していく。
- ◆ふれあい宅配講座については、講座を登録している担当課にも事業趣旨を理解してもらうことで積極的な活用に努め、実績等を広報などにより周知することで、市民の学習機会の充実や意識啓発の促進を図る。
- ◆青少年リーダー研修については、小学5年生から中学生、高校生までと継続的な活動を計画しているが、中学や高校に進学した際に学校行事などにより参加者が集まらないことから、募集方法について関係機関と連携して周知するほか、公民館での声掛けの強化やSNSなどによる情報発信等を検討する。



青少年リーダー研修

# 平成31年度地区公民館事業の実施状況

| No. | 公民館 | 1 青少年学習<br>講座名                                          | 2 成人学習<br>講座名                                                | 3 高齢者学習<br>講座名                                | 4 社会人権学習<br>講座名             | 5 家庭教育学習<br>講座名               | 6 環境学習<br>講座名        | 8 公民館まつり<br>講座名 | 9 その他の学習<br>講座名   | 10 ふるさとまつり<br>講座名 | 11 まちづくり事業<br>講座名                          | 12 その他の事業<br>講座名                               |
|-----|-----|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|----------------------|-----------------|-------------------|-------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1   | 咸宜  | 咸宜っ子体験教室                                                | 成人セミナー                                                       | 敬天セミナー<br>月化セミナー<br>すずめの学校<br>咸宜公民館グラウンドゴルフ大会 | 町内・団体人権学習会                  |                               | みどりの教室               |                 |                   |                   | ふるさと咸宜学<br>防災セミナー<br>青壮年会連絡会               | 学校支援事業<br>地域団体活動支援事業                           |
| 2   | 桂林  | チャレンジスクール<br>ジュニアチャレンジスクール<br>放課後子ども塾<br>桂林学びの教室        | 遊学館成人事業<br>遊学館料理教室                                           | 遊学館寿考事業<br>すずめの学校                             | 町内人権学習会                     |                               | 桂林環境学習事業             |                 |                   | 桂林ふれあい祭り          | 桂林サポート隊<br>桂林ふらりと歩こう会<br>桂林地域活性化事業         |                                                |
| 3   | 日隈  | ひのくまSST倶楽部<br>日隈っ子なつの体験教室<br>学校支援事業                     | 成人セミナー<br>料理教室<br>バラとハーブの教室<br>和の文化を楽しもう<br>男の料理教室<br>パソコン教室 | 高齢者セミナー<br>すずめの楽公                             | 町内人権学習会                     | 子育て応援学級                       | キレイキレイ大作戦<br>三隈川サミット | 公民館まつり          |                   |                   | 防災講座<br>マレットゴルフ大会                          |                                                |
| 4   | 若宮  | 棕の木体験教室<br>若宮放課後子ども広場<br>子ども料理教室                        | 若宮女性セミナー<br>男の料理教室<br>パソコン教室<br>防災学習会                        | 寿考教室<br>すずめの学校                                | 町内人権学習会                     | 子育て応援講座<br>家庭教育講演会            |                      | 第13回若宮公民館まつり    |                   |                   | 地域づくり講座                                    |                                                |
| 5   | 三芳  | コスモスっ子教室<br>子ども陸上教室<br>子ども料理教室                          | 成人セミナー<br>みよしステップ教室<br>パソコン教室                                | 久津媛クラブ<br>すずめの学校                              | 町内人権学習会                     | 家庭教育講演会                       |                      | 第2回三芳公民館祭り      | 国際料理教室<br>子育て応援講座 |                   | 三芳見守り隊                                     | 三芳小学校支援事業                                      |
| 6   | 高瀬  | 高瀬みどりの少年団<br>たかせ夏休み学び塾                                  | 女性セミナー<br>男の料理教室(昼)<br>男の料理教室(夜)                             | アクティブシニア教室<br>認知症予防事業(健康マー جان教室)             | 町内人権学習                      | 子育て支援講座                       |                      |                 |                   |                   | 高瀬ウォークinたかせ<br>高瀬ふるさと学                     | 学校支援事業<br>地域連携事業                               |
| 7   | 光岡  | 光岡ヒカリっ子塾<br>通学合宿<br>夏休み子ども絵画教室<br>夏休み学びの教室              | てるおか女性セミナー<br>男の厨房<br>初心者IT教室(エクセル)                          | 光岡老人大学<br>光岡すずめの学校                            | 光岡地区人権啓発推進協議会<br>町内・団体人権学習会 | 子育て支援講座<br>子育て応援講座            |                      |                 |                   | 光岡ふれあいまつり         |                                            | 光岡土曜学びの教室<br>男の居場所<br>光岡グラウンドゴルフ大会<br>学校支援協育事業 |
| 8   | 朝日  | あさひチャレンジ倶楽部<br>あさひトラック&フィールド<br>あさひ放課後子ども教室<br>中高生サポーター | レディースセミナー<br>成人セミナー<br>パソコン教室                                | 朝日大学                                          | 町内人権学習会                     | 家庭教育講演会                       |                      |                 | 防災学習              |                   | あさひ体験教室<br>地域活動支援                          |                                                |
| 9   | 三花  | 三花チャレンジ教室                                               | みはな女性セミナー<br>男の料理教室<br>史跡・巨木・名水を巡る会<br>成人学級<br>文化講演会         | 暁大学                                           | 町内人権学習会                     | 青少年健全育成大会<br>家庭教育講演会<br>子育て支援 | 花いっぱい運動              |                 | みはなすずめの学校         | みはなふるさとまつり        | 壮年会等連絡会<br>女性連絡協議会                         | 石坂石畳道ウォーキング大会<br>学校支援事業                        |
| 10  | 西有田 | わんぱく教室<br>ありた陸上教室<br>ありた水泳教室                            | 遊食教室<br>彩食教室<br>女性セミナー<br>パソコン教室<br>ヤンチャクラブ<br>西有田アカデミー      | 生き生きクラブ<br>ウォーキング教室<br>にこにこ学級                 | 町内人権学習会                     | 家庭教育講演会                       | 環境学習会                |                 |                   | 第37回西有田まつり        | おや活講座<br>西有田の歴史を学ぶ会<br>西有田めぐり<br>西有田防犯防災教室 |                                                |

| No. | 公民館 | 1 青少年学習<br>講座名                         | 2 成人学習<br>講座名                                                    | 3 高齢者学習<br>講座名                     | 4 社会人権学習<br>講座名                           | 5 家庭教育学習<br>講座名                                   | 6 環境学習<br>講座名 | 8 公民館まつり<br>講座名 | 9 その他の学習<br>講座名                                                  | 10 ふるさとまつり<br>講座名               | 11 まちづくり事業<br>講座名                                    | 12 その他の事業<br>講座名 |
|-----|-----|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------|-----------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------------------|------------------|
| 11  | 東有田 | ムクの樹体験クラブ<br>ありた陸上教室<br>ありた水泳教室        | 成人セミナー<br>男の料理教室<br>女性の料理教室<br>ウォーキング教室<br>良い映画を見る推進事業<br>パソコン教室 | 生きがい大学<br>めだかの学校<br>世代間交流グランドゴルフ大会 | 町内人権学習会<br>地区人権研修会                        | 子育てサロン<br>有田小家庭教育講演会<br>ふれあい郷土料理教室<br>東有田中家庭教育講演会 |               |                 |                                                                  |                                 |                                                      |                  |
| 12  | 小野  | チャレンジ教室<br>夏休みわくわく子ども教室                | 成人セミナー                                                           | こととい大学                             | 町内人権学習会<br>地区人権研修会                        | 家庭教育講演会                                           |               |                 | 学校支援                                                             | 小野ふる里ふれあい祭り<br>小野ふる里ふれあい祭り実行委員会 | まちづくり協力隊<br>防災まちづくり講演会<br>まちづくり協力隊座談会<br>小野の歴史冊子作製事業 | 小野公民館運営委員会       |
| 13  | 大鶴  | 大明チャレンジ教室<br>水泳教室<br>通学合宿<br>中学生ボランティア | 女性セミナー<br>男性料理教室<br>成人セミナー<br>自主学習教室代表者会議                        | 寿大学                                | 町内人権学習<br>部落差別地域推進研修会                     | 子育て支援講座                                           |               | 大鶴公民館まつり(中止)    |                                                                  | 大鶴ふるさと祭                         | ウォーキング大会(中止)<br>静修そばうち道場                             |                  |
| 14  | 夜明  | 大明チャレンジ教室<br>大明児童の水泳教室<br>大明児童の通学合宿    | ふるさとの歴史学習会<br>料理教室<br>男の料理教室<br>女性セミナー<br>まちづくりセミナー              | 夜明寿大学<br>夜明認知症予防教室支援               | 町内人権学習会                                   |                                                   |               |                 |                                                                  | 第35回夜明ふるさと祭り                    | 夜明史談会<br>夜明三日月サークル<br>麦踏交流フェスタ                       |                  |
| 15  | 五和  | チャレンジ教室                                | 成人セミナー<br>男の料理教室<br>女性セミナー<br>よるごはん                              | 幸齢者教室<br>幸齢者マナビ塾                   | 高井町人権学習会<br>石井町2丁目人権学習会<br>小山町人権学習会       | 納涼チャレンジ大会<br>交流もちつき大会<br>家庭教育講演会                  | チャレンジ教室       |                 |                                                                  |                                 |                                                      |                  |
| 16  | 前津江 | まえつえジュニア倶楽部<br>チャレンジ水泳                 | まえつえセミナー<br>女性セミナー<br>男の料理教室                                     | 幸齢者学級<br>めだかの楽公                    | 町内人権学習会<br>生きがいサロン人権学習会<br>部落差別解消法推進地域研修会 | 前津江中学校家庭教育講演会<br>まえつえ保育園絵本読み聞かせ                   |               |                 | リトミック講座<br>男女共同参画講演会<br>前津江町人権講演会<br>学校支援事業                      |                                 | あいさつ運動<br>ワークショップ                                    | スポーツ交流会          |
| 17  | 中津江 | 津江っ子チャレンジクラブ<br>津江小・中学校教育講演会           | いろいろチャレンジ教室<br>料理教室<br>スイーツ教室                                    | 寿学級                                | 町内人権学習                                    | 家庭教育支援                                            |               |                 |                                                                  |                                 | 地域活性化支援事業                                            |                  |
| 18  | 上津江 | 津江っ子チャレンジクラブ                           | 女性セミナー<br>料理教室                                                   | たかざご学級                             | 上津江人権講演会<br>自治会人権学習会                      | リトミック・人形劇(こども園)<br>体操教室(津江小児童)                    | 巨樹銘木講座        | 上津江公民館フェスティバル   |                                                                  | 上津江産業文化祭                        | 上津江スポーツ大会                                            | 学校支援             |
| 19  | 大山  | 大山っ子チャレンジ教室<br>子ども体験教室                 | 男の料理教室<br>女性セミナー<br>若者交流事業<br>パソコン教室                             | いきいき大学                             | 自主学習教室生人権学習<br>大山町人権講演会                   | 大山小中学校育友会家庭教育講演会                                  |               | 大山公民館まつり        | 大山小学校drumTao公演<br>大山小学校文通プロジェクト<br>大山小中学校演劇公演指導<br>大山小中学校文化祭サポート |                                 |                                                      |                  |
| 20  | 天瀬  | teamあまがせ                               | 輝(キラキラ)塾<br>ザ☆男メシ<br>成人セミナー<br>パソコン教室                            | 寿学級<br>サークル笑顔<br>あまがせ笑楽康           | 地域人権学習会                                   | 家庭教育講演会                                           |               | あまがせ公民館まつり      |                                                                  |                                 | 地域活性化事業                                              | 学校支援事業           |



| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                            | 社会教育の充実                        | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                         | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                            | 社会教育の推進                        | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ②社会教育における専門性を持った人材の育成                                                                                                                                                        |                                | 5   | A     |
| 評価理由     | 全地区公民館に有資格者を配置することは、退職者があり達成できなかったが、新規採用者の各種研修会等への参加や他の公民館主事や事務局からの支援、20地区を4ブロックに分ける「ブロック制」を導入し、ブロック間での事業連携、職員の情報共有などにより人材の育成ができています。また、資格取得後も県主催の研修会等に参加するなど、専門的資質の向上が図られた。 |                                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 社会教育主事有資格者の配置                                                                                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | 233千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>社会教育の専門性を持った人材の育成のため、地区公民館の主事を計画的に社会教育主事講習に参加させ、全地区公民館への有資格者の配置を進め総合的な人材の育成に努める。</p> <p>【内容】<br/>・地区公民館に社会教育主事有資格者を配置<br/>地区公民館20館 各1人<br/>運営事務局 2人<br/>・中央公民館(社会教育課)に社会教育主事有資格者を配置</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>【平成31年度末実績】<br/>・地区公民館 有資格者数20人<br/>(地区公民館に18人、事務局に2人配置)<br/>・中央公民館(社会教育課)<br/>有資格者4人</p> <p>地区公民館においては、2人の退職による新採用職員の配置により、社会教育主事有資格者は20館のうち18館であった。(採用3年目に社会教育主事講習を受講予定)<br/>運営事務局には有資格者2人が配置され、地区公民館の支援・補助等を行った。<br/>また、中央公民館(社会教育課)では、有資格者3人が配置され、新たに配属された職員1人が社会教育主事講習を受講し、合計4人配置となり、有資格者の配置が概ね計画的に進められていることから評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                                                     |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |       |

【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名         | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                                   |
|-------------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|---------------------------------------------------|
|             |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                                                |
| 社会教育主事有資格者数 | 21人             | 23人                | 23人             | 24人      | 社会教育主事有資格者数<br>・地区公民館18人・事務局2人<br>・中央公民館(社会教育課)4人 |

【課題と今後の方向性】

◆地区公民館の事業を企画、推進する社会教育主事については、環境、福祉、人権やまちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる総合的なスキルが必要であるため、社会教育主事講習の受講を奨励していく。

◆公民館においては、有資格者2人の退職に伴い社会教育主事が減少したものの、新採用職員については採用3年目に社会教育主事の資格取得を行うことから、それまでの間、経験を積んだ社会教育主事(事務局職員)が新採用職員の人材育成に努め、また各種研修会へ積極的に参加させるなど、資質向上を図る。

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                             | 社会教育の充実                        | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                          | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 2                                                                                             | 市民の学習意欲を支えるための基礎の整備            | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①生涯学習施策の総合的推進のための連携の促進と強化                                                                     |                                | 5   | A     |
| 評価理由     | 地区公民館(20館)の管理・運営を一般財団法人日田市公民館運営事業団に委託することで、事務の効率化と各地区の実情に応じた事業を行うとともに、関係各課や各種団体等と連携し事業が実施できた。 |                                |     |       |

# 【個別評価】

|          |                                                                                                           |             |                                                                                                                                                                                     |               |                                                                                                                                                                                                                                                                            |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--|-----|----|-------|--|-----|------|---------|-----|-----|---------|--------|-----|-----|---------|--------|----|------|----------|-------|
| 事業または取組名 |                                                                                                           | 地区公民館運営委託事業 |                                                                                                                                                                                     | 平成31年度事業費     |                                                                                                                                                                                                                                                                            | 308,807千円 |  | 担当課 |    | 社会教育課 |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>地域の実情に応じ、かつ、実生活に即した各種事業を展開するため地区公民館20館の管理・運営を、一般財団法人日田市公民館運営事業団に委託し、市の生涯学習及び社会教育の推進と公民館事業の活性化を図る。 |             |                                                                                                                                                                                     | 事業取組・成果・評価の理由 | 講座実績                                                                                                                                                                                                                                                                       |           |  |     | 評価 | 5     |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
|          | [内容]<br>・人件費(館長・主事分)<br>・事業費(講座・教室の開催等)<br>・管理費(施設維持管理)<br>・その他(車輛リース等)                                   |             |                                                                                                                                                                                     |               | <table><tr><td></td><td>講座数</td><td>参加者数</td><td>月平均参加者数</td></tr><tr><td>H30</td><td>655</td><td>134,346</td><td>11,195</td></tr><tr><td>H31</td><td>634</td><td>119,227</td><td>10,838</td></tr><tr><td>増減</td><td>▲ 21</td><td>▲ 15,119</td><td>▲ 357</td></tr></table> |           |  |     |    |       |  | 講座数 | 参加者数 | 月平均参加者数 | H30 | 655 | 134,346 | 11,195 | H31 | 634 | 119,227 | 10,838 | 増減 | ▲ 21 | ▲ 15,119 | ▲ 357 |
|          |                                                                                                           | 講座数         | 参加者数                                                                                                                                                                                |               | 月平均参加者数                                                                                                                                                                                                                                                                    |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
|          | H30                                                                                                       | 655         | 134,346                                                                                                                                                                             |               | 11,195                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
|          | H31                                                                                                       | 634         | 119,227                                                                                                                                                                             |               | 10,838                                                                                                                                                                                                                                                                     |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
| 増減       | ▲ 21                                                                                                      | ▲ 15,119    | ▲ 357                                                                                                                                                                               |               |                                                                                                                                                                                                                                                                            |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
|          |                                                                                                           |             |                                                                                                                                                                                     |               |                                                                                                                                                                                                                                                                            |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
|          |                                                                                                           |             |                                                                                                                                                                                     |               |                                                                                                                                                                                                                                                                            |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
|          |                                                                                                           |             |                                                                                                                                                                                     |               |                                                                                                                                                                                                                                                                            |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
|          |                                                                                                           |             | 一般財団法人日田市公民館運営事業団に地区公民館の管理運営を指定管理者として委託し、事務処理の効率化を図り、地域の実情に応じた事業を展開した。<br>事業団が開催する、月1回の館長会・主事会、また館長・主事合同会議に適宜参加し、協議事項の提示や社会教育課事業の協力及び事業の推進について説明を行うなど、地区公民館と連携を図り、順調に事業を推進することができた。 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                            |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |
|          |                                                                                                           |             | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月3日から一斉に休館したことから、前年度より参加者数が減少しているものの、月平均の参加者数は約3%の減少にとどまっていることから、評価を5とした。                                                                                       |               |                                                                                                                                                                                                                                                                            |           |  |     |    |       |  |     |      |         |     |     |         |        |     |     |         |        |    |      |          |       |

# 【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◆地区公民館事業においては、令和2年度が指定管理2期目(H28～R2)の最終年度であるが、事業への参加者の固定化、高齢化が見られる公民館もあるものの、学校と連携した講演会の開催や、地域の歴史や自然を学ぶ教室などを開催し、新規の参加者を掘り起こす取組を行っている公民館もみられ、今後も地域住民と連携し、地域における生涯学習の拠点として事業を展開していく。</p> <p>◆地区公民館には、地域の防災拠点や、地域コミュニティの維持・継続的な発展を推進する役割などが求められており、住民自治組織等をはじめ、関係団体や行政機関との連携を深めながら、今後の公民館の在り方について検討していく。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                 | 社会教育の充実                        | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                              | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 2                                                                                                                 | 市民の学習意欲を支えるための基礎の整備            | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ②地域の独自性を尊重した生涯学習推進のための学習環境の整備                                                                                     |                                | 5   | A     |
| 評価理由     | 建築後30年以上経過した非耐震性の公民館について、日田市公共施設等総合管理計画に基づき、平成31年度は、大山公民館、天瀬公民館の2館、また、国道拡幅工事に伴う移転により三花公民館の1館、計3館について計画的に整備を実施できた。 |                                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 地区公民館整備事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 平成31年度事業費     | 269,242千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】</p> <p>市内にある地区公民館20館の内、建築後30年以上が経過し、非耐震構造や施設の老朽化による改修が必要な施設においては、新築や大規模改修を行い、利用者の安全と利便性を高める。</p> <p>【内容】</p> <p>国道212号拡幅工事の影響で三花公民館を移転するため、新築工事及び旧公民館の解体を行う。</p> <p>また、天瀬公民館においては、天瀬振興局を改修し、公民館機能を振興局内に移転するための改修工事を行う。</p> <p>さらに大山公民館においては平成28年度に耐震診断を実施し、建設委員会を開催し、大規模改修に向けた実施設計を行う。</p> <p>・三花公民館<br/>平成30年度 用地取得、造成工事、実施設計等<br/>平成31年度 新築工事、旧公民館解体工事</p> <p>・天瀬公民館<br/>平成30年度 振興局改修設計業務<br/>平成31年度 振興局改修工事</p> <p>・大山公民館<br/>平成28年度 耐震診断業務<br/>平成29年度 耐震設計業務<br/>平成30年度 建設委員会の開催<br/>平成31年度 公民館部分実施設計業務</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・三花公民館</p> <p>三花公民館新築工事 137,456千円</p> <p>旧三花公民館解体工事 10,945千円</p> <p>ピアノ移動委託業務 44千円</p> <p>備品購入費 2,699千円</p> <p>・天瀬公民館</p> <p>移設改修工事 101,538千円</p> <p>備品購入費 2,700千円</p> <p>・大山公民館</p> <p>大山文化センター改修設計 13,860千円</p>                                                                                                    | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |               | <p>【旧耐震基準で建設された公民館】</p> <p>地区公民館20館のうち1館及び分館2館（東有田公民館、五馬分館、東溪分館）</p> <p>【地区公民館の耐震化率】</p> <p>86%（19館／22館）</p> <p>三花公民館においては、国道212号拡幅工事による移転のため、新築工事、備品購入、移転及び旧公民館の解体工事を実施した。</p> <p>天瀬公民館においては、公民館機能を移転するため、天瀬振興局の改修工事を行った。</p> <p>大山公民館においては、公民館部分の実実施設計を行った。</p> <p>利用者の利便性等に配慮しながら、計画どおりに整備を進めることができたことから評価を5とした。</p> |     |       |

【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                  | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                                                                  |
|----------------------|----------|-------------|----------|----------|------------------------------------------------------------------|
|                      | （平成28年度） | （平成31年度推測値） | （平成33年度） | 達成値      | 内容                                                               |
| 公民館利用者数<br>（中央公民館含む） | 155,470人 | 186,500人    | 187,000人 | 157,488人 | 地区公民館利用者119,227人<br>（目標値には貸館・その他含まず）<br>中央公民館（教室・多目的）<br>38,261人 |

【課題と今後の方向性】

- ◆地区公民館の整備事業については、日田市公共施設等管理計画に基づき、引き続き各関係機関と連携しながら計画的に改修、地域移管、建設、複合化を行う。
- ◆大山公民館・文化ホールの大規模改修（2期工事）については、地域住民や周辺施設との連携を図りながら、実施設計、改修等実施する。

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                                                                               | 社会教育の充実                        | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                                                                            | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 3                                                                                                                                                                                                                               | 家庭・地域の教育力の向上と支援体制の充実           | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①子育てを地域全体で行う「協育」ネットワーク(地域・公民館・学校)の充実                                                                                                                                                                                            |                                | 3.6 | B     |
| 評価理由     | <p>子どもたちの健やかな成長を育むため公民館や地域における様々な生活体験活動の実施、放課後や休日の安全・安心な居場所づくりについて、地域や学校、公民館が連携して事業に取り組むことができた。</p> <p>しかしながら、地域・学校支援人材バンクにおいて登録者数が目標の半数であったことや、放課後子どもプラン事業において、放課後子ども教室開設校区数及び児童クラブとの連携した校区数が平成30年度と比較して減少しており、取組に遅れが出ている。</p> |                                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 地域・学校支援人材バンク事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】</p> <p>子育てを地域全体で行う「協育」ネットワークの一環として、平成25年度より「地域・学校支援人材バンク」制度を立ち上げ、人材バンクへの登録者を学校の要望に応じて派遣及び支援を行う。</p> <p>【内容】</p> <p>小中学校数 30校×校区登録者数</p> <p>市中心部 2名×20校 40名</p> <p>周辺部 1名×10校 10名 合計 50名</p>                                                                                                                                                                     | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・地区を超えた全市的な学校支援人材バンクへの登録者数 25名</p> <p>＊市中心部 23名</p> <p>＊周辺部 2名</p> <p>人材バンクへの登録はあるものの可能な支援内容などの更新ができておらず、登録者名簿の整理が必要な時期にきている。</p> <p>地区公民館においては、10地区で公民館と学校が連携して人材の派遣や支援ができたものの、登録者数については新規登録の呼びかけができておらず、目標値の半数に留まっていることから、評価を3とした。</p>                                                                                                                                                                 | 評価  | 3     |
| 事業または取組名 | 放課後子どもプラン事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 平成31年度事業費     | 2,682千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 担当課 | 社会教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】</p> <p>放課後の子どもの安全で健やかな居場所の確保を図るため、学校・家庭・地域が連携しながら、地域人材を活用した体験活動や学習活動を行うもの。</p> <p>また、放課後子ども総合プラン「日田市行動計画」に基づき、放課後児童クラブに参加している児童・生徒が放課後子ども教室に自由に参加できる環境・体制を整え、放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体型または連携を目指す。</p> <p>【内容】</p> <p>放課後子ども教室の運営委託(6校区、11教室)</p> <p>・小学生チャレンジ教室 4教室</p> <p>・土曜アクティブ交流教室 6教室</p> <p>・中学生学び応援教室 1教室</p> <p>放課後子ども総合プラン「日田市行動計画」の推進</p> <p>・一体型 1教室</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・小学生チャレンジ教室 4教室</p> <p>日隈、北三、むくの木、朝日</p> <p>・土曜アクティブ交流教室 6教室</p> <p>北三、むくの木、桂林、光岡、たかせ、小野</p> <p>・中学生学び応援教室 1教室</p> <p>むくの木</p> <p>・児童クラブとの一体型の取組 1教室</p> <p>日隈</p> <p>放課後の子どもの安全で健やかな居場所づくりのため、地域人材を活用し体験活動や学習活動を行うことができた。また、教室の実施に向け三芳公民館、若宮公民館に呼びかけを行い、次年度からの開催に向けて体制を整えることができた。</p> <p>しかし、指導者の確保が難しいなどの理由から前津江、とうけいの2教室を開催することができなかったこと、放課後児童クラブとの一体型や連携型への取組についても、とうけいの教室が開催できなかったことから、評価を3とした。</p> | 評価  | 3     |

| 事業または取組名 | 地区公民館と各団体との連携                                                                                                         | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | — | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕<br/>公民館が育友会、自治会、子供会等の各種団体や家庭・学校と連携して青少年の健全育成に取り組むための支援。</p> <p>〔事業内容〕<br/>学校支援事業・青少年学習（放課後子ども教室）、各種講演会の実施</p> | <p>事業取組・成果・評価の理由</p> <p>・学校支援事業 10館 10事業 34回 819人<br/>・青少年学習事業 20館 50事業 543回 9,053人<br/>うち、放課後子ども教室 5館<br/>延べ54日間 116人（登録者数）<br/>・各種講演会等 12館 18事業 21回 1,653人</p> <p>年間を通した事業や期間を限定した事業、子どもを対象にしたものや保護者を対象にしたものなど、すべての公民館で実施できた。<br/>事業には、公民館職員だけでなく、学校や地域の住民も参加し、様々な体験や学習を通して交流や連携を図ることができたことから、評価を5とした。</p> |   | 評価  | 5     |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                               | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                          |
|-----------------------------------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|------------------------------------------|
|                                   |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                                       |
| 学校支援事業を開催する地区公民館数                 | 13館<br>(H27年度)  | 15館                | 20館             | 8館       | 学校支援を行っている地区公民館数                         |
| 家庭・地域・学校支援人材バンク登録者数               | 23人<br>(H27年度)  | 35人                | 50人             | 25人      | 登録者数                                     |
| 放課後子ども教室開設校区数                     | 7校区             | 13校区               | 18校区            | 7校区      | いずれかのメニューで放課後子ども教室を実施している校区数             |
| 放課後子ども教室及び放課後児童クラブの一体型又は連携した取組校区数 | 1校区             | 6校区                | 16校区            | 1校区      | 放課後児童クラブの児童が放課後子ども教室へ自由に参加できる体制をとっている校区数 |

#### 【課題と今後の方向性】

◆国が進める新・放課後子ども総合プランに基づき、安心・安全な放課後の居場所づくりのため、学校・家庭・地域の教育の協働を推進する「協育」ネットワークを構築し、幅広い地域住民等の参画により宿題や基礎・基本の定着を図るための補充学習等やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する。

◆放課後子ども総合プラン事業「日田市行動計画」に基づき、放課後児童クラブと連携した取組を関係機関と調整を図りながら可能な教室から実施していく。

◆学校支援事業については、コミュニティー・スクールの導入に伴い、学校と公民館や地域が連携して協働での取組が必要になることから、家庭・地域・学校支援人材バンクへの登録者の見直しや、地区公民館に登録がある地域人材の掘り起こし、おとな先生事業等の情報収集を行いながら、主体的に関わる人材を確保していく。また、校区登録者数による指標を含め人材バンク事業のあり方について検討を行っていく。

※おとな先生事業とは、商工労政課が実施する「ひたを担う人材育成事業」の一環で、小・中学校において外部講師によるキャリア教育を行う事業



小野夏休みわくわく教室



| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                     | 社会教育の充実                        | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                  | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 3                                                                                                                                                                     | 家庭・地域の教育力の向上と支援体制の充実           | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ②「大人が変われば、子どもも変わる」理念の啓発                                                                                                                                               |                                | 4   | B     |
| 評価理由     | <p>昨年度に引き続き、大人自身が子どもに生活模範を示し、こころ豊かでいきいきとした青少年を育成するために「大人が変われば、子どもも変わる」運動理念に基づき、関係機関と連携して啓発活動を継続的に実施できた。</p> <p>青少年健全育成大会については、平成30年度に比べて参加者が減少しており、保護者の参加数も少なかった。</p> |                                |     |       |

【個別評価】

|          |                                                                                                                                           |                      |     |               |  |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |  |       |     |     |    |           |     |     |      |         |    |     |      |    |   |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----|---------------|--|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--|-------|-----|-----|----|-----------|-----|-----|------|---------|----|-----|------|----|---|
| 事業または取組名 |                                                                                                                                           | 「大人が変われば子どもも変わる」啓発活動 |     | 平成31年度事業費     |  | 187千円 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課 |  | 社会教育課 |     |     |    |           |     |     |      |         |    |     |      |    |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>「大人が変われば子どもも変わる」理念に基づき、こころ豊かでいきいきとした青少年を育成するため、関係機関や各団体に働きかけ、理念の啓発を図る。<br>主に、青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)や、全国青少年健全育成強調月間(11月)に併せて各運動を行う。 |                      |     | 事業取組・成果・評価の理由 |  |       | <div>・街頭啓発活動(あいさつ運動)<br/>場 所:県内1か所 年1回(11月)<br/>参加者:県、市町村関係者等</div> <div>・青少年健全育成大会の開催<br/>参加者数 181名 (令和元年11月16日)<br/>*小・中・高校・育友会意見・実践発表<br/>石井小、三隈中、藤蔭高校、津江小中学校育友会<br/>*支部実践発表 大山中学校教諭<br/>*特別講演<br/>「子どもたちのネット利用の現状と課題<br/>～子どもから大人までが学ぶべき情報モラル～」<br/>公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所<br/>副所長 渡辺 律子 氏</div> <div>・家庭教育講演会(令和元年11月22日)<br/>「子どもが輝く ほめ達の魔法！<br/>～あなたの周りにはダイヤの原石がいっぱい～」<br/>ほめる教育研究所 代表 竹下 幸喜<br/>参加者数:85名<br/>対象:日田市連合育友会母親部会、学校関係者等</div> <div>《参加者数》 (人)</div> <table><tr><td></td><td>H31</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>青少年健全育成大会</td><td>181</td><td>237</td><td>▲ 56</td></tr><tr><td>家庭教育講演会</td><td>85</td><td>100</td><td>▲ 15</td></tr></table> <div>あいさつ運動などの街頭啓発活動や青少年健全育成大会、家庭教育講演会を開催したが前年度より参加者が減少したことから、評価を4とした。</div> |     |  |       | H31 | H30 | 増減 | 青少年健全育成大会 | 181 | 237 | ▲ 56 | 家庭教育講演会 | 85 | 100 | ▲ 15 | 評価 | 4 |
|          |                                                                                                                                           | H31                  | H30 |               |  |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |  | 増減    |     |     |    |           |     |     |      |         |    |     |      |    |   |
|          | 青少年健全育成大会                                                                                                                                 | 181                  | 237 |               |  |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |  | ▲ 56  |     |     |    |           |     |     |      |         |    |     |      |    |   |
|          | 家庭教育講演会                                                                                                                                   | 85                   | 100 |               |  |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |  | ▲ 15  |     |     |    |           |     |     |      |         |    |     |      |    |   |
|          | [内容]<br>・「大人が変われば子どもも変わる」県民運動<br>内容:街頭啓発活動(あいさつ運動) 県内年間1回<br><br>・青少年健全育成大会の開催<br>内容:小・中・高校等活動報告、講演等                                      |                      |     |               |  |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |  |       |     |     |    |           |     |     |      |         |    |     |      |    |   |
|          |                                                                                                                                           |                      |     |               |  |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |  |       |     |     |    |           |     |     |      |         |    |     |      |    |   |
|          |                                                                                                                                           |                      |     |               |  |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |  |       |     |     |    |           |     |     |      |         |    |     |      |    |   |
|          |                                                                                                                                           |                      |     |               |  |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |  |       |     |     |    |           |     |     |      |         |    |     |      |    |   |

【課題と今後の方向性】

- ◆日田市青少年問題協議会を中心に青少年健全育成大会を実施しているが、保護者の参加が少ないことや、大会開催時期に学校行事や育友会行事が重なることから、日田市連合育友会等の関係団体と協議を重ねながら大会の開催時期や開催方法について検討を行う。
- ◆青少年に対する事案については、スマートフォンやSNS等の利用に起因する事件や事故が増加傾向にあること、不登校や引きこもりなどの社会的自立に悩みを抱える子どもへの対応や、大麻等の薬物乱用などの新しい課題が発生していることから、子どもを取り巻く家庭・地域・学校・行政等が課題解決に向けて引き続き連携して取り組む。

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                    | 社会教育の充実                        | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                 | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 4                                                                                                                                    | 社会教育における人権教育の充実                | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ① 社会教育における人権問題への取組の充実・支援                                                                                                             |                                | 5   | A     |
| 評価理由     | 市民一人ひとりがお互いの人権を尊重しあえる社会の実現に向け、生涯の各時期に応じ、人権に関する学習ができるように公民館などを中心に講座の開催や交流活動など人権に関する多様な学習機会を提供するとともに、学習が円滑に進むための進行手法を学ぶなど、人材の育成も推進できた。 |                                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 社会人権・同和教育事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 平成31年度事業費     | 192千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>ファシリテーター育成講座、地区公民館における人権学習会の開催等を行い、社会教育における人権学習を推進する。</p> <p>【内容】<br/>・ファシリテーター育成講座<br/>民生委員児童委員、主任児童委員を対象に、ファシリテーターとして、ワークショップ形式の学習会を開催する際に必要な知識や手法を、2回連続のカリキュラムで学ぶ。</p> <p>・人権問題連続講座<br/>1地区公民館で、地区公民館利用者や地区住民に対し、3回の連続した「部落解消問題」をはじめとした人権課題を行い、正しい知識や人権感覚を身に付け、部落解消問題に対する偏見・差別心の解消を図る。</p> <p>・日田市複合文化施設AOSEにおける人権講座<br/>生涯学習活動の一環として中央公民館施設利用者に対し、人権学習を行い、人権尊重の重要性や必要性についての理解を図る。</p> <p>・人権教育講座<br/>公民館長、公民館主事を対象に人権意識の向上に取り組む。</p> <p>・公民館での人権学習会<br/>公民館利用者、地区住民が、様々な人権課題について学び、地域における人権尊重の意識の向上・醸成を図る。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・ファシリテーター育成講座 参加者 延べ37名<br/>民生委員児童委員、主任児童委員を対象に全2回実施した。研修では、話し合いの進行演習を通して、参加するメンバーが意見を言いやすくなる、意見を整理出来るようになるスキルを身に付けることが出来た。</p> <p>・人権問題連続講座 参加者 延べ140名<br/>3つの法律に対する理解を深めるとともに、様々な人権に対する誤った認識や偏見が内在していないか一人ひとり問い直すことができた。</p> <p>・日田市複合文化施設AOSE利用者に対する人権講演会<br/>参加者 150名<br/>子育てに悩む親を対象とした子どもの人権について学習した。</p> <p>・公民館における人権研修会<br/>開催数201回、参加者5,708人</p> <p>・人権教育講座<br/>部落問題の歴史からその問題をなくすためにはどうしていくか、人権の意識調査から人権意識を理解し今後の啓発への取組方法を学んだ。また、ファシリテーター養成研修では参加者数が減少したものの、演習を通して意見調和スキルを身に付けるなど充実した活動ができた。</p> <p>・公民館での人権学習会<br/>地区公民館で、公民館の各種講座、学習会や他団体と共催で人権学習を行うことができた。また、町内人権学習では公民館職員が支援を行うことで、公民館利用者をはじめ地区住民への人権意識の向上を図ることができた。</p> <p>以上のことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |

【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名             | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                          |
|-----------------|----------|-------------|----------|----------|--------------------------|
|                 | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容                       |
| ファシリテーター育成講座参加数 | 78       | 78          | 80       | 37       | 民生委員児童委員、主任児童委員を対象       |
| 地区公民館での人権学習会参加数 | 3,944    | 4,200       | 4,500    | 5,708    | 地区公民館が支援を行っている町内人権学習会参加数 |



#### 【課題と今後の方向性】

- ◆ファシリテーター育成講座では、実践的なプログラムとワークショップなどの手法を行うことで、地域で活動できる人材の育成を行う。
- ◆人権問題連続講座では、対象公民館と十分な連携を図り、広い世代の住民が人権問題について関心を持ち参加してもらえるように、世代に合わせた講座内容や日程設定を行うことで、市民全体の人権意識の向上を図る。
- ◆地区公民館では、地域の課題や実情に応じた学習機会を提供するため、関係機関や地域の人権推進委員と連携して講座や学習会を開催することで、多くの住民が様々な人権課題について学び、知識を身に付けていくことにより、地域における人権尊重の意識の向上に努める。
- ◆中央公民館では、日頃地区公民館を利用しない方向けに、日田市複合文化施設AOSE利用者を対象とした人権講座を開催していく。

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                                                                                                | 社会教育の充実                        | 担当課 | 博物館  |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                                                                                             | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |      |
|          | 5                                                                                                                                                                                                                                                | 博物館の機能の充実                      | 平均値 | 総合評価 |
| 【主な取組】   | ① 博物館施設の機能の充実                                                                                                                                                                                                                                    |                                | 5   | A    |
| 評価理由     | <p>博物館が日田市複合文化施設AOSE内に移転して4年目にあたり、継続して市民に楽しんで利用されるよう展示室や収蔵庫、保存標本などのメンテナンスや拡充を行った。</p> <p>市内の学校や公民館などからの見学も20を越え、学芸員の知識や経験を活かした体験学習も実施し、好評を得た。</p> <p>展示活動については、国立科学博物館コラボミュージアムの入場者数が延1万人を超え、特別展や企画展も日田市の歴史や文化を紹介することで、市民の興味や関心を広く集めることができた。</p> |                                |     |      |

【個別評価】

| 事業または取組名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 展示資料・設備の充実並びに展示方法の工夫                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 平成31年度事業費 | 1,216千円 | 担当課 | 博物館 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------|-----|-----|
| <p>事業目的・内容</p> <p>〔目的〕<br/>見やすくわかりやすい展示となるよう展示方法を工夫し、必要に応じて新たな資料の収集・購入やメンテナンスなど展示資料の充実を図る。</p> <p>〔内容〕<br/>展示や標本資料の定期的なメンテナンスに加え、来館者にリピーターとなってもらえるような展示室の計画的なリニューアルに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンス委託料 645,150円</li> <li>・燻蒸委託料 464,400円</li> <li>・水槽管理委託料 105,600円</li> <li>計 1,215,150円</li> </ul> | <p>事業取組・成果・評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫・剥製など収蔵庫に保存中の標本について燻蒸処理を行った。</li> <li>・日田漁協から寄贈いただいたアユや、日田淡水魚同好会によって市内河川で採集された淡水魚などを、新たに水辺のいきものコーナーに展示した。</li> <li>・常設展示室の映像機器などの定期的な点検を実施した。</li> </ul> <p>燻蒸やメンテナンスなどを適切に行いながら、展示資料の充実を図ることができたことから評価を5とした。</p>                                                                                      | 評価        | 5       |     |     |
| 事業または取組名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 学校や公民館との連携                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 平成31年度事業費 | —       | 担当課 | 博物館 |
| <p>事業目的・内容</p> <p>〔目的〕<br/>自然や科学に関心を持つ子どもたちの育成。</p> <p>〔内容〕<br/>学校や公民館との交流及び連携した事業の実施。</p>                                                                                                                                                                                                                                    | <p>事業取組・成果・評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学<br/>こども園・保育園：8園<br/>小学校：10校<br/>高校：1校<br/>大学：3校<br/>(久留米大学、筑紫女学院大学、青山学院大学)</li> <li>・公民館：2館</li> <li>・大山層の化石を使った体験学習：大山小</li> <li>・職場体験受入：4校<br/>(三隈中、南部中、東部中、昭和学園高校)</li> </ul> <p>学校や公民館と連携した事業活動ができていることから評価を5とした。</p>                                                                           | 評価        | 5       |     |     |
| 事業または取組名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 市民自らがボランティアなどで博物館活動に参加できる体制づくり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 平成31年度事業費 | —       | 担当課 | 博物館 |
| <p>事業目的・内容</p> <p>〔目的〕<br/>市民ボランティアなど自主的に博物館活動に参加できる体制を整備する。</p> <p>〔内容〕<br/>博物館活動に参加する市民有識者やボランティアの育成を進める。</p>                                                                                                                                                                                                               | <p>事業取組・成果・評価の理由</p> <p>「恐竜展開催事業」ではボランティアを募集し、恐竜について興味や関心を持つ延14名の市民の方に「恐竜展」の案内などでの活動があった。</p> <p>この中には日本野鳥の会や日田自然愛好会の会員の方も含まれており、恐竜から鳥への進化の歩みや鳥と恐竜の共通点、市内に暮らす野鳥の種類などを専門的見地から子どもたちへ説明を行い、子どもたちの興味関心を深めることができた。</p> <p>こうした市民ボランティアの活躍などにより、3月16日(土)から5月12日(日)までの約2か月間の開催期間中に延10,399人の来館者が訪れる結果となった。市民ボランティアなどが博物館の展示活動に積極的に参加できる体制づくりを「恐竜展」では行うことができたことから、評価を5とした。</p> | 評価        | 5       |     |     |

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                   | 特別展や企画展の開催      | 平成31年度事業費     | 4,906千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課 | 博物館 |    |   |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|----|---|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>展示を通じて市民に郷土に残る自然や歴史・文化を再発見し、改めて郷土に誇りを感じてもらうとともに、大切な自然や歴史・文化を未来に伝えていく。<br><br>[内容]<br>日田市複合文化施設AOSE 1階多目的ホールにて年1回特別展を開催するほか、企画展示室において、市民に自然や歴史・文化の大切さを伝えられるよう工夫した企画展を開催する。 |                 | 事業取組・成果・評価の理由 | ・「恐竜展～国立科学博物館コラボミュージアムin日田～」の開催<br>「とりになったきょうりゅうのはなしー化石が語る恐竜進化の物語ー」<br>期日：平成31年3月16日～5月12日<br>入場者数：10,399人<br>（内、平成31年度の入場者数6,776人）<br><br>・特別展の開催<br>＊「はきものの歩みと日田下駄」<br>期日：令和元年7月13日～9月23日<br>入場者数：2,328人<br>＊特別展講演会「日田における下駄の歴史」<br>講師：市田京子氏（元日本はきもの博物館）<br>参加者数20名<br><br>・企画展の開催<br>「日田の城跡を歩く」<br>期日：令和2年2月15日～5月10日<br>（3月3日～5月10日までは、新型コロナウイルス感染防止のため休館）<br>入場者数：（2月15日～3月1日まで） 513人<br><br>多くの市民に自然や文化の大切さを伝えることができたことから、評価を5とした。 |     |     | 評価 | 5 |
|          |                                                                                                                                                                                   |                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |     |     |    |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                   | 専門的な知識を持つ学芸員の配置 | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 担当課 | 博物館 |    |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>自然や歴史を尊ぶ成熟した社会実現に役立つことを目指し、市民に開かれた積極的な博物館活動を推進する。<br><br>[内容]<br>専門的な知識を持つ学芸員の配置に努める。                                                                                     |                 | 事業取組・成果・評価の理由 | 学芸員の配置により、標本の取扱などの専門知識や技術が必要となる事業が実施できるようになったため、国立科学博物館とのコラボ事業である「恐竜展」が実現できた。また、学芸員の視点から調査研究を進めた結果、「日田下駄」や「城」をテーマとした企画展や特別展を開催することができ、日田の自然や歴史を改めて見直す機会を創出することができた。<br><br>学芸員を中心とした充実した博物館活動を実施することができたことから、評価を5とした。                                                                                                                                                                                                                    |     |     | 評価 | 5 |
|          |                                                                                                                                                                                   |                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |     |     |    |   |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆来館者の新たな発見につながる情報を発信できるよう部分リニューアルを図るなど常設展示を工夫していく。
- ◆ホームページや広報などを使った情報発信を活発に行っていくことにより、学校や公民館との連携をさらに深めていく。
- ◆将来的に市民が主体となった博物館運営を展開できるよう、多くの市民に博物館ボランティアへの参加をよびかけていく。



特別展の団体解説

|          |                                                                                                               |                                |     |      |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|------|
| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                             | 社会教育の充実                        | 担当課 | 博物館  |
|          | Ⅲ-第1                                                                                                          | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |      |
|          | 5                                                                                                             | 博物館の機能の充実                      | 平均値 | 総合評価 |
| 【主な取組】   | ② 所蔵資料の整備・充実                                                                                                  |                                | 5   | A    |
| 評価理由     | 市民から寄贈された昆虫・植物標本等の同定・整理・リスト化を計画的に進め、これまで博物館に展示されていなかった新たな化石を購入したことで、令和2年度に実施する予定の常設展示室リニューアルに向けた整備を進めることができた。 |                                |     |      |

【個別評価】

|          |                                                              |               |               |                                                                                                                                          |     |     |    |   |
|----------|--------------------------------------------------------------|---------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|----|---|
| 事業または取組名 |                                                              | 博物館収蔵標本の整理・活用 | 平成31年度事業費     | 132千円                                                                                                                                    | 担当課 | 博物館 |    |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>博物館に保管されている昆虫や植物・化石・岩石鉱物・剥製などの標本の適切な管理と資料の整理及び活用を図る。 |               | 事業取組・成果・評価の理由 | ・化石・昆虫、植物標本の同定・整理 延20日間                                                                                                                  |     |     | 評価 | 5 |
|          | [内容]<br>学芸員補助者を雇用し、未整理の標本を整備するとともに、資料のデータ化を進めていく。            |               |               | 博物館標本資料について、植物や昆虫についての知識を持つ有識者を学芸員補助者として雇用し、植物・昆虫標本の同定および整理・リスト化を進めることができた。<br><br>収集または寄贈を受けた標本資料の同定・整理・リスト化の作業が順調に進められていることから、評価を5とした。 |     |     |    |   |
| 事業または取組名 |                                                              | 収蔵資料の充実       | 平成31年度事業費     | 278千円                                                                                                                                    | 担当課 | 博物館 |    |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>展示室のリニューアルに向けて、資料の充実を図る。                             |               | 事業取組・成果・評価の理由 | ・平成31年度購入資料<br>直角石、ウミサソリ、両生類、三葉虫化石 計4点                                                                                                   |     |     | 評価 | 5 |
|          | [内容]<br>新たな資料を計画的に購入する。                                      |               |               | 令和2年度の部分リニューアルに向けて、これまで展示されていなかった化石の購入を行った。<br><br>展示に向けた資料の充実を図ることができたことから、評価を5とした。                                                     |     |     |    |   |

【課題と今後の方向性】

◆今後も博物館機能の充実に向け、標本資料の収集に努めるとともに、市民から寄贈を受けた貴重な資料の同定や整理、データ化を進めていく。



博物館内の展示の様子

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                                                                                 | 社会教育の充実                        | 担当課 | 博物館  |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                                                                              | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |      |
|          | 5                                                                                                                                                                                                                                 | 博物館の機能の充実                      | 平均値 | 総合評価 |
| 【主な取組】   | ③ 体験学習の場の提供及び調査研究の実施                                                                                                                                                                                                              |                                | 5   | A    |
| 評価理由     | <p>子ども向けの体験プログラムである自然探検隊では、昨年以上に多くの参加者数となった。子どもたちや一般市民を対象とした自然教室を開催したほか、小中学生自然研究作品展も開催し、多くの市民が参加し盛況であった。</p> <p>天瀬町の自然調査を順調に進めるとともに、大山町の自然をまとめた報告書を発行することができた。</p> <p>また、博物館の活動成果を年報（平成30年度版）にまとめて発行し、市民に博物館活動の情報提供を行うことができた。</p> |                                |     |      |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 子ども向けの体験学習プログラムの作成                                                                                     | 平成31年度事業費     | 68千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 担当課 | 博物館 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕<br/>自然・科学に関心を持つ子どもたちの育成に努める。</p> <p>〔内容〕<br/>子どもたちが楽しく学べる体験学習プログラムなどを作成、活用する。</p>              | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・平成29年度より自然探検隊プログラムを作成し、市内の小中学生を対象に隊員を募集し、実施した。<br/>           (1回目)中津江村カシノキツル谷<br/>           (2回目)前津江町シオジ原生林<br/>           (3回目)小野谷・小鹿田焼<br/>           (4回目)天瀬町馬原と日田三丘<br/>           (5回目)まとめ[パネル等の作成]<br/>           延参加人数 70名</p> <p>平成30年度より、「幼児の好奇心をのばす自然博物館事業」としてネイチャーゲームの開催を年4回計画したが、恐竜展の開催など他の事業との調整のために中止したほか、3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止することになり、事業の実施ができなかった。</p> <p>「幼児の好奇心をのばす自然博物館事業」は事業を実施できなかったが、「自然探検隊」では前年度以上の参加者があり、成果があがったことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5   |
| 事業または取組名 | 自然や科学に関する各教室の開催                                                                                        | 平成31年度事業費     | 808千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | 博物館 |
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕<br/>自然環境や生物多様性の保全を普及啓発すること。</p> <p>〔内容〕<br/>一般市民向けの自然観察会などの教室のほか、小・中学生を対象とした夏休みの自然教室などの実施。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・一般対象イベント 参加者数 延163名<br/>           ＊自然観察会(2回・29名)、探鳥会(3回・68名)、星空観察会(2回・66名)</p> <p>・夏休み自然教室 参加者数 延83名<br/>           ＊昆虫教室(1回・15名)、干潟観察会(2回・34名)、地質探検教室(1回・4名)、植物昆虫同定会(19名)、木材で恐竜をつくってみよう(1回・20名)</p> <p>・科学実験教室<br/>           ＊5月～2月までの延10回開催 参加者数384名</p> <p>・小中学生自然研究作品展(10月4日～10月14日)<br/>           出展数 211点 期間中の入館者数 714名</p> <p>自然・科学教室は延630人の参加があり、小中学生自然研究作品展も出展者が昨年に引き続き200人を超えるなど多くの参加者があったことから、評価を5とした。</p>                                    | 評価  | 5   |



|          |                                                                                                        |               |               |                                                                                                                                                                                                                                         |     |     |    |   |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|----|---|
| 事業または取組名 |                                                                                                        | 自然調査研究活動と情報発信 | 平成31年度事業費     | 800千円                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課 | 博物館 |    |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>市民団体等と博物館が協力し、市内に残る自然の環境調査を行い、得られた資料の研究活動とその成果を市民に公開し、情報発信に努める。                                |               | 事業取組・成果・評価の理由 | ・天瀬町馬原の自然調査(3月19日実施)                                                                                                                                                                                                                    |     |     | 評価 | 5 |
|          | [内容]<br>・天瀬町の自然環境調査や「大山町の自然報告書」の刊行を郷土日田の自然調査会に委託し、市民サービス協働事業として実施。<br><br>・天瀬町の地質調査や有田川(日ノ本町)の埋没樹木の調査。 |               |               | ・有田川の河川改修工事現場から出土した埋没樹木の調査実施。<br>*阿蘇4火砕流に伴う埋没樹木の発見は市内3例目。<br><br>・郷土日田の自然調査会に委託し、天瀬町の自然環境調査を実施するとともに、「大山町の自然報告書」を発行した。<br><br>大山町の自然調査報告書の発行など自然環境調査事業を進めることができ、有田川で発見された埋没樹木が国立科学博物館で調査研究が進められることが決定するなど、順調に日田の自然調査が進められたことから、評価を5とした。 |     |     |    |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                        | 博物館年報の発行      | 平成31年度事業費     | 112千円                                                                                                                                                                                                                                   | 担当課 | 博物館 |    |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>博物館事業活動などを中心に記録・広報する。                                                                          |               | 事業取組・成果・評価の理由 | 平成30年度事業の概要などをまとめた年報(平成30年度版)を発行した。<br>・年報印刷部数180部<br>・配布先 市内小中学校・図書館・公民館ほか                                                                                                                                                             |     |     | 評価 | 5 |
|          | [内容]<br>日田市立博物館年報の発行を行う。                                                                               |               |               | 年報を発行することで、博物館が行っている活動等を広く周知することができたことから、評価を5とした。                                                                                                                                                                                       |     |     |    |   |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                       | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                                                  |
|---------------------------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|------------------------------------------------------------------|
|                           |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                                                               |
| 博物館入館者数の確保(12,000人の確保を目標) | 13,490人         | 12,000人            | 12,000人         | 14,611人  | 平成31年度は、新型コロナウイルス防止対策のため3月が休館となり、入館者数は昨年には及ばなかったが、目標値を上回ることができた。 |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆引き続き、各種の自然・科学教室を開催するほか、体験学習プログラムに基づいて「自然探検隊」や「科学実験にチャレンジ事業」に取り組む。
- ◆自然環境調査事業については、大山町の自然展を開催するほか、天瀬町の自然調査を実施する。
- ◆市民に博物館活動を知ってもらうため、今後も毎年博物館年報を発行する。



科学実験教室

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                                                                                          | 社会教育の充実                        | 担当課 | 淡窓図書館 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                                                                                       | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 6                                                                                                                                                                                                                                          | 図書館機能の充実と読書活動の推進               | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①蔵書の新陳代謝の推進と蔵書管理の効率化及び利用者サービスの充実                                                                                                                                                                                                           |                                | 4.8 | A     |
| 評価理由     | 利用者ニーズを的確に把握し、図書資料の適切な購入と除籍による蔵書の新陳代謝を進め、蔵書管理の効率化を図るとともに、平成29年10月からの窓口業務委託により、司書有資格者の確保によるレファレンスの質の充実・向上や、開館時間の延長、祝日開館を実施して利用者へのサービス向上に努めているものの、図書貸出人員及び図書貸出冊数実績は減少傾向にある。新型コロナウイルス感染予防対策として令和2年3月に休館した影響もあり、昨年度と比較すると、それぞれ6.8%減、8.4%減となった。 |                                |     |       |

【個別評価】

|          |                                                                                                                                 |                |               |                                                                                                                       |     |       |   |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|---|
| 事業または取組名 |                                                                                                                                 | 図書館用資料整備事業     | 平成31年度事業費     | 9,633千円                                                                                                               | 担当課 | 淡窓図書館 |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>利用者ニーズに合わせた適切で計画的な図書資料の購入と除籍等、資料の収集・整備・保存を行い、図書館の機能の充実を図る。                                                              |                | 事業取組・成果・評価の理由 | H31年度資料購入数(DVD等含む): 5,434冊<br>H31年度末蔵書数 :150,926冊                                                                     |     | 評価    | 5 |
|          | [内容]<br>図書の購入、登録及び除籍                                                                                                            |                |               | 選書モニターや利用者からのリクエストを参考に利用者ニーズに対応した図書資料購入を行い、また利用の少ない資料の除籍を進め、蔵書の新陳代謝の推進に努めたことから、評価を5とした。                               |     |       |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                 | 窓口業務委託事業       | 平成31年度事業費     | 29,756千円                                                                                                              | 担当課 | 淡窓図書館 |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>開館時間の延長、祝日開館の実施や司書有資格者による安定したレファレンスサービスの提供など利用者へのサービスの向上を図る。                                                            |                | 事業取組・成果・評価の理由 | H30年度レファレンス件数:3,990件<br>H31年度レファレンス件数:4,264件(+6.9%)                                                                   |     | 評価    | 5 |
|          | [内容]<br>窓口業務の委託<br>※レファレンスサービス<br>図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報そのもの、あるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務。 |                |               | 司書有資格者9人中7人<br><br>窓口業務の委託により、司書有資格者が確保できたとともに、開館時間10時からを9時からに延長し、祝日開館の実施や、レファレンス件数の増加により利用者サービスの向上が図られたことから、評価を5とした。 |     |       |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                 | リサイクル会         | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                     | 担当課 | 淡窓図書館 |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>古くなり利用されない図書資料の再利用と適切で計画的な除籍を推進する。                                                                                      |                | 事業取組・成果・評価の理由 | ・春のこども読書週間(児童書・絵本など)<br>210人、1,304冊配布(対前年▲518冊)<br>・秋の読書週間(一般書、雑誌など)<br>446人、3,971冊配布(対前年▲124冊)                       |     | 評価    | 4 |
|          | [内容]<br>春と秋の読書週間中にリサイクル会を開催し、希望者に無償で図書を配布する。                                                                                    |                |               | 平成30年度と比較して全体的な利用者数の減少傾向の影響もあり、886人から656人に減少したことから、評価を4とした。                                                           |     |       |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                 | インターネットによる情報提供 | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                     | 担当課 | 淡窓図書館 |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>利用者ニーズに合わせた情報提供などインターネットサービスの充実させることで図書館利用の促進を図る。                                                                       |                | 事業取組・成果・評価の理由 | H29年度利用件数:331,192件<br>H30年度利用件数:355,835件(+ 7.4%)<br>H31年度利用件数:425,482件(+19.6%)                                        |     | 評価    | 5 |
|          | [内容]<br>蔵書検索及び予約、メールによる予約本の貸出可能の連絡、新刊・新着本のお知らせ、既読した本の記録、読みたい本のリストを作るマイ本棚などのサービス及び情報の提供。                                         |                |               | 利用者がパソコン等から蔵書検索や本の予約等のインターネットサービスの利用が年々増加しており、図書館の利用促進が図られていることから、評価を5とした。                                            |     |       |   |



【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名    | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |            |
|--------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|------------|
|        |                 |                    |                 | 達成値      | 内容         |
| 図書貸出人員 | 53,418人         | 55,860人            | 57,500人         | 49,181人  | 1年間の貸出延べ人数 |
| 図書貸出冊数 | 243,230冊        | 258,700冊           | 269,000冊        | 214,633冊 | 1年間の貸出冊数   |

【課題と今後の方向性】

◆個別の事業については概ね順調に進捗しているものの、人口減少や若者の読書離れにより、3月の新型コロナウイルス感染症対策による休館期間を除いた4月から2月の11か月間の図書貸出人員及び図書貸出冊数は年々減少傾向にあるため、図書資料の整備やレファレンスを充実させ、利用者の増加につながるサービスの提供を行っていく。

|          |                                                                                                                                                                              |                                |     |       |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                            | 社会教育の充実                        | 担当課 | 淡窓図書館 |
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                         | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 6                                                                                                                                                                            | 図書館機能の充実と読書活動の推進               | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ②施設利用活用の促進と各種グループ等の活動支援                                                                                                                                                      |                                | 4   | B     |
| 評価理由     | <p>広報ひた、図書館だより、ホームページ等による情報の提供やイベントの開催、また、自主活動グループやおはなし会へ活動場所の提供や、会議室に行事が入っていないときに「学習室」として開放し、多くの方から利用されたことにより、広く市民に施設の活用を促すとともに各種活動の支援を推進することができたが、イベント時の来館者は前年に比べ減少した。</p> |                                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 情報提供及びPRの推進と図書館活用の促進                                                                                                                            | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 担当課 | 淡窓図書館 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>リピーターや新規利用者を確保する。</p> <p>【内容】<br/>広報ひた、図書館だより、ホームページなど通して各種の情報提供、施設利用のPRを展開し魅力ある図書館づくりに取り組む。<br/>会議室に行事が入っていないときには「学習室」として開放する。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>広報ひたへの掲載 : 1回/月<br/>図書館だより発行 : 1回/月<br/>春のこども読書週間 : 延べ来館者数419人<br/>夏休みイベント : 延べ来館者数519人<br/>秋の読書週間 : 延べ来館者数702人<br/>イベント時来館者計 1,640人<br/>(対前年▲134人)</p> <p>会議室開放<br/>年間開放日: 222日、利用者数: 2,385人</p> <p>イベントや新着本の案内等を広報ひた毎月1日号や、毎月発行の図書館だよりに掲載するとともに、年間を通して各種企画を行いながら、春のこども読書週間、夏休み、秋の読書週間にイベントを開催するなど、市民に図書館の活用を促すことができたが、イベント時来館者数については、イベントの内容にもよるが、前年の1,774人から1,640人に減少したことから評価を4とした。</p> | 評価  | 4     |
|          |                                                                                                                                                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |       |
| 事業または取組名 | ボランティア及び自主活動グループの支援と連携の促進                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 担当課 | 淡窓図書館 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>ボランティアや自主活動グループに対する活動支援及び連携・協力を推進する。</p> <p>【内容】<br/>・各グループへ図書館資料を利用した活動支援や定例会の場を提供する。<br/>・おはなし会のボランティアグループの活動の場を提供する。</p>         | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>【自主活動グループ】<br/>古文書講読会: 8回、70人参加<br/>白萩句会 : 10回、53人参加</p> <p>【おはなし会】<br/>おはなし児童 : 10回、160人参加<br/>そらまめの会 : 11回、178人参加</p> <p>ボランティアグループによるおはなし会は例年通りの活動が行われ、ボランティアに対する活動支援及び連携や協力を推進することができた。<br/>自主活動グループ等については、構成員の高齢化により3団体から2団体に減少し、また、他の自主活動グループへの図書館利用等のPR等をしていないことから評価を4とした。</p>                                                                                                      | 評価  | 4     |
|          |                                                                                                                                                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |       |

【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◆ 広報ひた、図書館だより、ホームページ等による情報の提供やイベント等により図書館利用の促進が図られたが、今後も、積極的に情報提供を行うとともに、イベント内容の充実や、イベント開催以外の時期についてもリピーターや新規利用者の確保に努める。 |
| ◆ 自主活動グループについては構成員の高齢化など今後の活動についての課題もあるが、おはなし会のボランティアグループとともに、今後も継続して活動の支援、連携、協力を努める。                                   |

|          |                                                                                                                                                                     |                                |     |       |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                   | 社会教育の充実                        | 担当課 | 淡窓図書館 |
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 6                                                                                                                                                                   | 図書館機能の充実と読書活動の推進               | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ③公民館との連携による遠隔地サービスの充実                                                                                                                                               |                                | 4   | B     |
| 評価理由     | 遠隔地図書貸出事業については、レファレンスによる貸出や返却のみの利用もできることから、利用者実数や利用冊数は徐々に増加傾向にあったが、公民館への制度周知不足や新型コロナウイルス感染予防対策として令和2年3月に休館し、サービスを一時中断したことなどから利用が減少したものの、来館できない遠隔地の利用者へのサービス向上は図られた。 |                                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名                                                               |                                                                              | 遠隔地図書貸出事業 |                                                                                                                                     | 平成31年度事業費     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 96千円 |  | 担当課 |    | 淡窓図書館 |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--|-----|----|-------|----|---|------|--------|-----|----|-----|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|------|------|-----|-----|------|------|-----|-----|------|-----|
| 事業目的・内容                                                                | [目的]<br>振興局及び振興センター管内の地区公民館10館を拠点に淡窓図書館が所蔵する図書の貸し出しを行い、遠隔地の利用者へのサービス向上を図るもの。 |           |                                                                                                                                     | 事業取組・成果・評価の理由 | ・配送及び回収回数<br><br>振興センター管内：9回<br><br>振興局管内：48回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |  |     |    |       | 評価 | 4 |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
|                                                                        | [内容]<br>振興センター及び振興局管内の各公民館へ貸出す図書の配送及び回収の委託                                   |           |                                                                                                                                     |               | <table><tr><th>年度</th><th>利用者実数</th><th>利用冊数</th><th>うち返却のみ</th></tr><tr><td>H25</td><td>8人</td><td>64冊</td><td></td></tr><tr><td>H26</td><td>10人</td><td>82冊</td><td>16冊</td></tr><tr><td>H27</td><td>12人</td><td>106冊</td><td>65冊</td></tr><tr><td>H28</td><td>24人</td><td>372冊</td><td>267冊</td></tr><tr><td>H29</td><td>25人</td><td>439冊</td><td>117冊</td></tr><tr><td>H30</td><td>32人</td><td>683冊</td><td>106冊</td></tr><tr><td>H31</td><td>24人</td><td>602冊</td><td>63冊</td></tr></table> |      |  |     | 年度 | 利用者実数 |    |   | 利用冊数 | うち返却のみ | H25 | 8人 | 64冊 |  | H26 | 10人 | 82冊 | 16冊 | H27 | 12人 | 106冊 | 65冊 | H28 | 24人 | 372冊 | 267冊 | H29 | 25人 | 439冊 | 117冊 | H30 | 32人 | 683冊 | 106冊 | H31 | 24人 | 602冊 | 63冊 |
|                                                                        | 年度                                                                           | 利用者実数     | 利用冊数                                                                                                                                |               | うち返却のみ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |  |     |    |       |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
| H25                                                                    | 8人                                                                           | 64冊       |                                                                                                                                     |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |  |     |    |       |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
| H26                                                                    | 10人                                                                          | 82冊       | 16冊                                                                                                                                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |  |     |    |       |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
| H27                                                                    | 12人                                                                          | 106冊      | 65冊                                                                                                                                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |  |     |    |       |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
| H28                                                                    | 24人                                                                          | 372冊      | 267冊                                                                                                                                |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |  |     |    |       |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
| H29                                                                    | 25人                                                                          | 439冊      | 117冊                                                                                                                                |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |  |     |    |       |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
| H30                                                                    | 32人                                                                          | 683冊      | 106冊                                                                                                                                |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |  |     |    |       |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
| H31                                                                    | 24人                                                                          | 602冊      | 63冊                                                                                                                                 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |  |     |    |       |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |
| ※対象となる公民館<br>振興センター管内<br>東有田、小野、大鶴、夜明、五和<br>振興局管内<br>天瀬、大山、前津江、中津江、上津江 |                                                                              |           | レファレンスによる貸出や返却のみの利用もできることから、利用者実数や利用冊数は平成30年度まで徐々に増加していたが、平成31年度は公民館への制度周知不足などがあり、利用が減少した。なお、3月の臨時休館による影響を除いても利用が減少していることから評価を4とした。 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |  |     |    |       |    |   |      |        |     |    |     |  |     |     |     |     |     |     |      |     |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |      |     |     |      |     |

【課題と今後の方向性】

◆本事業の対象地域の人口からみると、利用者が一部の人に限られているため、多くの人に利用してもらうため、現在行っている年度当初のチラシ配布に加えて対象公民館の公民館主事へ説明を行い、事業についての理解を得た上で、新刊図書情報の提供など周知回数を増やしていく。

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 社会教育の充実                        | 担当課 | 淡窓図書館 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 図書館機能の充実と読書活動の推進               | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ④学校及び福祉保健関係課との連携                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                | 4.5 | A     |
| 評価理由     | <p>巡回図書については、利用している小学校からは好評を得ており、子どもの読書活動の推進が図られた。また、学校司書との合同研修会の開催や学校司書向けの情報誌「bridge」を発行することで学校図書館と更なる連携が図られた。また、図書館見学や職場実習を積極的に受け入れることで、子どもたちに図書館について興味を持ってもらうことができた。</p> <p>ブックスタート事業については、7か月児健診時に受診者全員に絵本を配布できており、配布後に図書館で行う読み聞かせ会の参加者は3割程度であるが、絵本の配布と読み聞かせにより、親子のコミュニケーションづくりの支援を行うことができた。</p> |                                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名                                                                                                             |                                                                                                                                                                                  | 学校図書館等との連携強化 |  | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 担当課 | 淡窓図書館 |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|---------------|--|--|----|-------|-----------|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|------|
| 事業目的・内容                                                                                                              | [目的]<br>学校図書室と連携することにより児童生徒の読書向上を推進するとともに、図書館見学等を積極的に受入れることで、子どもたちの図書館活用の促進を図る。                                                                                                  |              |  | 事業取組・成果・評価の理由 | ・巡回図書:13校<br>1校当たり100冊の貸し出しを年4回行い、児童がより多くの本を読む機会を提供できた。<br><br>・情報誌「bridge」発行:3回<br><br>・合同研修会:1回、27人<br><br>・図書館見学:17件、641人 職場体験 :7件、20人<br><br>以上、学校図書館との連携により子どもたちの図書館活用を促進できたことから、評価を5とした。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |     |       |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
|                                                                                                                      | [内容]<br>・小学校図書室と連携を取り、図書館の本を巡回図書とすることで、より多くの種類の本を読む機会を児童に与える。<br>・学校の図書室担当者との情報交換、情報提供を行うための情報誌「bridge」を年4回程度発行する。<br>・スキルアップ等を目的とした学校と図書館の合同研修会を年1回行う。<br>・図書館見学や職場実習を積極的に受入れる。 |              |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
| 事業または取組名                                                                                                             |                                                                                                                                                                                  | ブックスタート事業    |  | 平成31年度事業費     | 597千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 担当課 | 淡窓図書館 |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
| 事業目的・内容                                                                                                              | [目的]<br>絵本をツールとした読み聞かせによる親子のコミュニケーションづくりを支援するとともに、配布した絵本の活用と正しい読み聞かせの啓発を行うことにより、子育て世代の図書館利用の促進を図る。                                                                               |              |  | 事業取組・成果・評価の理由 | 本事業用絵本購入数:729冊<br><table border="1"><tr><th colspan="3">絵本の配布冊数(1人1冊)</th></tr><tr><th>年度</th><th>健診受診者</th><th>読み聞かせ会参加者</th></tr><tr><td>H28</td><td>474冊</td><td>146冊</td></tr><tr><td>H29</td><td>442冊</td><td>144冊</td></tr><tr><td>H30</td><td>460冊</td><td>154冊</td></tr><tr><td>H31</td><td>435冊</td><td>126冊</td></tr></table><br>※健診受診時に1冊、読み聞かせ会参加時に1冊を配布(H31配布冊数:561冊)<br><br>健診時に絵本を配布し、対象者のほぼ全員に行き渡っていると考えるが、子育て支援センターと連携して開催している読み聞かせ会の参加率は3割程度となっていることから評価を4とした。 |     |       | 絵本の配布冊数(1人1冊) |  |  | 年度 | 健診受診者 | 読み聞かせ会参加者 | H28 | 474冊 | 146冊 | H29 | 442冊 | 144冊 | H30 | 460冊 | 154冊 | H31 | 435冊 | 126冊 |
|                                                                                                                      | 絵本の配布冊数(1人1冊)                                                                                                                                                                    |              |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
| 年度                                                                                                                   | 健診受診者                                                                                                                                                                            | 読み聞かせ会参加者    |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
| H28                                                                                                                  | 474冊                                                                                                                                                                             | 146冊         |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
| H29                                                                                                                  | 442冊                                                                                                                                                                             | 144冊         |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
| H30                                                                                                                  | 460冊                                                                                                                                                                             | 154冊         |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
| H31                                                                                                                  | 435冊                                                                                                                                                                             | 126冊         |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |
| [内容]<br>7か月児健診時に赤ちゃん向けの絵本と赤ちゃんの本を楽しむ際のアドバイスや情報等をセットした「ブックスタートパック」を配布するとともに、絵本を使った読み聞かせやエプロンシアターなどを行う読み聞かせ会を図書館で開催する。 |                                                                                                                                                                                  |              |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |       |               |  |  |    |       |           |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |      |      |

【課題と今後の方向性】

- ◆学校図書室への巡回図書は、児童が本に親しむ機会の提供として有効であり、学校の要望なども取り入れながら今後も継続していく。
- ◆引き続き、学校司書との合同研修会の開催や情報誌「bridge」の年4回の発行、授業に使用する資料貸し出しや図書館の活用方法について紹介を行うなど、学校図書室との更なる連携を図っていく。
- ◆ブックスタート事業については、図書館への来館を促すため、今後も読み聞かせ会の図書館での開催を継続していく。

| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                      | 社会教育の充実                        | 担当課 | 淡窓図書館 |
|----------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----|-------|
|          | Ⅲ-第1                                                                   | 地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成 |     |       |
|          | 6                                                                      | 図書館機能の充実と読書活動の推進               | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ⑤魅力ある施設環境の提供と利便性の向上による利用の促進                                            |                                | 5   | A     |
| 評価理由     | 築後31年を経過し老朽化している施設については、適宜必要な補修・改修等を行うことで、施設の延命対策を講じるとともに、適正な維持管理に努めた。 |                                |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 施設補修・改修の推進                                                                                                                                                                                                        | 平成31年度事業費     | 8,906千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | 淡窓図書館 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>施設管理の徹底に努め、現施設において必要とされる補修・改修等を実施し、施設の適正な維持と利用環境整備を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館改修事業:6,529千円</li> <li>・図書館施設ブロック塀撤去等事業:1,738千円</li> <li>・図書館管理費修繕料:639千円</li> </ul> | 事業取組・成果・評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館改修事業<br/>空調機のオーバーホールを実施し、施設の適正な維持及び利用者の安全性と快適性を確保することができた。</li> <li>・図書館施設ブロック塀撤去等事業<br/>建築基準法に不適合と判定された、図書館東側駐車場と民家との境界に設置されている7段積ブロック塀の上部を撤去し、安全性を確保することができた。</li> <li>・図書館管理費修繕料<br/>図書館内のブラインド、エレベーター機械室の換気扇等の修繕を行い、館内環境を整備した。</li> </ul> <p>本館は平成元年3月に竣工し、築後31年を経過しており、施設・設備は老朽化しているが、施設・設備の補修や改修を行うことで、図書館利用者の安全性と利便性を確保することができたことから評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |

【課題と今後の方向性】

|                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------|
| ◆施設・設備の小規模な補修・改修を行っているが、今後の図書館に必要とされる機能や、安全で快適に利用できる施設等の整備についても検討していく。 |
|------------------------------------------------------------------------|

| Ⅲ 社会教育の充実            |   |                  |   |                | 通し番号 | 担当課     | 総合<br>評価 |
|----------------------|---|------------------|---|----------------|------|---------|----------|
| 第2 誰もがスポーツに親しめる環境づくり |   |                  |   |                |      |         |          |
|                      | 1 | スポーツ・レクリエーションの振興 | ① | スポーツ実施率の向上     | 40   | スポーツ振興課 | A        |
|                      |   |                  | ② | 競技スポーツの振興      | 41   | スポーツ振興課 | A        |
|                      |   |                  | ③ | スポーツによる交流人口の増加 | 42   | スポーツ振興課 | A        |
|                      |   |                  | ④ | 施設利用の向上        | 43   | スポーツ振興課 | A        |
|                      |   |                  | ⑤ | スポーツボランティアの振興  | 44   | スポーツ振興課 | A        |

| 教育行政実施方針 | Ⅲ 社会教育の充実                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課 | スポーツ振興課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|
|          | Ⅲ－第2 誰もがスポーツに親しめる環境づくり                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |         |
|          | 1 スポーツ・レクリエーションの振興                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 平均値 | 総合評価    |
| 【主な取組】   | ① スポーツ実施率の向上                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 5   | A       |
| 評価理由     | <p>市民の誰もがができる生涯スポーツの普及については、スポーツ推進委員協議会と連携し、手軽に取り組める運動の普及や、機会の創出に取り組むことができた。市のスポーツイベントの1つである「水郷ひたチャレンジウォーク」については、平成30年度にコースや参加料を大幅に見直して以来、参加者数の維持につなげることができた。</p> <p>また、3月の「ひなまつり健康マラソン大会」を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、申込者数は、過去最高の1,933人であった。</p> <p>中学校部活動における外部指導者の活用については前年に引き続き、学校現場と連携して取り組むことができた。</p> |     |         |

【個別評価】

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         |                        |     |   |               |  |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|--|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------|-----|---|---------------|--|
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 市民の誰もがができる生涯スポーツの普及 |  | 平成31年度事業費     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 251千円   |                        | 担当課 |   | スポーツ振興課       |  |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>市民の運動・スポーツ実施率の向上を図るため、気軽に参加できる生涯スポーツ等の普及に努めること。<br><br>[内容]<br>スポーツ推進委員協議会等の関係団体と協働し、ミニスポーツやニュースポーツ、軽スポーツなどと呼ばれる種目の普及や、スポーツデイ、県民すこやかスポーツ祭などの行事の実施、市の主催する各種大会で参加しやすい環境づくりに努める。<br><br>・第25回水郷ひたチャレンジウォーク<br>・第34回日田市少年少女交流駅伝大会<br>・体力テスト<br>・スポーツデイ<br>・県民すこやかスポーツ祭行事の協力<br>・軽スポーツ用具貸出                                                                                                                          |                     |  | 事業取組・成果・評価の理由 | スポーツ推進委員協議会等の関係団体と協働し、下記の事業を実施した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |                        | 評価  | 5 |               |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               | 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |         | 開催日                    |     |   | 参加者数          |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               | 第25回水郷ひたチャレンジウォーク                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         | 令和元年11月3日              |     |   | 704名          |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               | 第34回日田市少年少女交流駅伝大会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         | 令和2年1月19日              |     |   | 17チーム<br>119名 |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               | 体力テスト                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |         |                        |     |   | 104名          |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               | 前津江地区<br>光岡小学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |         | 令和元年7月14日<br>令和元年9月22日 |     |   |               |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               | スポーツデイ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |         | 令和元年10月14日             |     |   | 74名           |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               | 県民すこやかスポーツ祭行事の協力                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |         | ※市内参加行事<br>9種目9行事      |     |   | 652名          |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               | 軽スポーツ用具貸出                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |         | —                      |     |   | 56件           |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                     |  |               | 市民に対して、スポーツや運動に親しむ機会の提供について、全事業で取り組むことができたため、評価を5とした。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |         |                        |     |   |               |  |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 市民スポーツの設定と定着        |  | 平成31年度事業費     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 7,689千円 |                        | 担当課 |   | スポーツ振興課       |  |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>市民の運動・スポーツ実施率の向上のため、市民が親しみやすい「自転車」や「川」などについて、競技振興とともに手軽にできるスポーツとしての定着を図る。<br><br>[内容]<br>全国的に愛好者も増加し、健康づくりの視点からも注目されている自転車競技、手軽にできる運動・スポーツとして競技人口の多いマラソン競技、水郷として歴史と実績のあるボート競技等のスポーツ大会を実施し、市民のスポーツ実施率の向上やスポーツ振興を図る。<br><br>・第6回椿ヶ鼻ヒルクライムレース大会<br>奥日田地域の地形や自然を生かした、ヒルクライムレースの実施<br><br>・全国市町村交流レガッタ日田大会<br>全国から市民クルーが日田市に集結し、ボート競技を通じた交流大会<br><br>・第21回天領日田ひなまつり健康マラソン大会<br>ひなまつり期間中の豆田町など、春の日田の街を駆け抜けるマラソン大会の実施 |                     |  | 事業取組・成果・評価の理由 | ・第6回椿ヶ鼻ヒルクライムレース大会<br>(併催：第4回JBCF椿ヶ鼻ヒルクライム)：参加者 403名<br>第3回以降、実業団の選手の参加もあり、市民レーサーの参加も増え、自転車競技の関心を高める取組として日田市における自転車競技普及の一翼を担うができている。<br><br>・全国市町村交流レガッタ日田大会<br>令和元年9月28日・29日<br>※26市町村124クルー参加 1,006名<br>※日田市9クルー72名<br>※ボート・オール購入費補助(日田市ボート協会)<br>(ボート6艇、オール18本)<br><br>・第21回天領日田ひなまつり健康マラソン大会<br>令和2年3月8日<br>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止<br>※エントリー数は過去最高の1,933人<br><br>自転車・レガッタ・マラソンともに市民スポーツとしての定着に向けた取組が進められた。ヒルクライム・マラソンにおいては参加者数が高い水準で確保できており、レガッタ大会に関しては全国から1,000人以上の参加者を集め、市民へのPR、市民のスポーツ実施率の向上にも貢献したことから評価を5とした。 |         |                        | 評価  | 5 |               |  |



|          |                                                                                                                                                                                                                                                  |                        |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |         |   |  |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|---|--|
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                  | 中学校部活動における地域指導者の活用の円滑化 | 平成31年度事業費     | 480千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | スポーツ振興課 |   |  |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>中学校体育部活動の充実により、生涯にわたって運動やスポーツを続けていく意欲を持つ子供の育成を行うこと。<br><br>[内容]<br>中学校運動部活動の充実のため、必要に応じて部活動外部指導者(地域スポーツ指導者)の活用を図る。<br>・中学校部活動外部指導者謝礼の支給                                                                                                  |                        | 事業取組・成果・評価の理由 | ・中学校部活動外部指導者謝礼の支給<br>指導者謝礼 24名(年額20,000円×24名)<br><br>前年に引き続き、学校現場と連携し中学校の体育部活動の外部指導者として24名の活用が図られたことから評価を5とした。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     | 評価      | 5 |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                  |                        |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |         |   |  |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                  | スポーツ推進委員協議会活動の充実       | 平成31年度事業費     | -                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 担当課 | スポーツ振興課 |   |  |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>市民のスポーツ実施率の向上を図るため、その一翼を担うスポーツ推進委員の活動の活性化を図るもの。<br><br>[内容]<br>スポーツ推進委員協議会との連携を強化して、手軽な運動内容などの普及、機会の創出に関する研究協議を推進し、協議会が主体となるスポーツデイやチャレンジウォーク、その他の活動を協働して推進していく。<br><br>○スポーツ推進委員協議会活動<br>・協議会主催事業等<br>・会議・研修会<br>・各種イベント協力・協賛<br>・その他派遣等 |                        | 事業取組・成果・評価の理由 | スポーツ推進委員協議会活動<br>・協議会主催事業<br>* 第25回水郷ひたチャレンジウォーク<br>・ス推進委員:36名 (参加:704名)<br>* 第34回日田市少年少女交流駅伝大会<br>・ス推進委員:25名 (参加:17チーム)<br>* スポーツデイ<br>・ス推進委員:5名 (参加:74名)<br>* 体力テスト<br>・ス推進委員:36名<br>(光岡小学校・前津江地区参加合計:104名)<br><br>・会議・研修会<br>* スポーツ推進委員協議会定例会 6回<br>* チャレンジウォーク専門部会会議 3回<br>* 九州地区スポーツ推進委員研究大会<br>参加延べ 33名<br>* 大分県スポーツ推進委員研究大会 参加 15名<br>* 大分県スポーツ推進委員初任者研修会 3名<br><br>・各種イベント協力・協賛<br>* 第21回天領日田ひなまつり健康マラソン大会(中止)<br>* 第6回椿ヶ鼻ヒルクライムレース<br>・ス推進委員:26名<br>* 第28全国市町村交流レガッタ日田大会<br>・ス推進委員:延べ31名<br><br>・その他派遣等<br>* 親子ふれあい活動<br>咸宜小1回(キンボール指導)<br>・ス推進委員:延べ13名<br>◎延べ ス推進委員(会議を除く) 172名<br><br>チャレンジウォークについて、平成30年度にスポーツ推進委員の専門部会を結成し、大会のコースや参加料を見直した結果、参加者の増につながったほか、平成31年度も引き続きスポーツ推進委員が中心となって市民への呼びかけの活動を行い、2年連続で700人を超える参加者を募ることができた。スポーツ推進員の活動により市民の運動・スポーツの実施率向上に概ねつながっていることから、評価を5とした。 |     | 評価      | 5 |  |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                  |                        |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |     |         |   |  |

【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名              | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                             |
|------------------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|---------------------------------------------|
|                  |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                                          |
| 成人の週1回以上のスポーツ実施率 | 41.1%           | -                  | 65%             | -        | 平成31年度調査未実施(隔年実施)<br>(参考)平成30年度市民意識調査 34.3% |
| 成人の週3回以上のスポーツ実施率 | 18.9%           | -                  | 30%             | -        | 平成31年度調査未実施(隔年実施)<br>(参考)平成30年度市民意識調査 34.3% |

【課題と今後の方向性】

◆日田市の3大スポーツイベント(椿ヶ鼻ヒルクライム・チャレンジウォーク・ひなまつりマラソン)の充実はもとより、スポーツ実施率の向上のため、引き続き誰もが気軽にできる軽スポーツの普及や、各団体(スポーツ推進員・レク協など)との連携を強化し、市民に広くスポーツの振興を図る。

通し番号 41

| 教育行政実施方針 | Ⅲ 社会教育の充実                                                                                                                                             | 担当課 | スポーツ振興課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|
|          | Ⅲ-第2 誰もがスポーツに親しめる環境づくり                                                                                                                                |     |         |
|          | 1 スポーツ・レクリエーションの振興                                                                                                                                    | 平均値 | 総合評価    |
| 【主な取組】   | ② 競技スポーツの振興                                                                                                                                           | 5   | A       |
| 評価理由     | 日田市体育協会を通じて行っている競技力向上や組織強化の取組により、第72回大分県民体育大会においては、3種目が総合優勝し、「総合3位」をキープすることができた。<br>また、スポーツ激励金・賞賜金の交付により、市民の活躍について顕彰・情報発信を行うことで、競技意欲の向上や競技力の底上げが図られた。 |     |         |

【個別評価】

| 事業または取組名 | トップアスリートの情報発信と顕彰                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 平成31年度事業費     | 5,723千円                                                                                                                                                                                                                                                              | 担当課 | スポーツ振興課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>トップアスリート等の活躍について情報発信や顕彰を行うことで、活動を活性化させ、競技の振興を図る。</p> <p>【内容】<br/>市・県の代表として参加する個人や団体に対する激励金や、全国大会等で上位の成績を収めた個人や団体に対する賞賜金の交付。<br/>トップアスリートの活躍について顕彰すると共に市民に情報発信を行い、将来的に後進のための指導者としても活躍する機運を醸成していく。</p> <p>・スポーツ激励金、賞賜金交付<br/>九州大会以上の大会に出場したチーム・個人に激励金を交付し、競技スポーツの活動意欲の増進や動機付けにつなげる。<br/>(激励金)<br/>県大会出場 1人 1,000円<br/>九州大会 1人 5,000円<br/>全国大会 1人 15,000円<br/>世界大会 1人 50,000円<br/>(賞賜金)<br/>成績により10,000～210,000円</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・激励金<br/>交付延べ人数 712名 (91団体687名、個人25名)<br/>県 11件 140名<br/>九州 50件 310名<br/>全国 54件 261名<br/>世界 1件 1名</p> <p>・賞賜金<br/>個人 1名 3団体(延べ数)</p> <p>全国大会出場者等への激励金交付により、競技意欲を高めることができている。<br/>激励金・賞賜金は交付とともに全国大会等の出場報告について、報道関係者へ周知を行い、情報発信につなげている。</p> <p>以上のことから評価を5とした。</p> | 評価  | 5       |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |               |                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |         |

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                   | 日田市体育協会の競技力向上への支援 | 平成31年度事業費     | 216千円                                                                                                                                                                                                             | 担当課 | スポーツ振興課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>日田市体育協会に属する競技団体等へ支援を行い、競技力向上と競技振興を図る。                                                                                                                     |                   | 事業取組・成果・評価の理由 | 補助金交付実績<br>＊ゴルフ講習会(実技指導) 50人<br>＊スポーツ医科学研修講座 93人<br>参加者数合計 143人                                                                                                                                                   |     | 評価      |
|          | [内容]<br>競技力向上や指導者育成などを行う日田市体育協会に対し、助成を継続して行う。<br><br>・競技力向上事業補助金交付<br>優れた選手の発掘・育成により、スポーツ振興を図るため、日田市体育協会が主催する競技力の向上を目的とした講習会等に対して補助金を交付する。                        |                   |               | 県民体育大会において、剣道、ウェイトリフティング、グラウンドゴルフの3競技が総合優勝したほか、ゴルフ競技等5競技も総合2位になるなど、各競技団体の技術向上に取り組んだ結果、県民体育大会において昨年に引き続き「総合3位」となったことから、評価を5とした。                                                                                    |     |         |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                   | 各種競技団体の連携・協働      | 平成31年度事業費     | 8,700千円                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | スポーツ振興課 |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>各種競技団体が抱える競技人口の減少、高齢化などの課題に対応するため、スポーツ少年団や競技団体など各団体と日田市が、連携と協働、意見交換や情報共有等を図ることで、課題解決と競技振興を図る。                                                             |                   | 事業取組・成果・評価の理由 | 県民体育大会総合成績 3位(H30 3位)<br>市民体育大会参加者 2,989人(H30 3,279人)                                                                                                                                                             |     | 評価      |
|          | [内容]<br>競技団体で最大規模の日田市体育協会に対して補助金を交付することで、その組織力の向上を図る。<br><br>○日田市体育協会補助金交付<br>・日田市体育協会に加盟する競技団体の組織充実と連携強化<br>・市民体育大会の開催<br>・各競技の年間を通じた競技力及び選手強化を行う各競技団体に対して補助金を交付 |                   |               | 日田市体育協会に補助金を交付し、協会が行う競技団体の組織強化及び競技力向上のための取組を支援することができた。<br><br>協会加盟の競技団体においては、各種大会において上位入賞を果たすとともに、県民体育大会においては、ウェイトリフティング・剣道・グラウンドゴルフの3競技で総合優勝、陸上・バドミントン・バレーボール・ゴルフ・カヌーの5競技で第2位となり、昨年に引き続き「総合3位」となったことから、評価を5とした。 |     |         |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名            | 現状値           | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                      |
|----------------|---------------|-------------|----------|----------|----------------------|
|                | (平成28年度)      | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容                   |
| 全国大会に出場する市民の人数 | 241名<br>(H27) | 300名        | 290名     | 261名     | ボート競技、野球、バドミントン、水泳など |
| 県民体育大会の成績率     | 3位            | 3位以内        | 3位以内     | 3位       | 総合成績                 |

#### 【課題と今後の方向性】

◆競技スポーツの振興については、人口減少や高齢化により、競技者の固定化が見受けられ、競技力の低下が懸念される。今後も、日田市体育協会との連携を図りながら、継続して競技力向上や組織力向上などの競技スポーツの支援を継続する。

◆スポーツ激励金については、競技意欲の向上にもつながることから、取組を継続する。

|          |                                                                                                                                                                                        |                   |     |         |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----|---------|
| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                                                      | 社会教育の充実           | 担当課 | スポーツ振興課 |
|          | Ⅲ－第2                                                                                                                                                                                   | 誰もがスポーツに親しめる環境づくり |     |         |
|          | 1                                                                                                                                                                                      | スポーツ・レクリエーションの振興  | 平均値 | 総合評価    |
| 【主な取組】   | ③                                                                                                                                                                                      | スポーツによる交流人口の増加    | 5   | A       |
| 評価理由     | 「椿ヶ鼻ヒルクライムレース」及び「チャレンジウォーク」については、参加者数の目標を達成できた。「ひなまつりマラソン」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、過去最高の申込者数(1,933人)を記録するなど成果が見られた。さらには全国市町村交流レガッタ日田大会を開催し、全国から1,006名が参加するなど、スポーツを通じた交流の促進が図られた。 |                   |     |         |

【個別評価】

|          |                                                                                                                                         |                            |  |               |                 |                |      |     |    |         |  |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--|---------------|-----------------|----------------|------|-----|----|---------|--|
| 事業または取組名 |                                                                                                                                         | スポーツコンベンションの振興とスポーツイベントの充実 |  | 平成31年度事業費     |                 | 4,801千円        |      | 担当課 |    | スポーツ振興課 |  |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>スポーツツーリズムやスポーツコンベンションの振興によって、日田市への誘客増加による、交流人口の増大を図るもの。                                                                         |                            |  | 事業取組・成果・評価の理由 | 《スポーツイベント参加者数》  |                |      |     | 評価 | 5       |  |
|          |                                                                                                                                         |                            |  |               |                 | H31            | H30  | 増減  |    |         |  |
|          | 第6回椿ヶ鼻ヒルクライムレース(7月28日)<br>(併催:第4回JBCF椿ヶ鼻ヒルクライム)                                                                                         |                            |  |               | 403名<br>(385名)  | 371名<br>(354名) | 32名  |     |    |         |  |
|          | 第25回水郷ひたチャレンジウォーク(11月3日)                                                                                                                |                            |  |               | 704名<br>(164名)  | 752名<br>(213名) | ▲48名 |     |    |         |  |
|          | 第21回天領日田ひなまつり健康マラソン大会(3月8日)(中止)                                                                                                         |                            |  |               | 1,933名<br>※申込者数 | 1,426名         | —    |     |    |         |  |
|          | 第28回全国市町村交流レガッタ日田大会(9月28日～29日)                                                                                                          |                            |  |               | 1,006名          | —              | —    |     |    |         |  |
|          | ( )は市外参加者数                                                                                                                              |                            |  |               |                 |                |      |     |    |         |  |
|          | チャレンジウォークでは、平成30年度に参加料やコースの見直しを行い、平成31年度も同水準の参加人数を確保できた。ひなまつり健康マラソン大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となったが、過去最高の申込者数(1,933人)を記録するなど成果が見られた。 |                            |  |               |                 |                |      |     |    |         |  |
|          | 各イベントの実施によりスポーツに親しむ機会を提供し、スポーツ活動の振興を図ることができた。<br>また、市外から参加した多くの選手等に対して、本市の観光情報発信や交流促進を図り、地域の活性化に貢献することができた。                             |                            |  |               |                 |                |      |     |    |         |  |
|          | 以上のことから評価を5とした。                                                                                                                         |                            |  |               |                 |                |      |     |    |         |  |

| 事業または取組名 | 国際スポーツ大会事前キャンプ地誘致                                                                                                                                                                                                                  | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 5,411千円       | 担当課 | スポーツ振興課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----|---------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>「第32回オリンピック競技大会(2020/東京)」事前キャンプ地誘致活動を通して日田市の認知度やイメージアップを図る。</p> <p>【内容】<br/>「第32回オリンピック競技大会(2020/東京)」を日田市にとってシティセールスの絶好のチャンスととらえ、事前キャンプの誘致を積極的に推進する。</p> <p>・フェンシング競技 トレーニングキャンプinひた<br/>・フェンシング競技 ジュニア・カデサードルキャンプ</p> | <p>・フェンシングエペ種目国際合同キャンプ<br/>【日程】令和元年9月9日(月)～19日(木)<br/>【会場】日田市総合体育館<br/>【参加者】エペ種目選手・コーチ 8ヶ国50名<br/>日本 17名 ウクライナ 14名<br/>香港 10名 ドイツ 1名<br/>アメリカ 5名 モーリシャス 1名<br/>ポーランド 1名 カナダ 1名</p> <p>【歓迎・交流行事】<br/>* 歓迎セレモニー 9月10日(火)<br/>日田市総合体育館<br/>月隈こども園・ひまわりこども園・三隈幼稚園<br/>* 市内観光 日田下駄鼻緒付け体験<br/>* 歓迎レセプション 日田もりあだ駄い<br/>* 記念品贈呈</p> <p>・フェンシングサーブル種目強化キャンプ<br/>【日程】令和元年12月25日(火)～28日(金)<br/>【会場】日田市総合体育館<br/>【参加者】40名<br/>(U-20日本代表の選手・コーチ)</p> <p>本事業によって、オリンピックイヤーにおける事前キャンプに向けた取組が進展するとともに、日田市のシティセールス・PRにもつながったことから、評価を5とした。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | 評価  | 5       |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名          | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                                       |
|--------------|----------|-------------|----------|----------|---------------------------------------|
|              | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容                                    |
| スポーツイベント参加者数 | 4,086人   | 5,240人      | 4,500人   | 3,496人   | ヒルクライム・チャレンジウォーク各参加者数、スポーツコンベンション来客人数 |

#### 【課題と今後の方向性】

◆3大スポーツイベント(椿ヶ鼻ヒルクライムレース・チャレンジウォーク・天領日田ひなまつり健康マラソン)の参加者数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため天領日田ひなまつり健康マラソン大会を中止したことから、参加者数が目標値に達しなかったが、今後もインターネット申込等の効率的な運営や見直しを図るとともに、地域特性を活かしたスポーツツーリズムの充実を図る。

◆フェンシング競技の全国大会の誘致によるスポーツコンベンションの拡大を図る。

◆レガッタ日田大会の開催により市民の交流ができたことから、今後も大会に参加することで、日田市の情報発信とスポーツによるシティセールスの強化に努める。



椿ヶ鼻ヒルクライムレース



| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                          | 社会教育の充実           | 担当課 | スポーツ振興課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----|---------|
|          | Ⅲ－第2                                                                                                                                                       | 誰もがスポーツに親しめる環境づくり |     |         |
|          | 1                                                                                                                                                          | スポーツ・レクリエーションの振興  | 平均値 | 総合評価    |
| 【主な取組】   | ④ 施設利用の向上                                                                                                                                                  |                   | 5   | A       |
| 評価理由     | <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、ひなまつり健康マラソンが中止になったことで施設の利用人数が目標値に達しなかったが、新型コロナウイルス感染症発生前の利用者数は順調に推移している。</p> <p>平野球場や弓道場の各種改修工事の実施により利用者の利便性や安全性を向上させることができた。</p> |                   |     |         |

#### 【個別評価】

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                          | 計画的なスポーツ施設の整備と維持管理 | 平成31年度事業費     | 91,877千円                                                                                                                          | 担当課 | スポーツ振興課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>体育施設の整備改修を行うことにより、施設の安全性を確保し、市民の健康増進、スポーツ振興を図る。                                                                                                  |                    | 事業取組・成果・評価の理由 | ○体育施設管理費(経常費) 82,967千円<br>体育施設A・B群指定管理料、B&G中津江海洋センター指定管理料、清掃等委託料、修繕料、その他管理費<br>＜主な修繕＞<br>・日田市弓道場防矢ネット設置<br>・日田市陸上競技場男子更衣室エアコン取替 他 |     |         |
|          | [内容]<br>施設の利用状況などを勘案した整備計画により、整備を進め、安定的な施設の提供に努める。また、利用状況によっては、将来的な財政負担も踏まえ、施設の廃止・民間移管も含めた方向性についての検討を進める。                                                |                    |               | ○体育施設改修事業 7,755千円<br>平野球場受水槽付ポンプ設置工事を実施し、水量が低下していた井戸の水を溜める受水槽を設置したもの。                                                             |     |         |
|          | ○体育施設管理費(経常費)<br>・体育施設A・B群指定管理料<br>・B&G中津江海洋センター指定管理料<br>・清掃等委託料<br>・修繕料<br>・その他管理費<br>○体育施設改修事業<br>・平野球場受水槽付ポンプ設置工事<br>○体育施設ブロック塀撤去等事業<br>・弓道場ブロック塀改修工事 |                    |               | ○体育施設ブロック塀改修工事 1,155千円<br>H30の調査で対策が必要とされた体育施設のブロック塀のうち、工事未完了であった通学路に面していない弓道場の塀を改修したもの。                                          |     |         |
|          |                                                                                                                                                          |                    |               | 弓道場防矢ネットの設置や危険ブロック塀の撤去及びフェンスの新設により、利用者の安全安心な施設利用に供されることになったことから評価を5とした。                                                           |     |         |
|          |                                                                                                                                                          |                    |               |                                                                                                                                   | 評価  | 5       |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                   | 現状値      | 目標値         | 目標値      | 平成31年度実績 |                    |
|-----------------------|----------|-------------|----------|----------|--------------------|
|                       | (平成28年度) | (平成31年度推測値) | (平成33年度) | 達成値      | 内容                 |
| スポーツ施設(市所管の58施設)の利用人数 | 438,837人 | 520,000人    | 550,000人 | 429,584人 | スポーツ振興課所管58施設利用者合計 |

#### 【課題と今後の方向性】

◆改修を必要とする施設は多く残されており、利用者が安全で快適にスポーツに取り組める環境を維持していくため、公共施設総合管理計画に基づく施設の改修のほか、スポーツ施設の長寿命化計画を作成し、効率的な運営を図っていく。

|          |                                                                                                                                                             |                   |     |         |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----|---------|
| 教育行政実施方針 | Ⅲ                                                                                                                                                           | 社会教育の充実           | 担当課 | スポーツ振興課 |
|          | Ⅲ－第2                                                                                                                                                        | 誰もがスポーツに親しめる環境づくり |     |         |
|          | 1                                                                                                                                                           | スポーツ・レクリエーションの振興  | 平均値 | 総合評価    |
| 【主な取組】   | ⑤スポーツボランティアの振興                                                                                                                                              |                   | 5   | A       |
| 評価理由     | <p>日田市体育協会やスポーツ推進委員協議会等の関係団体との連携により、スポーツイベントスタッフの確保に努めている。<br/>また、平成31年度はチャレンジウォークにおいて新たに3団体がスタッフとして加わり、多くの市民等がイベントスタッフとして参加し、それぞれのイベントを盛会に終わらせることができた。</p> |                   |     |         |

【個別評価】

| 事業または取組名 |                                                        | スポーツイベントボランティアの育成と組織化 |  | 平成31年度事業費     |                            | - |  | 担当課 |    | スポーツ振興課 |  |
|----------|--------------------------------------------------------|-----------------------|--|---------------|----------------------------|---|--|-----|----|---------|--|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>日田市のスポーツ振興を支えるスポーツボランティアの普及や組織化を図るもの。          |                       |  | 事業取組・成果・評価の理由 | 《イベントスタッフとして関わった人数(職員を除く)》 |   |  |     | 評価 | 5       |  |
|          | [内容]<br>市主催スポーツイベントにおける支援体制を図る中で、ボランティアの普及・啓発、組織化を目指す。 |                       |  |               |                            |   |  |     |    |         |  |
|          |                                                        |                       |  |               |                            |   |  |     |    |         |  |
|          |                                                        |                       |  |               |                            |   |  |     |    |         |  |
|          |                                                        |                       |  |               |                            |   |  |     |    |         |  |
|          |                                                        |                       |  |               |                            |   |  |     |    |         |  |
|          |                                                        |                       |  |               |                            |   |  |     |    |         |  |
|          |                                                        |                       |  |               |                            |   |  |     |    |         |  |
|          |                                                        |                       |  |               |                            |   |  |     |    |         |  |
|          |                                                        |                       |  |               |                            |   |  |     |    |         |  |

【課題と今後の方向性】

◆ボランティア育成と組織強化のため、スポーツ団体に限らず様々な団体にイベント支援を積極的に呼びかけていく。



| Ⅳ 文化芸術の振興                  |   |                         |   |                            | 通し番号 | 担当課                 | 総合評価 |
|----------------------------|---|-------------------------|---|----------------------------|------|---------------------|------|
| 第1 ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用 |   |                         |   |                            |      |                     |      |
|                            | 1 | ふるさとの歴史・文化の保存と未来に向けての活用 | ① | 歴史・文化の保存と活用に向けた取組の充実       | 45   | 文化財保護課              | A    |
|                            | 2 | 保存と活用に向けた環境の整備          | ① | 保存と活用に向けた環境の整備             | 46   | 文化財保護課              | A    |
|                            | 3 | 愛護意識の高揚と愛護活動への支援        | ① | 文化財の普及啓発の推進                | 47   | 文化財保護課              | A    |
|                            | 4 | 咸宜園教育等の普及啓発と世界文化遺産登録    | ① | 咸宜園教育研究センターの取組と世界文化遺産登録の推進 | 48   | 咸宜園教育研究センター・世界遺産推進室 | A    |



保存修理事業が完了した大山町の旧矢羽田家住宅

| 教育行政実施方針 | Ⅳ                                                                                                                                                                                                                                                                        | 文化芸術の振興                 | 担当課 | 文化財保護課 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-----|--------|
|          | Ⅳー第1                                                                                                                                                                                                                                                                     | ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用 |     |        |
|          | 1                                                                                                                                                                                                                                                                        | ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用 | 平均値 | 総合評価   |
| 【主な取組】   | ①歴史・文化の保存と活用に向けた取組の充実                                                                                                                                                                                                                                                    |                         | 5   | A      |
| 評価理由     | <p>貴重な文化財の整備等を進め、更なる活用を図るために、文化財建造物の所有者や無形文化財、民俗文化財等の保存団体に対して補助金を交付することで、所有者等の経済的負担を軽減し、文化財を適切に保存・継承することができた。特に、工芸技術や伝統文化を継承する各種団体や後継者等に対し、人材育成や、文化財を活かしたまちづくり活動に対して継続して支援を行うことができた。</p> <p>また、日田祇園囃子保存会においては50周年記念事業が実施されたが、事業費の増加に伴い補助金を増額したことで、保存伝承活動を支援することができた。</p> |                         |     |        |

#### 【個別評価】

| 事業または取組名 | 指定文化財等保存補助事業(有形・無形)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | 1,027千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当課 | 文化財保護課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>無形文化財の保存については、各地域で継承されている民俗芸能や工芸技術など、文化財の保存や継承活動、後継者の育成等を図るために各団体に対して必要な事業費の一部を助成するもの。<br/>また各地域に残る有形文化財や史跡等の文化財については、所有者による保存・管理・活用が行われているが、保存に多額の費用がかかるためその一部を助成するもの。</p> <p>【内容】<br/>・無形文化財<br/>日田祇園囃子保存会・五馬くにち楽保存会(3地区)・大野楽保存会・小鹿田焼技術保存会<br/>・有形文化財<br/>大野老松天満社旧本殿管理事業・長福寺本堂管理事業・草野家住宅管理事業<br/>・記念物(史跡)<br/>廣瀬淡窓墓管理事業</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・無形文化財<br/>地域に残る貴重な祭礼行事や民俗芸能などの伝統文化、工芸技術について、文化財の保存や継承、後継者の育成を図ることができた。しかしながら、伝承者や後継者の高齢化が進むなかで、新たな後継者の育成については継続した支援と新たな取組が求められる。特に、担い手の少ない小規模集落に伝承されている民俗芸能については積極的に周知活動に努め、有識者等の指導・助言を行うなどして、後継者の育成に努めていく必要がある。</p> <p>・有形文化財・記念物<br/>貴重な文化財の保存に助成を行うことにより、文化財を適切に管理することができたが、管理者の高齢化や建造物では防災設備の老朽化が見られるため、管理体制の充実、強化が必要である。</p> <p>有形文化財や無形文化財等の保存と継承に対する経費の一部を助成することで貴重な文化財を守ることができ、事業計画に沿った事業が実施できたことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5      |
| 事業または取組名 | 鶴飼保存対策事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 平成31年度事業費     | 3,600千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当課 | 文化財保護課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>鶴飼を実施していく中で、鶴の飼育に欠かせないえさの確保が重要だが、費用と手間がかかり、特に冬場は冷凍飼料の購入を余儀なくされ、多大な経費が必要である。また、棹差しに対する賃金や光熱水費にかかる経費も鶴飼を継続していく中での課題となっており、鶴飼を保存・継承していくための必要な経費補助を行うもの。</p> <p>【内容】<br/>鶴飼に必要なえさ代、薪代、棹差し賃金、光熱水費等に助成を行う。 鶴飼保存会3名に対して3,600千円</p>                                                                                                   | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>日田の鶴飼は、大分県無形民俗文化財に指定されているが、鶴匠、棹差しの高齢化や、鶴の飼育や施設の維持管理等に多大な労力と経費がかかることから、その継承が困難となっている。</p> <p>また、屋形船の利用が減り、収入が減少しているため、鶴飼を保存・継承していくなかで必要経費の助成は必要不可欠なものとなっている。</p> <p>必要経費の助成を行ったことで、鶴匠の負担を軽減でき、鶴飼の保存・継承につながったことから、評価を5とした。</p>                                                                                                                                                                                              | 評価  | 5      |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆民俗芸能や工芸技術については、継承者および後継者の高齢化や、地域住民の減少により継承が困難な状況にあることから、団体自ら周知活動を行う等、新たな人材の育成が必要である。
- ◆各地域に残る史資料については、保存環境が不適で保管に問題があるものや経年による劣化が進行しているものが散見される。今後は所有者に適切な保存の在り方や手法について指導・助言を行っていく。また、所有者の高齢化等による散逸が懸念されるものについても適切に助言を行い、保存の措置を講じていく。
- ◆平成31年4月に施行された文化財保護法の改正内容により、県では「大分県文化財保存活用大綱」が策定されているため、本市においては県の大綱に基づき「日田市文化財保存活用地域計画」を作成する予定である。

| 教育行政実施方針 | Ⅳ                                                                                                                                                                           | 文化芸術の振興                 | 担当課 | 文化財保護課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-----|--------|
|          | Ⅳ－第1                                                                                                                                                                        | ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用 |     |        |
|          | 2                                                                                                                                                                           | 保存と活用に向けた環境の整備          | 平均値 | 総合評価   |
| 【主な取組】   | ①保存と活用に向けた環境の整備                                                                                                                                                             |                         | 4.9 | A      |
| 評価理由     | <p>伝統的建造物群保存地区や旧矢羽田家住宅、史跡ガランドや古墳などに係る事業については、事業計画に沿った文化財の保存修理や整備事業が実施され、文化財の適切な保存と活用に向けた環境の整備が行われた。</p> <p>また、日田祇園山鉾などの新調や草野家住宅、廣瀬淡窓旧宅の保存に関する補助事業についても事業計画どおり進めることができた。</p> |                         |     |        |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 日田祇園山鉾保存修理補助事業                                                                                                                                                                                                                                                                      | 平成31年度事業費     | 1,430千円(30年度繰越)                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課 | 文化財保護課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>国指定の重要無形民俗文化財「日田祇園の曳山行事」に欠かすことのできない山鉾・見送幕・水引幕等の用具類の新調・修理を行うことへの補助。</p> <p>【内容】<br/>・中城町の山鉾新調に対する補助<br/>・日田祇園山鉾保存修理委員会の開催(1回)<br/>・現地調査(令和2年度事業 若宮町棒鼻)</p>                                                                                                               | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>本事業は平成19年度から、各町の山鉾や見送幕等を計画的に復元新調している事業である。山鉾を復元新調することで、無形民俗文化財である日田祇園の曳山行事の保存と継承を図ることができた。</p> <p>平成31年度は、繰越事業である中城町の山鉾復元新調事業が計画どおりに完了したことから評価を5とした。</p>                                                                                                           | 評価  | 5      |
| 事業または取組名 | 文化的景観保護推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                         | 平成31年度事業費     | 507千円                                                                                                                                                                                                                                                                 | 担当課 | 文化財保護課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>「小鹿田焼の里」選定区域内の景観保全と整備を行い、次世代への継承を図るもの。</p> <p>【内容】<br/>＜平成31年度事業の内訳＞<br/>・日田小鹿田焼の里景観委員会(1回)<br/>※第2回を計画していたが、コロナウイルス関係で中止となった。<br/>・景観委員会事前協議(1回)<br/>・地元説明会(2回)<br/>・文化庁協議(2回)</p>                                                                                     | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>小鹿田焼の里については「小鹿田焼の里文化的景観保存計画」に基づき、景観保全に取り組んでいるところであるが、計画策定から年月が経ち、改訂版の作成が必要状況である。</p> <p>平成31年度は日田小鹿田焼の里景観委員会を開催し、計画の改定の必要性を確認することができ、引き続き地元と協議を重ねていることから評価を5とした。</p>                                                                                               | 評価  | 5      |
| 事業または取組名 | 伝統的建造物群保存地区保存事業                                                                                                                                                                                                                                                                     | 平成31年度事業費     | 29,679千円                                                                                                                                                                                                                                                              | 担当課 | 文化財保護課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>平成16年に国の重要伝統的建造物群保存地区(伝建地区)に選定された豆田町は、歴史的町並みが残る日田市を代表する観光地でもある。事業をとおして伝統的な町並みを適切に維持保全し、文化財として後世に残すことにより、市民が誇りと愛着をもてるまちづくりを目指す。</p> <p>【内容】<br/>事業では、主として市民が所有する建造物の保存修理工事に対する補助事業を行う。このほか伝建地区内は木造家屋が密集していることから、防災事業として住民自らが行う有事の際の初期消火活動に有効な屋外消火栓の設置を市の直接事業として実施する。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>所有者が行う伝統的建造物の修理工事に対する補助事業では、前年度からの繰越し事業1件を含む、3件の補助事業について予定どおり完了することができた。</p> <p>また、屋外消火栓の設置も2基設置することができ、地区内の設置計画全37か所に対して、累計で28か所となった。(進捗率 76%)</p> <p>特に修理補助事業では、技術的な根幹をなす木工事や左官工事において、全国的に職人が不足している中、これら施工面での人的確保や工程上の円滑な調整により保存と活用に向けた環境の整備ができたことから評価を5とした。</p> | 評価  | 5      |



|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |        |   |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------|---|
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 草野家住宅保存整備事業    | 平成31年度事業費     | 3,313千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 担当課 | 文化財保護課 |   |
| 事業目的・内容  | 【目的】<br>平成21年に国の重要文化財に指定された草野家住宅は、一部を除き経年による老朽化が進んでいたため、健全な状態に保全することを目的に、平成26年度から耐震補強工事を含めた抜本的な修理事業を行うもの。                                                                                                                                                                                                  |                | 事業取組・成果・評価の理由 | 【修理事業費】94,660千円<br>【市補助金】 3,313千円                                                                                                                                                                                                                                                                                   |     | 評価     | 5 |
|          | 【内容】<br>事業主体:草野義輔<br>事業期間:平成26～令和3年度(8か年)<br>事業費:9億円<br>財源内訳:(国)85% (県)8% (市)3.5% (所有者)3.5%<br>修理概要:主屋ほか5棟の解体修理工事、部分修理                                                                                                                                                                                     |                |               | 修理事業については、引き続き文化庁の指導を受けながら進捗することができた。<br>このほか、各棟とも耐震診断を経て必要な耐震補強工事を修理と併せて実施している。補強方法は、構造用合板や筋交いによる耐力壁の増設、鉄骨組による構造体の設置などを行っている。なお、補強の際には外観上の配慮を行う必要があるため、取付方法や材料の仕様など文化庁担当調査官とも協議を行いながら進めている。<br><br>平成31年度までの事業は予定どおり進んだことから評価を5とした。                                                                                |     |        |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ガランドヤ古墳群保存整備事業 | 平成31年度事業費     | 55,985千円(一部繰越)                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当課 | 文化財保護課 |   |
| 事業目的・内容  | 【目的】<br>古墳群の保存整備を進め、貴重な歴史的遺産を後世に保存継承するもの。                                                                                                                                                                                                                                                                  |                | 事業取組・成果・評価の理由 | 平成31年度は、史跡地内外の芝生や駐車場等の整備工事を完了し、ここ数年続いていた事業費の繰越を解消することができた。また、2号墳の環境調査を行う施設の建設が完了したことにより、令和2年度から温湿度等の環境調査の実施が可能となった。<br><br>自然災害等の影響を受け、国からの補助金が全国的に削減されたことで、史跡の公開等は令和3年度に延期となったものの、工事は計画どおり完了できたことから評価を5とした。                                                                                                        |     | 評価     | 5 |
|          | 【内容】<br>史跡の保存と公開に向けて整備を進めていく。<br>【平成31年度事業の内訳】<br>・史跡内の芝張等の整備工事(H30繰含む)<br>・駐車場整備工事(H30繰含む)<br>・2号墳環境調査のための仮設覆屋建築工事<br>・公園整備に係る電気設備工事(H30繰)<br>・1号墳保存施設内の環境整備に係る実施設計(H30繰)<br>・整備状況の記録のための空中写真撮影<br>・1及び2号墳石室の装飾壁画の現況記録のための写真撮影<br>・保存整備委員会の開催(1回)<br>【全体事業期間】平成16年度～令和3年度<br>【負担割合】国50%、県8%、市42%(国庫補助対象分) |                |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |        |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 咸宜園跡保存整備事業     | 平成31年度事業費     | 7,497千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 担当課 | 文化財保護課 |   |
| 事業目的・内容  | 【目的】<br>史跡咸宜園跡を適切に保存管理し、歴史学習の場として活用するため、その全盛期であった江戸時代末期の姿に整備を行うもの。                                                                                                                                                                                                                                         |                | 事業取組・成果・評価の理由 | 平成31年度は、西家側に存在していた旧労金建物の基礎撤去工事と、3か年で計画している発掘調査の2年目で、西家側のうち約500㎡の調査を予定していた。<br>基礎撤去工事では、将来の史跡整備の際に、障害となり得る部分の建造物の除去を完了した。<br>また、発掘調査の結果、咸宜園時代の遺構等は、後世の建物建設により深く削平を受けていたため残されていなかったものの、江戸時代から明治時代初期の遺物が多く出土し、当時の生活の一端を窺うことができた。<br><br>しかし、発掘調査に関しては、他事業との兼ね合いにより、当初予定の7割程度しか調査を終えることができなかったため、総合評価を4とした。(予算執行率66.7%) |     | 評価     | 4 |
|          | 【内容】<br>咸宜園跡全体の史跡整備に向け、新たに公有化した西家側(塾の西側)の発掘調査や文献調査などを実施し、それらの成果を踏まえて「保存活用計画」を策定する。<br>西家側の史跡整備は、「保存活用計画」に基づき、「整備基本計画」を策定し進めていく。                                                                                                                                                                            |                |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |     |        |   |

|          |                                                                                                                             |                 |               |                                                                                                                                                                                       |     |        |   |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------|---|
| 事業または取組名 |                                                                                                                             | 廣瀬淡窓旧宅及び墓保存整備事業 | 平成31年度事業費     | 8,017千円                                                                                                                                                                               | 担当課 | 文化財保護課 |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>平成25年に追加指定を受けた国史跡「廣瀬淡窓旧宅及び墓」の旧宅部分は、重要文化財草野家住宅と同様、老朽化が著しいことから、抜本的な修理事業を行うもの。                                         |                 | 事業取組・成果・評価の理由 | 【修理事業費】72,883千円<br>【市補助金】 8,017千円                                                                                                                                                     |     | 評価     | 5 |
|          | [内容]<br>事業主体：廣瀬和貞<br>事業期間：平成27～令和7年度(11か年)<br>事業費：3億円<br>財源内訳：(国)70% (県)8% (市)11% (所有者)11%<br>修理概要：廣瀬淡窓旧宅(北家主屋ほか)半解体修理、部分修理 |                 |               | 平成31年度は、主として北家主屋部の解体工事に続き組立工事に着手した。<br>解体工事においては、主屋西側の構造材及び外壁部の経年劣化による損傷が著しかったため、材料の補強や取替えを行った。<br>また、耐力壁の増設など順次耐震補強工事も併せて実施した。<br><br>平成31年度までの事業は予定どおり進んだことから評価を5とした。               |     |        |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                             | 重要文化財建造物保存修理事業  | 平成31年度事業費     | 69,724千円                                                                                                                                                                              | 担当課 | 文化財保護課 |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>国指定の重要文化財建造物である旧矢羽田家住宅の適切な保存・管理を行うとともに修理現場の公開等を通して文化財に関する情報発信を行う。                                                   |                 | 事業取組・成果・評価の理由 | 旧矢羽田家住宅については、これまで台風等による被害で屋根修理等を数回行ってきたが、各所の柱に歪みがあり、全体的に傾きが生じていたため、今回は屋根の葺き替え、建て起こし等の部分修理を行った。また、修理現場の様子を公開することで文化財に関する普及啓発や情報発信を行うことができた。                                            |     | 評価     | 5 |
|          | [内容]<br>国の重要文化財建造物である旧矢羽田家住宅について、杉皮葺屋根の葺き替えや、建て起こし等の修理を行う。<br>・工事費 65,564千円<br>・委託料 4,042千円<br>・その他 118千円                   |                 |               |                                                                                                                                                                                       |     |        |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                             | 街なみ環境整備事業       | 平成31年度事業費     | 8,483千円                                                                                                                                                                               | 担当課 | 文化財保護課 |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>豆田地区景観形成重点地区内における建造物等の修景工事に対する助成や生活環境整備を行うことにより景観を保全するもの。                                                           |                 | 事業取組・成果・評価の理由 | 本事業は、伝統的建造物群保存事業の補完事業として取り組んでいる。<br><br>平成31年度は、所有者が行う修景工事に対する補助事業を予定どおり1件実施し、街なみの景観維持に寄与できた。<br>また、道路美装化では地区内の道路が生活道路としても利用されていることから、経年劣化している路面を更新でき景観上、安全上良好な環境整備につながったことから評価を5とした。 |     | 評価     | 5 |
|          | [内容]<br>・修景 1件<br>・道路美装化 1路線(市道豆田1号線)                                                                                       |                 |               |                                                                                                                                                                                       |     |        |   |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名               | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                 |
|-------------------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|---------------------------------|
|                   |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                              |
| 伝統的建造物修理済建造物数（累計） | 39件             | 48件                | 50件             | 47件      | ・H31(繰)石丸金物店<br>・長尾家<br>・水田家1年目 |
| 史跡咸宜園跡の入場者数       | 21,365人         | 24,000人            | 24,000人         | 16,534人  |                                 |

## 【課題と今後の方向性】

◆伝統的建造物保存地区保存事業における屋外消火栓の設置場所(土地の占用)については、土地の所有者による無償提供により実施しており、地区住民の理解と協力が必要であることから、伝建事業を推進する地元の豆田町伝建保存会とも協力し合い、令和4年度での設置完了を目指す。

◆草野家住宅保存整備事業については、8か年の長期間に亘り修理工事が行われてきたが、事業の進捗も終盤に入り残すところ令和3年度までの段階となった。現場においては、狭い前面道路に接する状況の中、これまで大きな事故なく進められてきた。引き続き観光客に対する安全管理に配慮するなど、整備事業が適正に実施されるよう留意していく。

◆廣瀬淡窓旧宅及び墓保存整備事業については、令和2年2月に所有者の死去に伴う所有者変更があったことから、新当主への円滑な引継ぎを促し事業の進捗に支障が生じないように進めていく必要がある。

◆咸宜園跡保存整備事業については、平成30年度より引き続き、令和2年度までの計画で発掘調査を実施していく。

◆ガランドヤ古墳群保存整備事業については、令和2～3年度でガイダンス施設を建設し、令和3年度中に公園供用開始の予定である。2号墳の保存整備方針については、保存施設の建設に必要な環境調査の実施を行い、保存整備基本計画の一部内容を見直し、2次整備の事業に取り組む予定である。

◆小迫辻原遺跡については、現在、これまでの発掘調査で発見された住居など各種遺構や1,000点を超える土器などを整理しているところであり、早期の報告書作成を進めていく。

◆文化的景観保護推進事業については、小鹿田焼の里景観委員会において「小鹿田焼の里文化的景観保存計画」(第3版)の改訂について了承され、今後地元との協議を重ねていく。また、景観保全に対する補助金制度の制定についても併せて進める。



H31年度に復元新調した中城町の山鉾

| 教育行政実施方針 | Ⅳ                                                                                                                                                                                                                                                                               | 文化芸術の振興                 | 担当課 | 文化財保護課 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-----|--------|
|          | Ⅳ－第1                                                                                                                                                                                                                                                                            | ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用 |     |        |
|          | 3                                                                                                                                                                                                                                                                               | 愛護意識の高揚と愛護活動への支援        | 平均値 | 総合評価   |
| 【主な取組】   | ① 文化財の普及啓発の推進                                                                                                                                                                                                                                                                   |                         | 4.5 | A      |
| 評価理由     | <p>平成30年度に改訂版を作成した子ども向けの冊子『子ども版 日田市の歴史と文化財』を市内小学生に計画どおり配布した。また、国の重要文化財「吹上遺跡出土品」が九州国立博物館や大分県立歴史博物館で展示されることに伴い、テーマを吹上遺跡とし、市民に身近なテーマで講座を開催したことで、新たな受講者層を獲得することができた。</p> <p>しかしながら、埋蔵文化財センターの入館者については、速報展が開催できなかったことや、新型コロナウイルス対策のため閉館を余儀なくされたこと、また、小学校からの見学者数が少なかったことが影響し減少した。</p> |                         |     |        |

【個別評価】

|               |                                                                                                                                   |                |       |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |       |     |     |        |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------|-----|-----|--------|--------|--|-----|-----|----|---------------|------|------|-------|-----------|---------------|---------------|-----|----------|----------------|----------------|------|------------|-----|
| 事業または取組名      |                                                                                                                                   | 日田市の歴史読本配布活用事業 |       | 平成31年度事業費     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | - |       | 担当課 |     | 文化財保護課 |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
| 事業目的・内容       | [目的]<br>郷土の貴重な文化財を後世に守り伝えるため、平成30年度に改訂版を作成した子ども向けの冊子『子ども版 日田市の歴史と文化財』を、平成31年度から令和5年度までの5年間にわたり小学校6年生に配布し、地元に着愛を持つための教材として利用してもらう。 |                |       | 事業取組・成果・評価の理由 | 平成31年度配布数:809冊                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |   |       |     |     |        |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
|               | [内容]<br>市内の小学校6年生に、学校を通じて『子ども版 日田市の歴史と文化財』を配布する。<br>配布期間は、平成31年度～令和5年度の5年間の予定。                                                    |                |       |               | 『子ども版 日田市の歴史と文化財』の活用は、次の時代を担う子どもたちの日田市や地域の歴史の正しい理解の促進と、文化財愛護意識の高揚のために有効である。また、小学校や公民館単位での申し込みの多い、埋蔵文化財センターの見学や考古体験などの体験学習等の際には、テキストとしても利用しており、冊子の活用の幅も広がっている。<br>なお、本冊子は子どものみならず成人からも配布や購入希望の声が聞かれるなど、概ね好評を得ている。<br><br>各小学校への配布が計画どおり実施できたこと、埋蔵文化財センターを訪れる小学校は本冊子を持参することが多く見受けられ歴史学習に活用されていることが確認できたことから評価を5とした。                                                                                                                                                                                                                                                                              |   |       |     |     |        |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
| 事業または取組名      |                                                                                                                                   | 埋蔵文化財普及・啓発事業   |       |               | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |   | 147千円 |     | 担当課 |        | 文化財保護課 |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
| 事業目的・内容       | [目的]<br>埋蔵文化財を通して地域の歴史に対する市民の関心を高めるため、考古学講座や埋蔵文化財センターの常設展や速報展などを行う。<br>また、勾玉作りや火おこしなどの体験教室をセンター主催事業や公民館、学校などとの共催により実施するもの。        |                |       | 事業取組・成果・評価の理由 | 《埋蔵文化財センター入館者数及び講座等参加者数》                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |       |     |     |        |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
|               | [内容]<br>・常設展<br>・速報展<br>・考古学講座の開講<br>・考古体験の実施(火おこし・勾玉づくりなど)<br>・現地説明会等の開催                                                         |                |       |               | <table><tr><td></td><td>H31</td><td>H30</td><td>増減</td></tr><tr><td>埋蔵文化財センター入館者数</td><td>269人</td><td>479人</td><td>▲210人</td></tr><tr><td>考古学講座受講者数</td><td>58人<br/>(全5講座)</td><td>61人<br/>(全6講座)</td><td>▲3人</td></tr><tr><td>考古体験参加者数</td><td>393人<br/>(全14回)</td><td>410人<br/>(全14回)</td><td>▲17人</td></tr><tr><td>現地見学会等参加者数</td><td>15人</td><td>51人</td><td>▲36人</td></tr></table><br>考古学講座や考古体験などの普及啓発を行ったものの、埋蔵文化財センター入館者数については、速報展を開催することができなかったことや、市内小学校の見学者数が減少したことなどが影響し、昨年度比で40%減となった。<br><br>講座や体験教室は計画通り実施することができ、受講者数の確保や文化財愛護意識の高揚につながったと考えるが、埋蔵文化財センターの入館者数が減少したことから評価を4とした。 |   |       |     |     |        |        |  | H31 | H30 | 増減 | 埋蔵文化財センター入館者数 | 269人 | 479人 | ▲210人 | 考古学講座受講者数 | 58人<br>(全5講座) | 61人<br>(全6講座) | ▲3人 | 考古体験参加者数 | 393人<br>(全14回) | 410人<br>(全14回) | ▲17人 | 現地見学会等参加者数 | 15人 |
|               | H31                                                                                                                               | H30            | 増減    |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |       |     |     |        |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
| 埋蔵文化財センター入館者数 | 269人                                                                                                                              | 479人           | ▲210人 |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |       |     |     |        |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
| 考古学講座受講者数     | 58人<br>(全5講座)                                                                                                                     | 61人<br>(全6講座)  | ▲3人   |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |       |     |     |        |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
| 考古体験参加者数      | 393人<br>(全14回)                                                                                                                    | 410人<br>(全14回) | ▲17人  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |       |     |     |        |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |
| 現地見学会等参加者数    | 15人                                                                                                                               | 51人            | ▲36人  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |       |     |     |        |        |  |     |     |    |               |      |      |       |           |               |               |     |          |                |                |      |            |     |



【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名             | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                 |
|-----------------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|---------------------------------|
|                 |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                              |
| ホームページ等による情報発信数 | 7件(H27)         | 12件                | 12件             | 17件      | 市HP12回、広報ひた5回(新規指定文化財の紹介や講座募集等) |
| 古文書入門講座受講者数     | 38人(H27)        | 50人                | 50人             | 41人      | 講義5回・バスツアー1回<br>(延べ169名参加)      |
| 考古学講座受講者数       | 60人(H27)        | 65人                | 65人             | 58人      | 講義3回・バスツアー2回<br>(延べ207名参加)      |
| 埋蔵文化財センター入館者数   | 269人(H27)       | 500人               | 600人            | 269人     | 常設展示                            |
| 考古体験参加者数        | 456人(H27)       | 470人               | 500人            | 393人     | 勾玉づくりや火おこし体験、考古講話、現地見学等、14件     |
| 現地見学会等参加者数      | -               | 150人               | 150人            | 15人      | 史跡小迫辻原遺跡草刈ボランティア(10/30)15名      |
| 伝建修理現場研修会の開催    | 3回(H27)         | 2回                 | 2回              | 11回      | 草野家住宅(9回)<br>廣瀬家住宅(2回)          |

【課題と今後の方向性】

- ◆埋蔵文化財の発掘調査現場や伝統的建造物等の修理現場の一般公開、また、文化財に関する情報をホームページ等で発信し、文化財の保護や活用に努める。また、文化財防火デー等の実施においても、広く市民に情報発信し、文化財愛護意識の高揚を図る。  
なお、発掘調査現場や修理現場は毎年必ずしも発生するものではないため、可能な限り公開を実施していく。
- ◆各講座については、幅広い年齢層の市民が興味や関心を持ち、気軽に参加できるように、開催時期、時間、講義内容を検討する。また、展示会については、引き続き、内容や展示方法(見せ方)の工夫などを行うとともに、施設の存在を広報やホームページ等を通じて周知することで、多くの市民等に参加・来場してもらえるよう努める。

| 教育行政実施方針 | Ⅳ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 文化芸術の振興                 | 担当課 | 咸宜園教育研究センター・世界遺産推進室 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-----|---------------------|
|          | Ⅳ－第1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用 |     |                     |
|          | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 咸宜園教育等の普及啓発と世界文化遺産登録    | 平均値 | 総合評価                |
| 【主な取組】   | ①咸宜園教育研究センターの取組と世界文化遺産登録の推進                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                         | 4.5 | A                   |
| 評価理由     | <p>咸宜園教育研究センターでは咸宜園の教育内容や門下生、教育遺産等に関する調査研究とともに展示会や公開講座を実施し、その成果を研究紀要などの刊行物、ホームページなどにより情報発信することで普及啓発に取り組めた。</p> <p>世界遺産登録推進については、4市による教育遺産世界遺産登録推進協議会で、国内暫定一覧表追加記載に向けて準備を進めるとともに、様々な機会を通じて情報発信を行い知名度の向上が図られた。日本遺産活用の取組として、ワールドカップラグビーの開催やオリンピック開催に向けて本格的に日本遺産中学生英語ガイドへの取組を始めるとともに、日本遺産に加盟している九州や県内の自治体との連携を開始した。</p> |                         |     |                     |

【個別評価】

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         |          |       |      |         |             |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|-------|------|---------|-------------|---|-----|------|-------|------|---------|-----|----|------|----|------|---------|-----|----|------|----|------|--------|----|----|-------|-----|------|---------|
| 事業または取組名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 咸宜園教育研究センター運営事業 |     | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |         | 22,541千円 |       | 担当課  |         | 咸宜園教育研究センター |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
| 事業目的・内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | [目的]<br>咸宜園や廣瀬淡窓等に関する調査研究及び関係資料の収集、公開等を行うことにより、その理解を深め、教育、学術や文化の向上に寄与すること。<br><br>[内容]<br>〈咸宜園教育研究センターの管理運営及び公開、咸宜園教育に関する調査研究や普及啓発事業など〉<br><br>①咸宜園教育等の調査・研究<br>・廣瀬淡窓著述史料を基にした調査研究、門下生に関する情報収集、全国に所在する教育資産（主に私塾）、並びに外部研究機関への調査委託等<br>・咸宜園教育研究センター研究奨励事業による若手研究者の育成等<br><br>②普及啓発・情報発信<br>公開講座、咸宜園教育顕彰事業、交流事業等の開催やホームページ、研究紀要発行などによる情報発信、展示公開（企画展2回・常設展1回） |                 |     | 《公開講座・講座派遣及び企画展の実施状況》                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |         |          |       |      |         | 評価          | 4 |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 |     | <table><tr><td></td><td>講座数</td><td>参加人数</td><td>講師派遣数</td><td>参加人数</td><td>企画展入館者数</td></tr><tr><td>H30</td><td>6回</td><td>383人</td><td>9回</td><td>608人</td><td>10,742人</td></tr><tr><td>H31</td><td>6回</td><td>227人</td><td>6回</td><td>386人</td><td>6,631人</td></tr><tr><td>増減</td><td>0回</td><td>▲156人</td><td>▲3回</td><td>▲222</td><td>▲4,111人</td></tr></table> |         |          |       |      |         |             |   | 講座数 | 参加人数 | 講師派遣数 | 参加人数 | 企画展入館者数 | H30 | 6回 | 383人 | 9回 | 608人 | 10,742人 | H31 | 6回 | 227人 | 6回 | 386人 | 6,631人 | 増減 | 0回 | ▲156人 | ▲3回 | ▲222 | ▲4,111人 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 講座数     | 参加人数     | 講師派遣数 | 参加人数 | 企画展入館者数 |             |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 |     | H30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 6回      | 383人     | 9回    | 608人 | 10,742人 |             |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
| H31                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 6回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 227人            | 6回  | 386人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 6,631人  |          |       |      |         |             |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
| 増減                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 0回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ▲156人           | ▲3回 | ▲222                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ▲4,111人 |          |       |      |         |             |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
| 事業取組・成果・評価の理由<br>①咸宜園教育等の調査・研究<br>歴代塾主や門下生に関する現地調査、全国に所在する教育資産の調査などを精力的に行ったほか、福岡大学との共同調査も計画通りに実施し、一定の調査成果を得た。また、研究奨励事業では2名の採択者があり、1年間の研究成果が得られたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、市民への公表は次年度以降となった。<br><br>②普及啓発・情報発信<br>外部講師による公開講座は全6回で、延べ227名が受講したほか、職員の講師派遣も6回で延べ386名が聴講するなど広く普及啓発を行うことが出来た。<br>また、秋季企画展の「江戸時代の私塾と教育者」では入場者数が6,631名で、同時期に開催される市主催イベント等との連携不足により、昨年に比べ大幅に減少した。そのほか、研究紀要第9号は計画どおりに発行した。<br><br>上記の取組について、事業そのものは予定通りに完了しているものの、成果指標となる入館者数の目標値については、「日田天領祭り」などの市主催イベント等との連携不足により、達成できなかったことから評価を4とした。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         |          |       |      |         |             |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         |          |       |      |         |             |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
| 事業または取組名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 咸宜園普及啓発刊行物作成事業  |     | 平成31年度事業費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |         | 651千円    |       | 担当課  |         | 咸宜園教育研究センター |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
| 事業目的・内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | [目的]<br>難解な古文書や漢書体で書かれた歴史資料を理解するために、調査研究成果を分かりやすく伝える刊行物を計画的に作成することで、市民が郷土の歴史に興味を持ち、学習機会の場を広げること。<br><br>[内容]<br>歴史資料の翻刻や読み下しを行い、廣瀬淡窓日記続編の刊行、咸宜園教育研究センター収蔵品目録や歴代塾主のブックレットシリーズの刊行、淡窓先生ものがたりの再販などを毎年1冊刊行する。（計画期間：平成31年度～令和10年度の10年間）                                                                                                                         |                 |     | 事業取組・成果・評価の理由<br>平成29年度に刊行した廣瀬淡窓日記続編1に引き継ぎ、続編2の刊行を行った。<br>刊行物名：廣瀬淡窓日記2<br>部 数：500部<br><br>上記について、予定通りに事業が完了していることから評価を5とした。                                                                                                                                                                                                                                          |         |          |       |      |         | 評価          | 5 |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                 |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         |          |       |      |         |             |   |     |      |       |      |         |     |    |      |    |      |         |     |    |      |    |      |        |    |    |       |     |      |         |

| 事業または取組名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                         | 日田市日本遺産魅力発信推進事業 |  | 平成31年度事業費     |      | 1,470千円 |             | 担当課   |        | 世界遺産推進室 |   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--|---------------|------|---------|-------------|-------|--------|---------|---|
| 事業目的・内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>[目的]</p> <p>日本遺産認定を受けた咸宜園を含む教育遺産群の資産を活用し観光振興・地域活性化を図るもの。</p> <p>[内容]</p> <p>観光振興・地域活性化のため、市民向け講座などの市民協働の取組をすすめるとともに、観光客の受け入れ体制を整え、効果的な情報発信を行う。</p> <p>①市民協働による地域活性化<br/>市民向け公開講座等の実施ほか</p> <p>②観光客受け入れ体制の強化<br/>小中学生日本遺産ガイドの養成ほか</p> <p>③普及啓発・情報発信<br/>SNS等の活用ほか</p> |                 |  | 《各事業の実施状況》    |      |         |             |       |        | 評価      | 4 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  | 日本遺産公開講座      |      |         | 日本遺産子どもガイド  |       |        |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  |               | 回数   | 受講者     |             | 養成人数  | ガイド参加者 |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  | H30           | 5回   | 275人    | H30         | 9人    | 200人   |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  | H31           | 5回   | 221人    | H31         | 12人   | 122人   |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  | 増減            | 0回   | ▲54人    | 増減          | 3人    | ▲78人   |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  | 日本遺産中学生英語ガイド  |      |         | 日本遺産スタンプラリー |       |        |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  |               | 養成人数 | ガイド参加者  |             | 配布    | 交換     |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  | H30           | 0人   | 0人      | H30         | 731人  | 666人   |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  | H31           | 15人  | 258人    | H31         | 225人  | 184人   |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  | 増減            | 15人  | 258人    | 増減          | ▲506人 | ▲482人  |         |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  | 事業取組・成果・評価の理由 |      |         |             |       |        |         |   |
| ②観光客受け入れ体制の強化<br>・日本遺産子どもガイド養成事業<br>養成者数:小学生12名<br>日田天領まつりでガイドを実施した。<br>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため天領日田おひなまつのガイドは中止。<br>・日本遺産中学生英語ガイド養成事業<br>養成者数:中学生15名<br>ワールドカップ開催期間中の10月、日田天領まつりでガイドを実施した。<br>・日本遺産スタンプラリーの実施<br>実施期間:令和元年10月～11月 参加者:225名<br>咸宜園～豆田町地区回遊性を高めるとともに、日本遺産のPRを行った。<br>・日本遺産九州内(山口県を含む)連携<br>九州内の日本遺産認定自治体と今後の連携について意見交換を行った。<br>・日本遺産県内連携<br>大分県内の日本遺産認定自治体(中津市、玖珠町、豊後高田市、国東市)と連携し、外国人向けに日本の情報を発信しているJapanGuideに日本遺産の広告記事を掲載することで、県内の面的なつながりを発信し英語圏からの訪日客の誘客を図った。<br><br>③普及啓発・情報発信<br>・SNS等の活用<br>日本遺産ホームページのコンテンツの充実化やFacebook等のSNSを積極的に活用し日本遺産のPRや各種イベントへの取組等の情報発信に取り組んだ。<br>・日本遺産認定5周年記念グッズとして、手ぬぐいと風呂敷の試作を行った。<br><br>新たな取組として日本遺産中学生英語ガイドや日本遺産認定自治体の九州内連携、県内連携に取り組んだが、九州内連携は意見交換会開催後の進展が乏しかったこと、従前からの事業のスタンプラリーは参加者が前年より減少したこと、日田市日本遺産活性化懇話会の回数が1回に終わったことから、評価を4とした。 |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |  |               |      |         |             |       |        |         |   |

| 事業または取組名 | 世界遺産登録推進事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 平成31年度事業費     | 5,149千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 担当課 | 世界遺産推進室 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|
| 事業目的・内容  | <p>[目的]<br/>江戸時代後期、日本で最大規模を誇った私塾「咸宜園」の世界文化遺産登録を目指す取組を進め、文化財として適切な保護を図り、後世に継承する。さらには、市民に市内に所在する歴史文化遺産の価値を見つめ直す契機とし、郷土愛の育成にもつなげる。</p> <p>[内容]<br/>咸宜園をはじめとする「近世日本の教育遺産群」の世界文化遺産登録を目指し、茨城県水戸市、栃木県足利市、岡山県備前市、日田市の4市で共同して調査研究・普及啓発を行う。</p> <p>日田市においても普及啓発講演会の開催や市民団体・咸宜園平成門下生之会の門下生講座への支援を行い、世界遺産登録に向けた市民の機運の醸成を図る。</p> <p>①学術調査<br/>4市による専門部会の開催</p> <p>②普及啓発・情報発信<br/>市民団体との協働<br/>講座・講演会の開催</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>①学術調査<br/>・4市による教育遺産世界遺産登録推進協議会の専門部会（登録推進戦略、国内外の教育遺産の評価、保存管理方策の3部会）において、令和2年度の検討状況中間報告書本編の刊行及び文化庁への提出に向け、報告書の熟度を高め出版原稿をまとめた。<br/>学術会議の開催数：計5回<br/>・日田市世界遺産登録検討委員会の開催<br/>検討状況中間報告書を検討し日田市の意見をまとめた。</p> <p>②普及啓発・情報発信<br/>・咸宜園ゆかりの地を活用した地域活性化事業（市民サービス協働事業）<br/>実施団体：咸宜園放學遊山の会<br/>概要：廣瀬淡窓が放學遊山した場所を淡窓ウォーク等と協働で開催した。平成31年度は五和地区・高瀬地区を対象とした。<br/>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため成果発表会と講演会は中止。<br/>・日田市世界遺産登録推進講演会<br/>令和2年2月23日（金）<br/>講師：茨城大学名誉教授 鈴木暎一氏<br/>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため講演会中止。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のためにやむを得ず中止となった事業があるが、事業は順調に展開できていることから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5       |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名             | 現状値<br>(平成28年度) | 目標値<br>(平成31年度推測値) | 目標値<br>(平成33年度) | 平成31年度実績 |                                                             |
|-----------------|-----------------|--------------------|-----------------|----------|-------------------------------------------------------------|
|                 |                 |                    |                 | 達成値      | 内容                                                          |
| 咸宜園教育研究センター入館者数 | 26,812名         | 24,000名            | 25,000名         | 16,534名  | 10・11月期の入館者数が昨年に比べて半数以下に落ち込み、5,000人程減少した。(平成30年度実績：21,984名) |

#### 【課題と今後の方向性】

◆咸宜園の入館者数は平成29年度までは目標値を超えていたが、平成30年度（入館者数21,984名）からは減少傾向に転じており、平成31年度では、目標値を7,500人ほど下回っている。減少の要因として、11月の「日田天領祭り」及び「千年あかり」開催時の集客減が影響している。今後は市観光課や観光協会などとの連携を強めて豆田町からの誘客を工夫しつつ、咸宜園の新たな魅力を提供する取組や情報発信（ホームページやFacebook、スマートフォンによる日本遺産アプリ活用等）をさらに強化して入館者数の増を目指す。

◆世界遺産登録推進事業では、国内暫定一覧表記載を目指すなかで、調査研究を重ねた検討状況報告書を作成し文化庁へ令和2年11月に提出する。また、咸宜園平成門下生之会等の関係団体等との連携やホームページやFacebook等を活用した情報発信などにより普及啓発を図り、世界遺産登録に向けた市民と一体となった機運の醸成を図っていく。

◆日田市日本遺産魅力発信事業では、日田市日本遺産活性化懇話会（地元豆田町や観光協会、商工会議所など）や日本遺産の認定を受けている県内外の自治体等の関係機関との連携強化や構成資産の有効活用で観光振興や地域活性化を図る。



日本遺産中学生英語ガイド

| Ⅳ 文化芸術の振興                |   |                      |   |                   | 通し番号 | 担当課   | 総合<br>評価 |
|--------------------------|---|----------------------|---|-------------------|------|-------|----------|
| 第2 誰もが文化・芸術を親しみ、学べる環境づくり |   |                      |   |                   |      |       |          |
|                          | 1 | 誰もが文化に接することができる環境の整備 | ① | 文化活動及び鑑賞のための機会の充実 | 49   | 社会教育課 | A        |
|                          |   |                      | ② | 人材の育成及び確保         | 50   | 社会教育課 | A        |
|                          |   |                      | ③ | 情報の発信及び収集         | 51   | 社会教育課 | B        |



| 教育行政実施方針 | Ⅳ                                                                                                                                                                                 | 文化芸術の振興               | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----|-------|
|          | Ⅳ－第2                                                                                                                                                                              | 誰もが文化・芸術を親しみ、学べる環境づくり |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                                 | 誰もが文化に接することができる環境の整備  | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ①                                                                                                                                                                                 | 文化活動及び鑑賞のための機会の充実     | 4.5 | A     |
| 評価理由     | 日田市民文化会館(パトリア日田)における自主企画事業を始め、市民文化振興基金を活用した芸術鑑賞バスツアー、小・中学生から高齢の方まで幅広い年齢層が参加して開催される文教祭、アオーゼで行われる市所蔵美術品コレクション展(常設展)など、様々な事業を展開することにより、芸術文化の鑑賞の機会や活動成果発表の場の提供などができており、順調に取り組むことができた。 |                       |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 日田市民文化会館(パトリア日田)での舞台公演や展覧会などの開催                                                                                                                                                                                                    | 平成31年度事業費     | 145,082千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>市民が文化芸術に親しむ気運の醸成を図るため、日田市民文化会館(パトリア日田)において、優れた芸術の鑑賞機会の提供やアウトリーチ等に取り組む。</p> <p>【内容】<br/>指定管理者が、「管理業務仕様書」や「日田市民文化会館活性化計画」に基づき、自主企画事業を実施する。</p>                                                                           | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>指定管理者が専門的な知識やノウハウを活かし、舞台公演や演奏会、講演会、ワークショップなど、幅広い分野で様々な自主企画事業を展開した。</p> <p>・実施事業数:33事業(計画事業数:36事業)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止:3事業</p> <p>様々な分野に亘って事業を実施し、利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた3月に大幅な落ち込みとなったものの、目標値の80.6%に達することができた。施設稼働率も3月までは順調に推移した。</p> <p>一方、友の会会員数は、新規、継続ともに加入者が少なかったことで、目標値の62.2%にとどまった。</p> <p>以上のことから、評価を4とした。</p>                                | 評価  | 4     |
| 事業または取組名 | 市民文化振興基金補助事業                                                                                                                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | 18千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 担当課 | 社会教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>市民が文化芸術に親しむ気運を醸成するため、優れた芸術鑑賞の機会を提供するもの。</p> <p>【内容】<br/>市民からの寄付金等を積み立てた基金を活用した事業の実施</p> <p>・芸術鑑賞バスツアーの実施<br/>(平成31年度は、計画により年間1回)</p> <p>・公演招聘事業については、パトリア日田の自主事業が充実していること、また、招聘には多額の費用を要することから、平成30年度以降は当面実施の予定なし。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・芸術鑑賞バスツアー</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>「フランス絵画の精華 ルネ・ユイグのまなざしー」<br/>期日:令和2年3月20日/会場:九州国立博物館</p>                                                                                                                                                                                                                                                          | 評価  | —     |
| 事業または取組名 | 日田市文教祭開催事業                                                                                                                                                                                                                         | 平成31年度事業費     | 1,188千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 担当課 | 社会教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>市民の主体的な文化活動の促進と技術水準の向上、さらには人材育成を目的に、市民に活動発表の場及び鑑賞の機会を提供するための催事を開催する。</p> <p>【内容】<br/>各文化団体の実行委員会、学校等が主体となり、9月～11月の3か月間で15事業を実施する。(県の特別行事を含む。平成31年度は、9月から1月にかけて14事業を実施。)</p> <p>市は財政的、人的両面で支援を行う。</p>                   | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>・第73回日田市文教祭</p> <p>①文化団体行事:市美術展、市民音楽祭、日田映像祭、民謡邦楽の秋宴、文芸の集い俳句大会、生活文化展(華道・茶道)、秋の東洋蘭・おもと展、舞台芸術祭</p> <p>②学校行事:小学校読書感想画・図工展、中学校読書感想画・美術展、小・中学校書写展、小学校音楽祭</p> <p>③特別行事:県美術展巡回展(写真、日・洋・彫・工、書道)</p> <p>※書道巡回展は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>来場者数:全14事業 7,870人<br/>(平成30年度:7,604人 266人増)</p> <p>市民文化団体や小・中学生の日頃の活動の成果を発表する場として、また、市民が身近な文化芸術に親しむ場として定着していることから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |



| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                 | 所蔵美術品等公開事業      |  | 平成31年度事業費     | 1,162千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 担当課 | 社会教育課 |    |   |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|----|---|
| 事業目的・内容  | [目的]<br>市が所蔵する美術品の多くは、市民からの寄贈によるものである。多くの方に鑑賞していただきたいと願う寄贈者の意思に応えるとともに、市民への芸術鑑賞機会の提供、合わせて、本市出身の岩澤重夫画伯や宇治山哲平画伯の作品を広く発信するため、所蔵美術品を公開する。                                           |                 |  | 事業取組・成果・評価の理由 | 市所蔵美術品コレクション展〔常設展〕<br>・第1回：6月27日～8月25日（52日間）<br>入場者数 1,256人（1日平均 24.2人）<br>・第2回：1月15日～3月 1日（41日間）<br>入場者数 594人（1日平均 14.5人）<br>＊展示作品は、1回目と2回目で入れ替え<br>（企画展は不定期に開催。平成30年度に開催しており、平成31年度は未開催）<br><br>本事業の来場者数は1,850人で、文教祭事業と合わせると、アオーゼ美術展示ギャラリーの年間入場者数の目標値5,000人を超えた。ただし、常設展については、1日平均来場者数は平成30年度と比べやや増加したものの、20人を下回っており（H30：14.6人/日→H31：19.9人/日）、周知方法や企画を見直すなどの改善が必要であることから、評価を4とした。 |     |       | 評価 | 4 |
|          | [内容]<br>日田市複合文化施設AOSE(アオーゼ)美術展示ギャラリーにおいて、市所蔵美術品コレクション展〔常設展〕及び企画展を開催。 入場無料。                                                                                                      |                 |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |       |    |   |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                 | 市民文化会館設備等計画補修事業 |  | 平成31年度事業費     | 29,355千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 担当課 | 社会教育課 |    |   |
| 事業目的・内容  | [目的]<br>改修計画及び設備の現況に基づき、各設備機器の整備補修を効率的に行うことで経費を圧縮するとともに、施設利用時の事故等のリスクを回避し、安全で安心な施設の管理運営を図ることを目的とする。<br>既に交換周期を過ぎた機器及び満期に近いものから補修を予定しているが、毎年の定期的な点検結果により、現況に合わせて計画を見直し効率的な改修を図る。 |                 |  | 事業取組・成果・評価の理由 | ＜舞台機構関係＞16,995,000円<br>・大ホール、小ホール舞台機構設備制御改修<br>＜舞台照明関係＞11,772,000円<br>・大ホール舞台照明機器取替修繕<br>＜舞台音響関係＞ 587,520円<br>・大ホール音響設備用無停電電源装置取替修繕 371,520円<br>・スタジオ3・4、ギャラリー音響調整卓交換修繕 216,000円<br><br>＊計 29,354,520円<br><br>計画的な設備改修により、施設の円滑な管理運営が保たれていることから、評価を5とした。                                                                                                                           |     |       | 評価 | 5 |
|          | [内容]<br>改修計画及び現況に基づき、施設設備の修繕を行う。                                                                                                                                                |                 |  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     |       |    |   |

#### 【教育行政実施方針の目標達成度】

| 指標名                              | 現状値                 | 目標値         | 目標値        | 平成31年度実績 |                                            |
|----------------------------------|---------------------|-------------|------------|----------|--------------------------------------------|
|                                  | (平成28年度)            | (平成31年度推測値) | (平成33年度)   | 達成値      | 内容                                         |
| 日田市民文化会館利用者数                     | 150,360人/年          | 163,000人/年  | 148,000人/年 | 131,382人 |                                            |
| 日田市民文化会館友の会会員数                   | 428人                | 500人        | 500人       | 311人     | ・新規:140人<br>・更新:171人                       |
| 日田市複合文化施設AOSE(アオーゼ)美術展示ギャラリー入場者数 | 6,335人/年<br>(文教祭除く) | 5,000人/年    | 5,000人/年   | 5,051人/年 | ・市所蔵美術品コレクション展〔常設展〕:1,850人<br>・市文教祭:3,201人 |

#### 【課題と今後の方向性】

- ◆日田市民文化会館パトリア日田は、3月を除けば利用者数、稼働率ともに順調に推移したものの、複数年でみると減少傾向が続いている。開館から12年となる中、市民ニーズに応じた公演内容となっていないことでの入場者数の減少や、貸館において一般市民の利用予約が取りにくい状況であることなどが、要因に挙げられる。この点について、市民文化会館運営委員会において協議、検討するとともに、市とパトリア日田指定管理者とで情報交換するなどしながら、必要に応じ運営の見直しを図っていく。
- ◆日田市民文化会館友の会については、平成30年度に有名アーティスト公演の先行予約を目的に加入した人の更新がなかったことや新規加入が少なかったことで、目標値の6割程にとどまった。その年の公演内容などにより会員数が変動する状況だが、友の会は、パトリア日田の運営を支えるとともに、鑑賞者の確保、育成につなげるための制度であることから、内容の見直しを図るなどして、制度の充実に努めていく。  
※友の会（日田市民文化会館パトリア日田鑑賞友の会）：会館の運営を支えるとともに鑑賞者の確保、育成につなげるための制度。年会費1,000円で有効期間は入会月から1年間。主催事業等におけるチケットの先行購入や割引、優先入場や会報誌の送付などの特典がある。
- ◆市所蔵美術品については、常設展の周知宣伝に努め、市民への浸透を図るとともに、職員が専門職でなく展示作品の選定等に毎回苦慮している状況であることから、日田市所蔵美術品等保存委員会や大分県立美術館などの専門家の意見を参考に、作品選択や企画・展示方法などを検討、より効果的な作品の活用を図っていく。

| 教育行政実施方針 | Ⅳ                                                                                                                                                                       | 文化芸術の振興               | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----|-------|
|          | Ⅳ－第2                                                                                                                                                                    | 誰もが文化・芸術を親しみ、学べる環境づくり |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                                       | 誰もが文化に接することができる環境の整備  | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ② 人材の育成及び確保                                                                                                                                                             |                       | 5   | A     |
| 評価理由     | 文化ボランティア講座の開催や登録文化ボランティアによる公演時等の活動、また、小・中・高校生を対象にした文化芸術激励金の交付により、文化活動を支える人材や次代を担う人材の育成・確保が図られた。また、各種ワークショップやアウトリーチを積極的に展開することで、気軽に文化活動に参加し学べる環境づくりができており、概ね順調に取組が進んでいる。 |                       |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 文化ボランティアの育成                                                                                                                                                                 | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕</p> <p>市民の文化活動をサポートする人材の育成及び確保を図るとともに、市民に文化活動への関心をもってもらうため、研修会やワークショップ等を実施する。</p> <p>〔内容〕</p> <p>指定管理者が、「管理業務仕様書」や「日田市民文化会館活性化計画」に基づき、文化ボランティア講座やワークショップ等を開催する。</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>《文化ボランティア講座》</p> <p>開催回数:2回 / 参加者:19人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月11日 避難訓練(参加者:6人)</li> <li>…避難経路の確認や消火器訓練を体験</li> <li>・9月15日 広報のコツを学ぶ「チラシのいろは」を開催(参加者:13人)</li> <li>…受講者から多くの質問があった他、参加者同士の交流がみられた。</li> </ul> <p>《文化ボランティアの活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数:21人</li> <li>…高校生や若い世代の新規登録あり。</li> <li>・新規スタッフを対象に小ホール規模公演の表方体験</li> <li>・PTCA(舞台ボランティア)と舞台スタッフが連携して活動。</li> <li>…会館スタッフと一緒に改善点を探るなど、事業の向上に欠かせない存在となっている。</li> </ul> <p>《ワークショップ・アウトリーチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月24日 DRUM TAOアウトリーチ公演(参加者:大山小・中学校の児童・生徒、保護者等246人)</li> <li>・6月10日 パトリアアウトリーチ「パトリアから感動とどけ隊</li> <li>南米パラグアイ アルパ&amp;ドラム・パーカッションデュオコンサート」(参加者:光岡小578人、三和小205人)</li> <li>・8月8日、16日 子どもフェスティバル(各種科学実験、移動水族館、毛筆書写講習会、パトリア探検隊 等参加者:1,207人)</li> <li>・9月27日～29日 パトリア映画塾 (参加者:5人)</li> <li>・11月26日 パトリア音楽ワークショップ「しやみせんいろい」(参加者:100人)</li> <li>・毎月1～2回 パトリア土曜広場(苔玉づくり、木工体験、手作り味噌体験 等、全12回)(参加者:152人)</li> </ul> <p>上記のワークショップなど、公演招聘アーティストや外部講師による体験型講座を、年間を通じ計31回開催した。中でも、子どもフェスティバルやパトリア土曜広場は恒例の催しとして定着しており、参加者間の交流が生まれるとともに、今後館との連携が期待される。</p> <p>以上のように、文化ボランティア講座の開催回数は前年度に比べ減少(H30:3回開催)したものの文化ボランティア登録者は増加(H30:19人)しており、ワークショップ等も充実していることから、人材育成や文化活動の環境づくりが進んでいるとして、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                             |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |       |

| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | 1,300千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>人材の育成・確保を図り、文化芸術の振興を促進していくことを目的に、文化振興基金を活用し、文化芸術活動の成果として九州大会以上の大会に出場、出品する児童、生徒に対し激励金を交付する。</p> <p>【内容】<br/>九州大会以上の大会に出場、出品する児童、生徒に対し激励金を交付。交付額は、1人につき九州大会5,000円、全国大会15,000円、国際大会50,000円（年間の限度額：個人50,000円・1団体500,000円）</p> | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>《日田市文化芸術激励金》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州大会 3団体(97人) ～ 485,000円</li> <li>・全国大会 5団体(56人) ～ 725,000円</li> <li>・全国大会 個人5人(延べ6人) ～ 90,000円</li> </ul> <p>本激励金は、小・中・高校生が貴重な経験を積むための一助となっており、出場者に優秀な成績を収める団体、個人が現れるなど、一定の効果がみられた。次世代の人材育成、確保のため有用であることから、評価を5とした。</p>                                                                                                                                                     | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                                                                                       |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |     |       |
| 事業または取組名 |                                                                                                                                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | 1,056千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当課 | 社会教育課 |
| 事業目的・内容  | <p>【目的】<br/>芸術鑑賞機会に恵まれない地域の児童、生徒に対し、優れた芸術を届けるため、巡回公演を実施する。</p> <p>【内容】<br/>時代や文化、地域とともに形や演奏方法などを変えながら、今日世界でも有名な日本の伝統楽器の一つになった三味線について、アウトリーチという形で演奏会を開催する。</p>                                                                         | 事業取組・成果・評価の理由 | <p>《青少年劇場小公演「しゃみせんいろいろ」》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全8公演、参加人数合計：368人</li> <li>①11月18日 東溪中学校36人、五馬中学校30人</li> <li>②11月19日 津江中学校60人、前津江中学校29人</li> <li>③11月20日 戸山中学校65人、大明中学校48人</li> <li>④11月21日 東有田中学校40人、大山中学校60人</li> </ul> <p>江戸・沖縄三味線及び津軽三味線の2氏による演奏やクイズを交えながらの楽器紹介コーナー、演奏体験などあり、生徒が手拍子や歌で参加するなど、大いに盛り上がる内容だった。</p> <p>催しを通じ、生の演奏を楽しむとともに、日頃馴染みのない和楽器について興味、関心を持つきっかけになった。新たな文化・芸術に親しみ学べる貴重な機会になったことから、評価を5とした。</p> | 評価  | 5     |
|          |                                                                                                                                                                                                                                       |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |     |       |

### 【課題と今後の方向性】

- ◆文化ボランティアについては、登録者数が今尚少ないため、パトリア日田指定管理者と募集方法や講座内容を協議するなど新規登録者の増加に取り組むことで、文化活動を幅広く支える人材の育成を図る。
- ◆文化芸術激励金については、文化活動を行う児童、生徒を支え、次世代の人材育成、確保を図るものとして、今後も継続する。
- ◆ワークショップやアウトリーチについては、年間を通じ様々な内容で開催されており、気軽に文化活動に参加し学べる環境を提供する観点から、今後も積極的に行っていく。



DRUM TAOアウトリーチ公演(大山小・中学校)



パトリア音楽ワークショップ「しゃみせんいろいろ」

| 教育行政実施方針 | Ⅳ                                                                                                                                                              | 文化芸術の振興               | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----|-------|
|          | Ⅳ－第2                                                                                                                                                           | 誰もが文化・芸術を親しみ、学べる環境づくり |     |       |
|          | 1                                                                                                                                                              | 誰もが文化に接することができる環境の整備  | 平均値 | 総合評価  |
| 【主な取組】   | ③ 情報の発信及び収集                                                                                                                                                    |                       | 4   | B     |
| 評価理由     | 日田市民文化会館(パトリア日田)においては、指定管理者が業務の一環として各種宣材物の作製やHP、SNS等を活用して広く情報の発信を行うことで、イベントの周知を図っている。また、アオーゼでの催しについては、一部PR不足と思われるものもあるが、全体としては入館者数が年間の目標値を超えており、概ね順調に取組が進んでいる。 |                       |     |       |

【個別評価】

| 事業または取組名 | 情報の発信及び収集                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 平成31年度事業費     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 担当課 | 社会教育課 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 事業目的・内容  | <p>〔目的〕</p> <p>市民の芸術鑑賞や文化活動に対する関心を高めるため、文化芸術に関する公演やイベント、展覧会等の情報の発信及び収集を行う。</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パトリア日田指定管理者が、公演やイベント情報を載せたパトリア日田イベントニュースを発行する。</li> <li>・日田市複合文化施設アオーゼの多目的ホールや美術展示ギャラリーのイベントや展覧会などの情報発信を行う。</li> <li>・近隣の文化施設の公演などの情報を収集、市民へ提供する。</li> </ul> | 事業取組・成果・評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パトリア日田においては、指定管理者が月1回イベントニュースを発行し、自治会を通じて全戸に配布、また、イベントごとにポスターを作製し全自治会に掲示を依頼した。その他にも、ホームページやFacebook、Twitterといった各種SNS、KCV(ケーブルテレビ)やフリーマガジン等を活用し、イベントの周知に努めた。</li> <li>・アオーゼでのイベントや展覧会については、チラシの配布やポスターの掲示、市の広報やホームページへの掲載等で周知を図った。</li> <li>・近隣の文化施設の公演等については、パトリア日田及びアオーゼにスペースを設け、チラシの配置やポスターの掲示などを行い、広く情報提供を行った。</li> </ul> <p>パトリア日田で開催される公演やイベントについては、定期的な印刷物の配布や各種媒体の活用により広く情報が行き届いているが、アオーゼにおいては、周知不足により入場者数が伸びなかった催事があったことから、評価を4とした。</p> | 評価  | 4     |

【課題と今後の方向性】

|                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>◆アオーゼについて、チラシ配布やポスター掲示、市広報やホームページへの掲載等で周知を図ったものの、SNSの活用やマスコミへの情報提供が積極的に行き届かなかったことから、催しによっては入場者数が伸びなかった。今後は従来の広報活動に加え、様々な媒体での情報発信に努める。合わせて、社会教育課と博物館とで連携した情報発信の方法を検討する。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 3. 学識経験者による評価意見

大分大学 教職大学院特任教授 山崎 清男 氏

#### 1. 教育委員会の運営・活動について

##### i. 市民と共に創る教育行政の推進

日田市教育委員会は「教育委員会と学校、地域が情報を共有し、学校現場の実情が反映された教育行政を推進し、教育委員会の活性化を目指して」、①積極的な情報公開・情報把握の推進、②事務の執行状況等の点検評価及び公表制度の導入、③教育委員会の活性化に向けた取組の推進を基本的な視点として、教育行政の推進に取り組んでいる。この報告書自体が教育委員会の姿勢を示しているが、上記の視点に立って教育委員会の運営・活動を評価してみよう。特筆すべきは「教育委員会の開催時には必ず事前に勉強会を開き、教育委員の中で討議等を行うことにより、会議の活性化」を図っていることである。ややもすると、教育委員会会議の形式性が問題になるなかで、教育委員会の活性化を図るためのこのような勉強会の開催は評価されるべきである。教育委員会会議も定例・臨時合わせると19回開催され、さまざまな教育施策策定に関する議論がなされている。

また、教育委員の資質向上等を目的にした研修などにも積極的に参加し、日田市教育委員会の活性化を推進しようとしている姿が読み取れる。さらに教育委員会の活動実績や会議の議事録等を積極的に開示・情報発信し、教育委員会活動に対する市民への理解を深めようとしている点も評価できる。市長と教育委員で構成される総合教育会議が1回開催され、教育施策策定等に関する意見交換がなされているが、可能なら総合教育会議を複数回開催することにより、市長（部局）と教育委員会の間での積極的な教育施策に関する意見交換がなされることが求められる。

#### 2. 事務・事業の管理及び執行について

##### ii. 学校教育の充実

学校教育に関する日田市教育行政実施方針は、大きく2本の「柱」から成り立っている。まず「夢と誇りを持って、たくましく生きる力」を育てる学校教育の推進である。この「柱」を実現するために「子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の充実」「小中連携・小中一貫教育の推進」「学校人権教育の充実」の3項目を掲げ、それぞれ主な取組14項目を設定し、施策を展開している。14項目すべて総合評価はA評価である。14項目の評価の中で「いじめ・不登校対策の充実・強化」に関する評価は留意すべきものであろう。特に不登校の未然防止や出現率低下をねらいとしているが、今日のように社会が高度化・複雑化し多様な価値観が存在するなかで、さらにインターネット等の多様な情報機器の活用が可能な中で、学校に「参加する」ことを前提とした不登校の解決方法を考えることの捉え直しが必要であると思われる。「フリースクール」等のさまざまな教育の活用を視野に入れた不登校問題の捉え直し、今後教育行政に求められるといえよう。もちろん不登校の出現率を少なくし、また学校「復帰」を目指す取組は否定されるべきではない。



また学校における人権教育の充実に関する取組においても、児童生徒の現実の経験に基づいた教材や資料等を用いることにより、「生きた人権教育」が可能になると思われる。換言すれば、日常経験から遊離し、内実を欠いた人権教育は言葉の操作上の問題となる可能性があると思われる。

第2の柱である「安全で安心な学校づくりの推進」に関しては、「安全・安心な教育環境の確保」「豊かで適正な教育環境の整備」「家庭・地域と協働した学校づくりの推進」「安全・安心な学校給食の提供」の4項目が掲げられ、9項目の取組が設定されている。9項目中7項目がA評価、2項目がB評価である。B評価項目はいずれも学校給食に関するものである。特に給食の食材に関する地産地消率は目標に達していないが、これには様々な問題が考えられる。気候等に伴う自然現象による収穫量の不足などによる目標達成に対し困難が伴う状況が生じることもある。このような状況は単に教育行政の問題に帰すことはできない。したがって、地産地消食材による給食実施を最大限確保するための方策を考えておくことが重要になると思われる。

日田市学校教育の方針に咸宜園教育の理念を位置づけた、学校教育に関する取組は児童生徒の学力向上や教員の力量形成を念頭に置いた研修機会の提供等を含め、全体的にみるなら、若干の改善すべき点がみられるものの効率よく展開されているといえることができる。

### iii. 社会教育の充実

社会教育に関する日田市教育行政実施方針は「地域とともに学び、育てる、社会教育の推進と生涯学習社会の形成」と「誰もがスポーツに親しめる環境づくり」である。これらのもとに、20項目の取組が設定されている。20項目中A評価は15項目、B評価が5項目である。B評価項目は「充実した社会教育の実施」、「子育てを地域全体で行う『協育』ネットワーク（地域・公民館・学校）の充実」、「『大人が変われば、子どもも変わる』理念の啓発」、「施設利用活用の促進と各種グループ等の活動支援」、「公民館との連携による遠隔地サービスの充実」である。「協育」ネットワーク構築のためには、地区を超えた全市的な学校支援人材バンク登録者を確保することは重要であるが、登録者数が伸びないことがB評価の大きな理由である。諸事情により登録者数の減少、そこに起因する地域人材を活用した子どもの居場所づくりや体験活動数の減少は、改めて地域人材の活用方策の見直しを提起していると思われる。言い換えれば、「協育」ネットワークの構築方策の新たな視点の必要性を提起しているといえよう。

また施設利用活用の促進方策に関しても、IoT（Internet of Thing）社会といわれる今日、人々を施設に「集める」方策から、インターネット等を利用した届ける方策への転換等も考えられねばならないと思われる。換言すれば、個々人の「生活スタイル」に合わせた学習活動支援が必要になるといえよう。日田市の社会教育に関する教育行政施策は効率よく展開されていると考えられる。今後社会教育（行政）の施策展開に関しては「量的」視点と「質的」視点双方からの新たな取り組みが求められると思われる。

### iv. 文化芸術の振興

文化芸術の振興に関する日田市教育行政実施方針は「ふるさとの歴史・文化の保存と未来へ向けての活用」と「誰もが文化に接することができる環境の整備」である。この指針の下に7項目



の取組が設定されている。7項目中6項目がA評価、1項目がB評価である。歴史と伝統を有する日田市にとって、文化芸術の振興は極めて重要な意味を持っている。文化芸術の振興は、学校教育活動や社会教育活動と相俟って、日田市の人材育成に大きな役割を果たしているといえよう。

したがって、文化芸術に関する歴史読本の編集や文化財の保存のみにとどまらず、編集した歴史読本が学校教育や社会教育活動などで積極的に活用される方策の推進が望まれる。また、学校教育とタイアップして、文化財を活用した体験学習等が企画され文化財理解が一層進むことが期待される。「情報の発信及び収集」に関する取組がB評価であるが、情報社会においてインターネットを活用した情報発信や情報収集が今後十分に考えられねばならないと思われる。Society5.0で実現がめざされる社会は多くの情報が共有される社会である。IoT社会における文化芸術の振興方策の取組が求められている。

平成31年度対象の「教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検評価」は、教育委員会が担当する教育行政施策に関し、細部にわたり丁寧に記述されているといえます。その意味では、教育委員会事務局担当者の努力がうかがえます。なお評価方法に関してですが（昨年度も指摘させていただきましたが）、「主観的」判断により、評価点が付け加えられている取組が多くみられます。数値化が困難な場合もありますが、できるだけ客観的な評価を行うためにも目標値（指標）を設定し、指標に照らし合わせ評価を行うことが必要であると思います。そうすることにより、日田市の教育行政施策をより効率的に展開する方法・方策が見えてくると思われます。

元 久留米大学 比較文化研究所客員教授 森 醇一郎 氏

## 1. 教育委員会の運営・活動について

### i. 市民と共に創る教育行政の推進

平成31年度は、日田市教育行政の指針である「未来を切り拓き、ふるさとを愛する人づくり」が策定されて、折り返しの3年目となる。年度途中の5月には年号が『令和』に改元され、新たな気持ちで計画通りの教育行政に取り組んでいた。しかし、2月から3月にかけてのいわゆる年度末に新型コロナウイルスが流行し、教育環境は今までに経験をしたことのない異常な現状を突きつけられた。

平成31年度の点検・評価の業務対象は、昨年と同様に51項目が選定され、業務遂行の点検とその成果の評価が試みられた。最も良好な評価であるAランクは43項目に及び、事業全体の84パーセントに達した。また評価のBランクは8項目となり、16パーセントになっている。日田市における教育行政の積極的な取り組みが継続して実施されていることを示す数値であり、高く評価できる。

ただ、AランクからBランクへ評価が落ち込んだ事業が2項目ある。評価が低下した要因を究明して、努力目標とすべきである。

日田市教育委員会は、平成 31 年度の「注目すべき日田市教育のこの 1 年」の中で、文化・スポーツの催事の中から 6 件を取り上げている。いずれも日田市の自然環境と歴史的環境の中で生まれ・成長をした特色あるものである。これこそ「市民と共に創る教育文化」の成果の一つであり、永続させたい文化・スポーツの催事である。

さらに、年度終わりに流行した新型コロナウイルスについても取り上げられている。この事象は全国的な広がりを見せ、日田市全域でも小・中学校の施設を閉鎖して臨時休業の処置を取り、様々な社会教育施設の利用中止や各種イベントの取りやめという結果をもたらした。日田市教育界においても、今までに経験したことのない事変であった。

そのため、平成 31 年度前半は教育行政の諸計画が順調に進んでいたが、後半から年度末にかけては、全ての業務において進捗率が鈍化している。流行性疾患によって進捗率が低下した業務があれば、それは評価の対象とすべきではない。

このように、今までに経験をしたことのない流行性疾患は、児童・生徒の学習環境を含めた日常生活に大きな変化をもたらし、異常な社会的環境をも創り上げてしまった。この現象は今後も発生することが考えられることから、教育委員会が中心となり、市民と共に広く情報を共有し対策を練るという、日田市教育行政の新たな行動が必要となってくる。

## **2. 事務・事業の管理及び執行について**

### **ii. 学校教育の充実**

日田市教育行政の精神的支柱の一つでもある咸宜園教育の理念は、歴史的環境を育み、今日の学校教育実践の中心となる指標を形成している。このことは、小・中学生に自信を持たせる教育内容を構成し、その教育的成果は高い評価に連動している。

学校教育の点検と評価は、23 項目において行われている。最も良好とされる A ランクが 21 項目あり全体の 91 パーセントを占めていることは、昨年と同様の評価である。このことは、変わることのない一貫した学校教育の構造が形成されていることを示している。この高い評価の要因は、教職員は言うまでもなく、児童・生徒にも大きな自信となり、日田市が学校教育で目指す「子供の意欲を伸ばす学校教育の充実」の達成に大きく影響を与えていることは確実である。

平成 31 年度の学校教育も昨年と同様、当初の計画に沿って順調に進められていたが、学校教育で最も重要な時期である学年末に、新型コロナウイルスが発生し、学校施設が閉鎖された。学校施設があつての児童・生徒であり、その機能が完全に停止したのである。学年末の学校閉鎖は、教育課程の中断を余儀なくしてしまう。特に 3 月は各教科の「まとめ」の時期でもあり、ここでの休校が学習過程の未消化を生じさせたと思われる。その中でも、小学校 6 年生の中学校への進級や中学校 3 年生の高等学校への入学試験への影響が心配される。

このような問題に対する解決方法の一つが、日田市でも試みられている小・中一貫教育ではないか。流行性疾患等による不足した学力の補充は、小・中学校の連携が密に行われていれば解決されるのではと考えられる。

今後も新型コロナウイルスの流行のような環境異変が、何時発生するかは予想がつかない。特に学校教育現場は発育途中の児童・生徒が多く集う場所でもあり、常に対策を考えておく必要がある。

ただ平成31年度の「点検と評価」の中では、流行性疾患に対する教育委員会の対応や学校の現状についての記述が少ないような感じがする。市民の多くが情報を共有するためにも、積極的な情報の公開が必要ではないか。

### iii. 社会教育の充実

社会教育の充実は、社会教育課・中央公民館・博物館・淡窓図書館・スポーツ振興課の5つの部所が担当し、幅広く事業を展開している。社会教育全体20項目の点検と評価が実施され、評価の良好なAランクが15項目あり、社会教育全体の75パーセントとなっていることは昨年と同様である。

中でも、社会教育課担当の「充実した社会教育の実施」は、①学校と連携した講演会や公民館活動への積極的な呼びかけ、②活発な広報活動を多くの手段を用いて実施したことが、社会教育の大きな目標の一つである参加者の増加を可能にしている。

淡窓図書館では、「魅力のある施設環境の提供と利便性の向上」という指針のもと、必要な施設の補修や改修を実施し、適正な維持・管理に努めている。日常の地道な活動が継続されている点で、これは妥当な評価と言える。

このように地域と密着した社会教育は、いかに連続性を保つかであろう。施設の閉鎖や催事の休止等、さらには日常生活の大きな変化にともない、地域住民の「社会教育離れ」が生じる可能性がある。社会教育離れが生じないよう、市民に対しての十分な情報公開に努める必要がある。

社会教育においても学校教育と同様、新型コロナウイルスの流行による諸事業の進捗率の低下は、全国的な課題であって、業務の評価対象にすべきではないと考えられる。

### iv. 文化芸術の振興

文化・芸術の振興では、文化財保護課3項目、咸宜園教育研究センターと世界遺産推進室1項目、社会教育課3項目の計7項目が点検・評価の対象となっている。評価の内訳は、対象の7項目のうち6項目がAランクとなっており、昨年Bランクと評価された2項目がAランクへ評価が上がっており、担当部所の努力は高く評価される。

Aランクへ評価が上がった項目の一つに、文化財保護課が担当した「保存と活用に向けた環境の整備」事業がある。この事業により、①伝統的建造物群保存地区の草野家住宅と咸宜園跡の保存整備事業が継続事業として実施され、②国指定重要文化財の旧矢羽田家住宅の保存修理事業が完了している。また③国指定史跡のガランドヤ古墳群の保存整備事業が計画どおりに実行され、文化財の活用に向けて環境整備も順調に進行している。

ただ、全国的な天候異変による災害発生のため、国の補助金が削減されて、史跡の公開活用年度が延ばされたことは残念であった。

平成 31 年度 4 月から文化財保護法の一部改正が行われており、今までの文化財の「保護」に主眼点を置いた手法からいかに「活用」するか方向転換が示された。しかし、文化財の「活用」のためには、まず文化財の「保護・整備」が必要となる。「保護・整備」あつての「活用」であることは言うまでもない。このことから、日田市の文化財行政は積極的に取り組まれており、高い評価が与えられる。

A ランクへ評価が上がったもう一つの項目に、社会教育課が担当した「人材の育成及び確保」がある。文化芸術激励金の交付により、文化活動を支える人材の育成とその確保が図られるようになった。これにより、各種ワークショップやアウトリーチを積極的に展開することが可能となり、文化活動に参加し学べる環境づくりができたことで、評価が上がった。

文化芸術の振興には、事業費の確保と人材の育成及びその確保が必要であることは言うまでもない。

日田市の今日置かれている歴史的環境が、文化風土を形成する。平成 31 年度は、新型コロナウイルスの流行という異常事態の中にありながら、文化芸術の振興には多くの成果が見られた。この結果は、教育行政の基本である『地道な努力の積み重ね』がもたらしたに他ならない。高い評価を得られて当然である。

別府大学 文学部人間関係学科教授 長尾 秀吉 氏

## 1. 教育委員会の運営・活動について

### i. 市民と共に創る教育行政の推進

教育委員会会議は 19 回開催、取り扱った案件は 93 件であった。他年と同様の会議回数は維持されている。研修や諸会議への参加についても、継続的に市内の学校訪問を続けていることが注目される。31 年度は市内の 15 校を訪問し、現場の実態と課題の把握に努めている。また、教育委員会の会議の開催前に必ず討議や情報共有を行い、会議の活性化を図っている点が高く評価される。

「市民と共に創る教育行政の推進」では、教育委員会の活動についての情報公開されていることが評価される。教育委員会の活動を紹介するホームページを開くと、教育委員会の活動の全体が写真付きでわかりやすく紹介されている。議事録も活動に関連づけられて掲載されており、非常に見やすくつくられている。

ホームページは、教育委員会が行った会議、視察、研修の報告が中心である。顔の見える教育行政をすすめていくために、教育行政を担う教育委員の紹介や、委員の抱負や視察活動を通じての委員の意見の掲載など、さらに積極的な情報発信を期待したい。

## 2. 事務・事業の管理及び執行について

### ii. 学校教育の充実

「学校教育の充実」に関しては、30 年度に引き続き、全事業で評価はAであった。学力向上にむけた事業を見ると、小学校中学校ともに全教科で全国平均を上回る成果であった。チャレンジ漢字・英語検定、日田市学力向上アクションプラン、中学生学びアップ事業の成果が現れているといえる。

体力面についても、小学校の多くの学年で全国体力テストの平均を上回っている。この点について、体育専科教員の授業事例がシンクライアントシステムを通じて市内の小中学校に配信され、教員の指導力向上を図れたこと、「一校一実践」の計画・実行が実を結んだこと等、諸事業の効果がうかがえる。

三学期における新型コロナウイルス発生への対応に際しては、「学校情報携帯メール配信事業」が非常に役立ったことにも注目したい。近年、水害をはじめとする危機意識の高まりをふまえ、常日頃から学校・保護者間で情報網を築いてきたことが功を奏し、コロナ禍においても迅速かつ確実に情報がゆきわたり、大きな混乱がなかった点が評価される。

ただし、以下の点については検討又は改善を求めたい。一つ目は、中学生男子の体力向上が目標値に届いていないことから、課題として「運動への愛好度を高める」ことがあげられている。だが、そのために必要な具体的な取り組みとは何かが、明確には記載されていない。今後の検討が待たれる。

二つ目は、不登校の出現率が小学校 0.63%、中学生 2.36%となっている点についてである。中学生は昨年度 2.4%より 0.04 ポイントわずかに低くなったが、小学校は昨年度 0.36%より 0.27 ポイントやや高くなっている。だが、「不登校対策等の充実・強化」の評価が「5」になっている。対策事業に適切に取り組んだことは評価できるが、やはりその事業の結果どうなったのかという評価も含まれるべきではないだろうか。事業の実施の「適切さ」は、出現率という結果と切り離すことはできない。評価の観点について検討を求めたい。

### iii. 社会教育の充実

「社会教育の充実」については、20 個の評価項目の中で、15 個が A、5 個が B の評価であった。

成果として見えにくい点であるが、地区公民館運営委託事業における講座数・参加者数は、前年度よりも減少しているが、その減少は約 3 %程度にとどまっている。また、31 年度の公民館利用者数は年 157,488 人である。少子高齢化、人口減少、さらにコロナ禍での講座中止を考慮すれば、活発さを維持していると推測される。

博物館も同様に事業の成果が現れている。31 年度の来館者数は 14,611 人で、年々着実に来館者数が伸びており、かつ目標値を上回っている。「学芸員の配置」、恐竜展などにおける「市民ボランティアの参加体制づくり」、「学校・公民館との連携」などの諸事業の成果としてとらえることができる。「子ども向けの体験学習プログラム」などが開催できなかったことをはじめ、少子高齢化、人口減少、コロナ対応の影響を考慮すると、効果の高い事業を展開している。

スポーツに関わる5事業は、全てA評価である。「市民スポーツの設定と定着」をはかる事業をみると、コロナ禍で中止となったとはいえ「天領日田ひなまつり健康マラソン大会」の参加者は過去最高であった。市内外へ定着してきたことがうかがえる。また、中学校の部活動外部指導者の増加、スポーツ推進委員によるチャレンジウォークの参加者増加などの事業成果がみられ、A評価は適切である。

B評価である「地域・学校支援人材バンク」「放課後子どもプラン」の両事業については、例年、評価が低く、総合的な見直しが必要になってきていると考える。課題に挙げられているように、放課後児童クラブや放課後デイサービス（児童福祉）、コミュニティ・スクール（学校教育）、キャリア教育（商工労政）などとの連携が求められているが、コーディネートする役割が不在のように思われる。遊び、役割取得、様々な自然や人との出会いは、青少年の発達に非常に重要な領域である。個別の連携ではなく、ビジョンを共有する「協働」の観点から、総合的な検討が求められる。

また、図書館事業をみると、「ボランティアの支援・連携」、「遠隔地図書貸出」事業などについては、事業の重要性に対して、成果がいまひとつというB評価になっている。問題点を把握しての適切な評価である。ただ、今後の課題や方向性について、図書館は、図書館単独事業および外部との個別「連携」事業を超えて、ビジョンを共有する「協働」を模索すべきではないか。学校運営協議会、公民館運営協議会などの地域組織と地域課題を共有していこうとしていく中で、図書館の問題を克服する方向性も検討されてよい。



## 4. まとめ

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき効果的な教育行政を推進するため、教育委員会が事務・事業の取組状況について点検・評価を行った後に、課題や方向性を明らかにし、学識経験者である外部評価員の意見を付して市民の皆様にお知らせするもので、平成 31 年度に実施した事務・事業を対象としたものです。

例年 8 月に実施していました内部評価についての説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 2 年 10 月に 3 名の外部評価員（学識経験者）の先生方、教育委員、教育委員会担当者が集まり実施しました。

評価員からは、各事務事業への取組内容や評価内容についての貴重なご意見、ご指摘をいただきながら、教育委員会の活動状況及び事務局各課で実施した事務事業について点検及び評価を実施しました。

教育委員会の運営・活動については、教育委員会会議の開催前に行う勉強会や、市内の学校訪問を継続的にやっていること、ホームページでの教育委員会の活動の紹介を行っていることが教育委員会の活性化につながっているという評価をいただきました。

引き続き活動を充実させるとともに、積極的に情報発信を行い、市民の皆様には教育委員会の活動についての理解を深める取組を進めます。

事務・事業の管理及び執行については、「学校教育の充実」・「社会教育の充実」・「文化芸術の振興」の 3 分野において、各事務事業への点検・評価を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業が一部あるものの、おおむね各分野で効果的に事業展開ができているという評価をいただきました。

一方で、目標値に達していない事業について、課題に対しての具体的な取組が明確に記載されていないことや、例年評価が低い事業についての総合的な見直しが必要といったご指摘をいただきました。

評価方法については、より客観的な評価を行うためにも、可能な限り目標値（指標）を設定し、指標に照らし合わせた評価を行うことが必要というご意見をいただきましたので、今後改善に努めてまいります。また、平成 31 年度に続き令和 2 年度についても、各事業において実施方法の変更や中止など、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていることから、点検・評価方法について整理検討を進めてまいります。

最後に、今回いただいたご意見を参考にしながら、今後も「日田市教育行政実施方針（平成 29 年度～平成 33 年度）」による施策や事業の進行管理を行い、効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

令和 3 年 1 月 28 日  
日田市教育委員会

